

ソリッドステート メモリーカムコーダー

取扱説明書

各部のなまえ

準備する

撮影する

再生する

ネットワーク機能を使う

編集する

メニューで設定を変更する

困ったときは

その他



お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

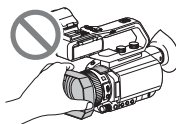
XDCM™

使用前に必ずお読みください

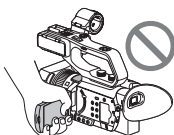
お買い上げいただきありがとうございます。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

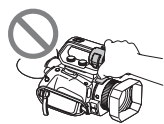
- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。



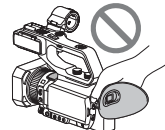
レンズフード



液晶モニター



マイクまたは
マイクホルダー



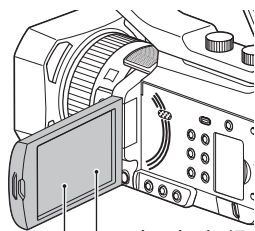
ファインダー

ⓘ ご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」(171ページ)もご覧ください。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機をご利用になる場所の規則に従ってお使いください。

液晶モニター、レンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影・再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精度の高い技術で作られています。黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



白や赤、青、緑の点
黒い点

太陽光についてのご注意

- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。ビデオカメラレコーダー内部の部品が故障することがあります。また、太陽光が近くのものに結露すると、火災の原因となります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けしないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。

本機やバッテリーの温度について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶モニターもしくはファインダーにメッセージが表示されます(154ページ)。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機でお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声がか乱れた場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子 (CMOSセンサー) の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える (特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調節することで現象が軽減されます (45ページ)。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。

本機で記録した画像をパソコンで扱うには

ソフトウェアをダウンロードしてください (19ページ)。

画像が正しく記録・再生されないときは [MEDIA FORMAT] してください

長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化 (フラグメンテーション) されて、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT] (105ページ) を行ってください。

本機の実操作方法について

本機では、▲/▼/◀/▶/SETボタン (107ページ)、タッチパネル*で操作が行えます。ただし、メニューの設定など一部の操作はタッチパネルでは行えません。

* 一部、タッチパネルのみで行える操作もあります。

本書について

- [60i/50i SEL] を変更すると、[REC FORMAT] などで設定できる数値が変わります。本書では、[60i] 選択時、[50i] 選択時の数値を併記しています。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

目次

使用前に必ずお読みください	2
---------------	---

各部のなまえ

各部のなまえ	8
本体	8
ワイヤレスリモコン	16
画面表示	17

準備する

準備 1: 付属品を確認する	19
準備 2: バッテリーを充電する	21
準備 3: アクセサリーシューを取り付ける	23
準備 4: 電源を入れて日時を合わせる	24
電源を入れる	24
日時を合わせる	24
準備 5: 液晶モニターとファインダーを調節する	26
液晶モニターを使う	26
ファインダーを見やすく調節する	26
準備 6: メモリーカードを入れる	27
本機で使えるメモリーカード	27
メモリーカードを入れる	29

撮影する

撮影する	30
撮影する	30
メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する(リレー記録)	32
メモリーカード A とメモリーカード B の両方に記録する(同時記録)	33
START/STOP ボタン / ハンドル録画ボタンの設定を変える	33
ズームする	34
フォーカスを調節する	36
手動でピントを合わせる	36
自動でピントを合わせる	36
選んだ被写体を追尾してフォーカスを調節する(ロックオン AF)	39
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)	39
画面をタッチしてピントを合わせる(スポットフォーカス)	40
検出した顔にピントを合わせる(顔検出)	40
記録方式と録画フォーマットを選ぶ	42
メニューで記録方式と録画フォーマットを設定する	42
MPEG HD で記録するには	42
4K モード記録中の出力先を設定する	42
プロキシ記録をする	43
プロキシ記録時のご注意	43
プロキシ記録する	43

明るさを調節する	44
アイリスを調節する	44
ISO感度/ゲインを調節する	45
シャッタースピードを調節する	45
露出の調節について	46
光量を調節する(NDフィルター)	46
色合いを調節する	47
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	47
ダイレクトメニューを使う	49
音の設定をする	51
内蔵マイクで収録する	51
外部音声機器などで収録する	51
マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)で収録する	53
外部マイク(別売)で収録する	53
INPUT1端子/INPUT2端子から入力した音声の録音レベルを調節する	53
内蔵マイクや別売の外部マイクに入力した音声の録音レベルを調節する	53
便利な機能を使う	54
状況に合わせて撮る(オートモード設定)	54
薄暗い場所で撮る(LOW LUX)	55
暗い場所で撮る(NIGHTSHOT)	55
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロフィール)	55
ハイダイナミックレンジ(HDR)で撮る	56
タイムデータを設定する	59
スロー&クイックモーションで撮影する	60
HFR(ハイフレームレート)でスローモーション撮影する	61
スーパースローモーションで撮影する	61
最後に撮影した映像を再生する(ラストシーンレビュー)	63
ASSIGN ボタンに機能を割り当てる	64

再生する

本機で再生する	65
再生する	65
本機の設定を変更/確認する	67
画面表示を切り換える	67
再生時に情報を表示する(データコード)	67
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	68
モニターやテレビにつなぐ	69
外部出力用の端子を選ぶ	70
出力信号のフォーマットについて	71

ネットワーク機能を使う

スマートフォンと組み合わせて使う	75
「Content Browser Mobile」をダウンロードする	75
スマートフォンを本機のリモコンとして使う	75
NFC機能搭載のAndroidスマートフォンでワンタッチ接続する	76
NFCを使わずに接続する(Android)	77

NFC を使わずに接続する (iPhone または iPad)	77
無線LANの設定をする	78
アクセスポイントを選んで登録する	78
WPS 機能を使ってアクセスポイントを登録する	79
WPS PIN 方式を使ってアクセスポイントを登録する	80
アクセスポイントを手動で登録する	81
機器名称を変更する	82
周波数帯域を選ぶ	83
有線LANの設定をする	83
ストリーミング(STREAMING)機能を使う	84
ストリーミング対応フォーマット	84
ストリーミングの設定をする(プリセット登録)	84
ストリーミング配信する	85
RTMP/RTMPS 方式で動画を配信する	87
RTMP/RTMPS 配信の設定をする(プリセット登録)	87
RTMP/RTMPS 配信する	88
RTMP/RTMPS を終了する	89
RTMPS 証明書を読み込む	90
USTREAM で動画を配信する	90
USTREAM の事前認証を行う	90
メニューで設定する	91
USTREAM を開始する	91
USTREAM を終了する	92
ネットワーククライアントモードを使う	93
メニューで設定する	93
ネットワーククライアントモードを開始する	93
ネットワーククライアントモードでの操作	95
ネットワーククライアントモードを終了する	95
CCM 用ルート証明書を読み込む	95
スマートフォンを使って複数のカメラのタイムコードを合わせる	96
ワイヤレス TC LINK を使うには	96
スマートフォン側の準備	96
スマートフォンを使って他機のタイムコードに同期させる	96
FTP転送機能を使う	98
FTP サーバーを登録する	98
FTP サーバーを選択する	99
FTP 転送する	99
FTP 転送結果を確認する	100
ルート証明書を読み込む	101
ネットワーク設定をリセットする	102

編集する

動画を保護する(プロテクト)	103
動画を分割する	103
動画を削除する	104

メモリーカードを初期化する	105
メモリーカードのデータを完全に消去する	105
管理ファイルを修復する	106

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	107
メニュー一覧	108
CAMERA SET メニュー	110
REC/OUT SET メニュー	119
AUDIO SET メニュー	124
DISPLAY SET メニュー	126
TC/UB SET メニュー	130
NETWORK SET メニュー	131
OTHERS メニュー	134
EDIT メニュー	137
PICTURE PROFILE メニュー	137

困ったときは

故障かな?と思ったら	146
警告表示とお知らせメッセージ	154

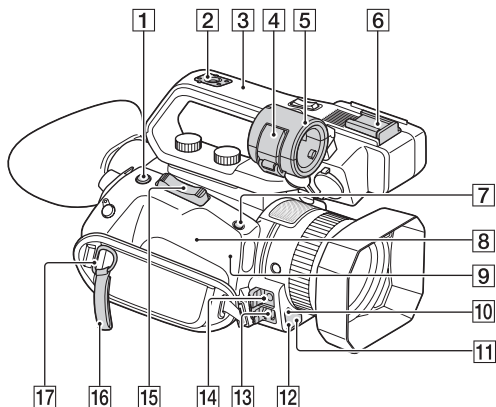
その他


記録時間について	160
記録時の機能制限について	163
記録方式ごとの制約	163
スロー& クイックモーションおよびスーパースローモーション撮影時の制約	164
ストリーミング /RTMP/RTMPS/ ネットワーククライアントモード /USTREAM 対応フォーマット	165
プロキシ記録対応フォーマット	166
海外で使う	167
メモリーカードのファイル / フォルダ構成	168
使用上のご注意とお手入れ	169
XAVC 規格について	169
MPEG 規格について	169
AVCHD 規格について	169
メモリーカードについて	169
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	170
本機の取り扱いについて	171
主な仕様	174
保証書とアフターサービス	177
索引	178

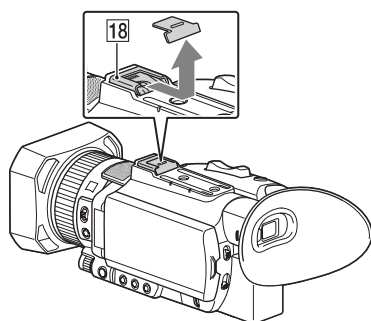
各部のなまえ

本体

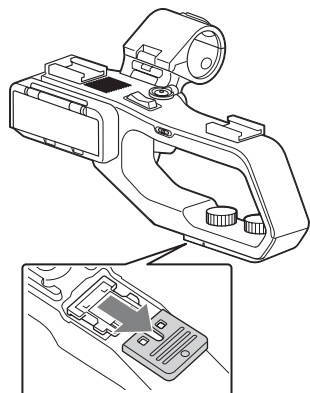
()内は参照ページです。



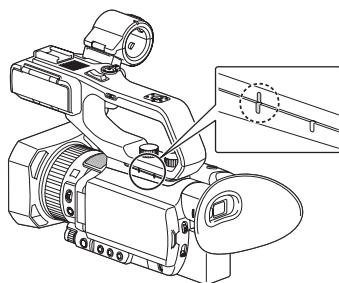
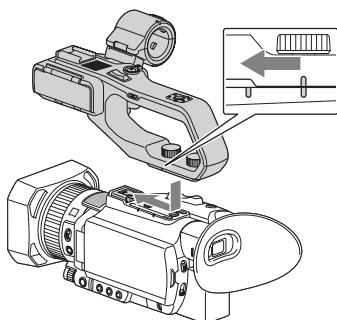
- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 ASSIGN4 ボタン / FOCUS
MAGNIFIER ボタン (39)</p> <p>2 アクセサリーシュー取り付け部 (23)</p> <p>3 XLR ハンドルユニット</p> <p>4 マイク固定用クランパー</p> <p>5 マイクホルダー</p> <p>6 アクセサリーシュー</p> <p>7 ASSIGN5 ボタン / IRIS PUSH
AUTO ボタン (44)</p> <p>8  (N マーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> • NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。 • NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。 <p>9 WLAN アンテナ (内蔵)</p> <p>この部分を手などで覆うと、Wi-Fi 通信が遮断されることがあります。</p> <p>10 リモコン受光部 (135)</p> | <p>11 録画ランプ (135)</p> <p>メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。</p> <p>12 ナイトショットライト (55)</p> <p>13 マルチ / マイクロ USB 端子 (69)
VIDEO OUT 端子 (69、121)</p> <p>14 MIC 端子 (PLUG IN POWER)</p> <p>15 ズームレバー</p> <p>16 ケーブルクランパー</p> <p>17 ショルダーストラップ取り付け部</p> <p>18 マルチインターフェースシュー (53)</p> <p>XLRハンドルユニットを取り付けるには</p> <p>① マルチインターフェースシューキャップを取り外す。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



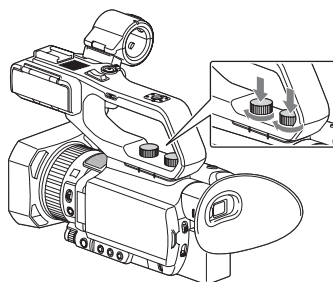
② ハンドルシューキャップを取り外す。



③ 本機と XLR ハンドルユニットの印を合わせて矢印の方向に差し込む。



④ ハンドル取り付けネジを押しながら、時計回りの方向に回して締める。



🔧ちよつと一言

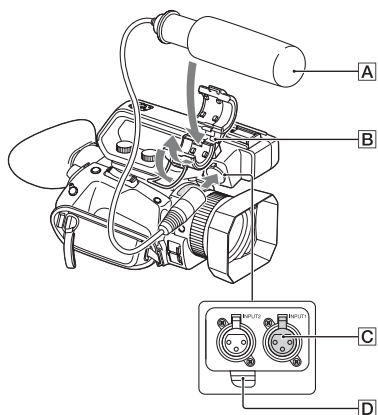
- XLRハンドルユニットを取り付けるときは、ハンドル取り付けネジ2本を確実に締めてください。
- ハンドル取り付けネジを締めずに使用すると、マルチインターフェースシュー端子の破損や本機が落下するおそれがあります。

XLRハンドルユニットを取り外すには取り付けの逆の手順で取り外してください。

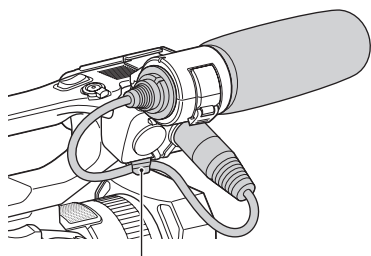
各部のなまえ(つづき)

マイク(別売)を取り付けるには

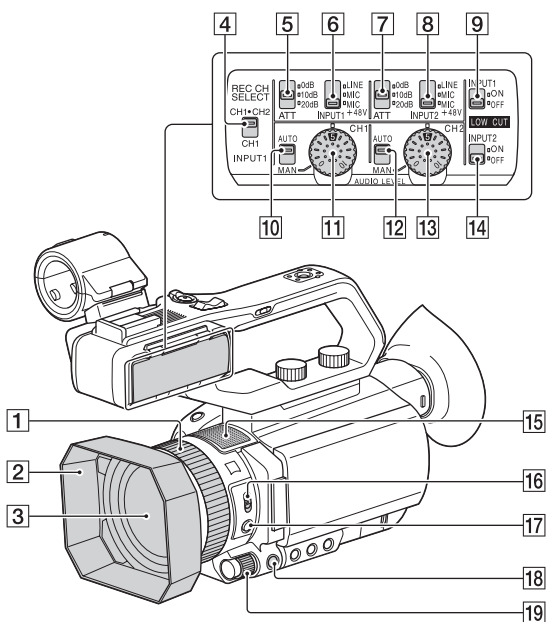
別売のマイクを使って音声を記録するとき、以下の手順を行ってください。



- ① マイク **A** を、マイクホルダー **B** に取り付ける。
- ② マイクケーブルをINPUT1端子 **C** につなぐ。
- ③ 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダー **D** に取り付ける。



外側のホルダーに取り付ける。

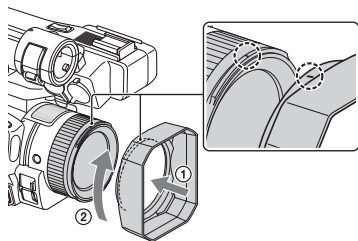


- | | | | |
|----|----------------------------------|----|-------------------------|
| 1 | マニュアルレンズリング(34) | 14 | LOW CUT(INPUT2)スイッチ(52) |
| 2 | レンズフード | 15 | 内蔵マイク |
| 3 | レンズ(ZEISS レンズ搭載) | 16 | ZOOM/FOCUS スイッチ(36) |
| 4 | REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ(51) | 17 | AF/MF ボタン(36) |
| 5 | ATT(INPUT1)スイッチ(51) | 18 | MENU ボタン(107) |
| 6 | INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(51) | 19 | マニュアルダイヤル(44) |
| 7 | ATT(INPUT2)スイッチ(51) | | |
| 8 | INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(51) | | |
| 9 | LOW CUT(INPUT1)スイッチ(52) | | |
| 10 | AUTO/MAN(CH1)スイッチ(52) | | |
| 11 | AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル(52) | | |
| 12 | AUTO/MAN(CH2)スイッチ(52) | | |
| 13 | AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル(52) | | |

各部のなまえ(つづき)

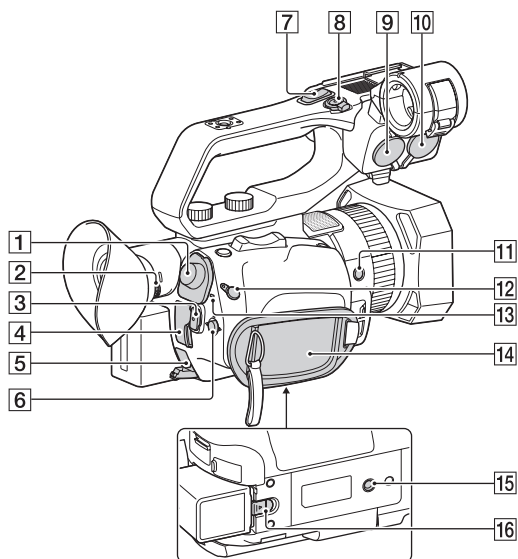
レンズフードを取り付けるには

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。



💡ちょっと一言

- 直径62ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズフードを取り外してください。

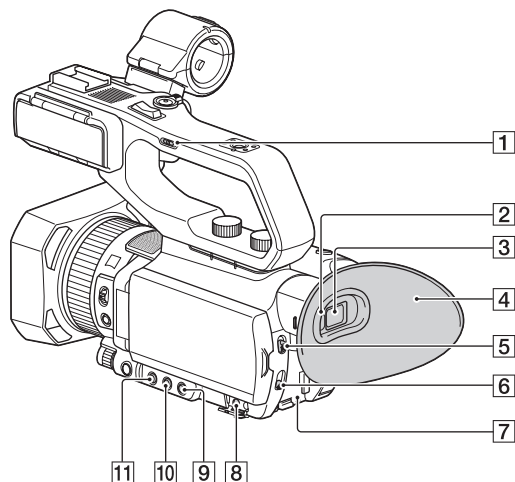


- 1 SDI OUT 端子(69)
- 2 視度調節ダイヤル(26)
- 3 START/STOP ボタン(30)
- 4 HDMI OUT 端子(69)
- 5 DC IN 端子(21)
- 6 ▲/▼/◀/▶/SET ボタン(107)
- 7 ハンドルズームレバー(34)
- 8 ハンドル録画ボタン(30)
- 9 INPUT2 端子(51)
- 10 INPUT1 端子(51)
- 11 ASSIGN6 ボタン
- 12 REMOTE 端子
- 13 POWER(電源)/CHG(充電)ランプ
- 14 グリップベルト
- 15 三脚用ネジ穴(1/4 インチ)
1/4-20UNC のネジに対応
三脚(別売、ネジの長さ 5.5mm 以下)

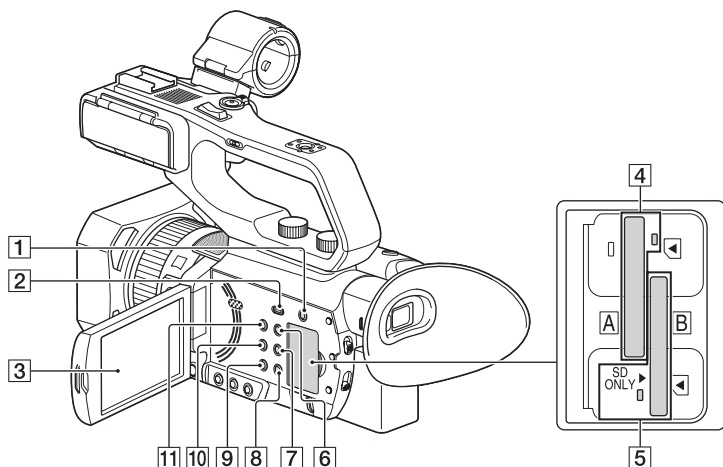
を取り付けます。
三脚の仕様によっては、適切な方向で
取り付けられない場合があります。

- 16 BATT(バッテリー)取り外しレバー
(21)

各部のなまえ(つづき)



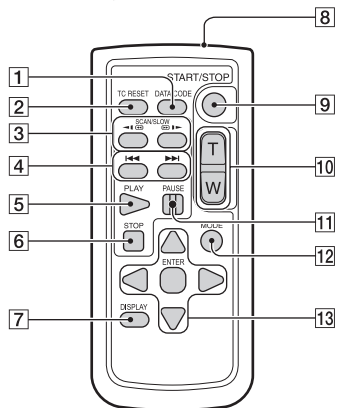
- 1 ハンドルズームスピード切り換えスイッチ(34)
- 2 アイセンサー
- 3 ビューファインダー(26)
- 4 大型アイカップ(26)
- 5 AUTO/MANUAL スイッチ(44)
- 6 ND FILTER スイッチ(46)
- 7 バッテリー取り付け部(21)
- 8 ϕ (ヘッドホン)端子
- 9 SHUTTER SPEED(シャッタースピード)ボタン(45)
- 10 ISO/GAIN(ISO 感度 / ゲイン)ボタン(45)
- 11 IRIS(アイリス)ボタン(44)



- 1 SLOT SELECT ボタン(29)
- 2 THUMBNAIL/▶ ボタン(65)
- 3 液晶モニター/タッチパネル(26)
- 4 メモリーカードスロット A/ メモリーカードアクセスランプ(29)
- 5 メモリーカードスロット B/ メモリーカードアクセスランプ(29)
- 6 DISPLAY ボタン(67)
- 7 ASSIGN3 ボタン /PICTURE PROFILE ボタン(55)
- 8 ASSIGN2 ボタン /STATUS CHECK ボタン(68)
- 9 ASSIGN1 ボタン /S&Q ボタン(60)
- 10 WHITE BALANCE(ホワイトバランス)ボタン(47)
- 11 電源ボタン(24)

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



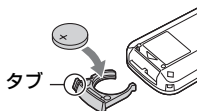
- 1 DATA CODE ボタン(67)
- 2 TC RESET ボタン(60)
- 3 SCAN/SLOW ボタン(65)
- 4 ◀◀ ▶▶(PREV/NEXT) ボタン(65)
- 5 PLAY ボタン(65)
- 6 STOP ボタン(65)
- 7 DISPLAY ボタン(67)
- 8 リモコン発光部
- 9 START/STOP ボタン(30)
- 10 ズームレバー
- 11 PAUSE ボタン(65)
- 12 MODE ボタン
- 13 ◀/▶/▲/▼/ENTER ボタン

⓪ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

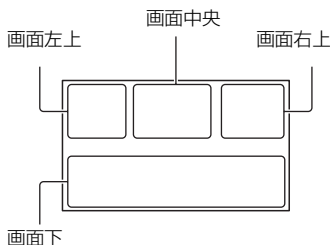
リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」と音がするまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池 (CR2025) が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示



画面左上

表示	意味
100%	バッテリー残量
	INTELLIGENT AUTO (顔/シーン認識/手ブレ) (54)
	SCENE SELECTION (54)
XAVC 2160/30p	録画フォーマット(42)
XAVC 1080/60p	
HD422 1080/60i	
HD420 1080/60i	
AVCHD 1080/60i	
	光学ズーム(111)
Z99 x1.2	全画素超解像ズーム (111)
Z99 x2.3	デジタルズーム(111)
	同時記録(33)
	リレー記録(32)
	プロキシ記録 [ON](43)

* 別売「CBKZ-SLMP」

画面中央

表示	意味
	記録メディア(27)
REC STBY	撮影状態(30)
	警告(154)
	再生表示(65)
	処理中

表示	意味
	リレー記録(32)
	SDI/HDMI REC CONTROL(123)
	ストリーミング(85,91)












画面右上

表示	意味
0min	記録残量時間の目安
	記録/再生メディア
00:00:00:00	タイムコード(時:分:秒: フレーム)(59)
	LAN接続(85,91,94, 97,99)
XXXXXXX	USTREAM視聴者数(91)
	Wi-Fi接続状態表示(96)

画面下

表示	意味
	顔検出 [ON](40)
PEAKING	ピーキング(126)
	ゼブラ(126)
	NFC有効(76)
	飛行機モード [ON](133)
	手ブレ補正() STEADYSHOT(111)
	手動フォーカス(36)
	ピクチャープロファイル (55)
F5.6	アイリス(44)
ISO800	ISO感度(45)
9dB	ゲイン(45)
100 180°	シャッタースピード(45)
	AVCHD録音フォーマット (124)
-2.0EV	AEシフト(111)


画面表示(つづき)

表示	意味
	自動設定/手動設定(44)
	ホワイトバランス(47)
	ヒストグラム(126)
	LOW LUX(55)
	音声レベル表示(128)
	デジタルエクステンダー (111)
	REC LEVEL MODE (124)
	NIGHTSHOT(55)
	SELECTED MIC(125)
	NDフィルター(46)
	ガンマ表示アシスト(58)

💡ちよつと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、 (DISPLAY SET)メニュー→[DATA CODE]で表示したいデータを選ぶか、再生時にDATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押すと確認できます。

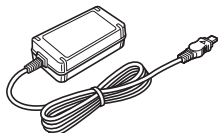
準備する

準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内は個数。

ACアダプター(21ページ)



電源コード(21ページ)



ワイヤレスリモコン RMT-845(16ページ)

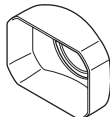


ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

大型アイカップ(26ページ)



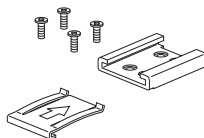
レンズフード(12ページ)



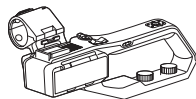
レンズキャップ(本体に装着)



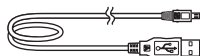
アクセサリシューキット(アクセサリシュー(1)、シューパネ(1)、ネジ(4))(23ページ)



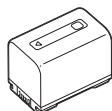
XLRハンドルユニット



USBケーブル



リチャージャブルバッテリーパック(NP-FV70A)



CD-ROM「Manuals for Solid-State Memory Camcorder」

取扱説明書 (2)

保証書

ソフトウェアのダウンロードについて
本機をパソコンと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

本機を使ってリレー記録した動画を結合するなど、記録した画像をパソコンで扱う場合には、ソフトウェア「Catalyst

準備1:付属品を確かめる(つづき)

Browse]を使用してください。詳しくは同梱のチラシでご確認ください。
NLE(Non-Linear Editing)の使用に関しては各メーカーにお問い合わせください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ:

アメリカ合衆国:

<http://pro.sony.com>

カナダ: <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ:

<http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ

<http://www.pro.sony.eu>

日本 <http://www.sonybsc.com>

アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>

中国 <http://pro.sony.com.cn>

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

有償アップグレードライセンスについて

- MPEG HDでの記録/再生には「CBKZ-SLMP」(別売)が必要です。
- ワイヤレス TC LINK機能を使うには、「CBKZ-WTCL」(別売)が必要です。
- オプションの購入後、コンピューターと本機をUSBで接続し、自動認識機能により、PCの指示にしたがってインストールします。

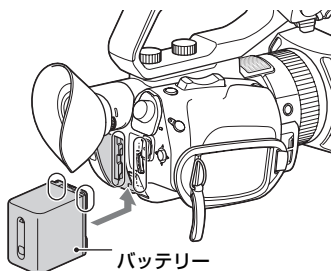
準備 2: バッテリーを充電する

専用の“インフォリチウム”バッテリー(Vシリーズ)を、ACアダプター(付属)を使って充電します。

⚠️ ご注意

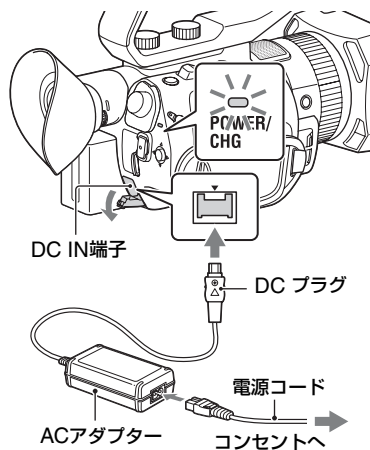
- 高容量バッテリーNP-FV100A(別売)がお使いいただけます。NP-FV50Aはお使いいただけません。

1 液晶モニターを閉じ、ファインダーを収納して、バッテリーを取り付ける。



2 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。

CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始まります。



準備する

充電が終わると

充電が完了すると、CHG(充電)ランプが消灯します。

充電が終わったら、ACアダプターをDC IN端子から取り外してください。

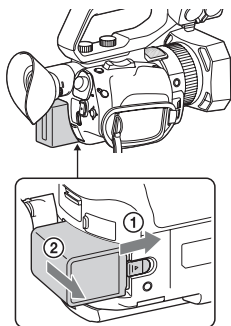
👉 ちょっと一言

- ステータスチェックでバッテリー残量を確認できます(68ページ)。

バッテリーを取り外すには

電源を切った状態で、BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら、バッテリーを取り外す。

準備2:バッテリーを充電する(つづき)



ACアダプターについて

- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください(171ページ)。

充電時間

バッテリーを使い切った状態から充電したときにかかる、およその時間(分)です。

バッテリー型名	満充電
NP-FV70A	170

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源を切った状態で行ってください。
- 次のときは、充電中にCHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォが正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けしていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき

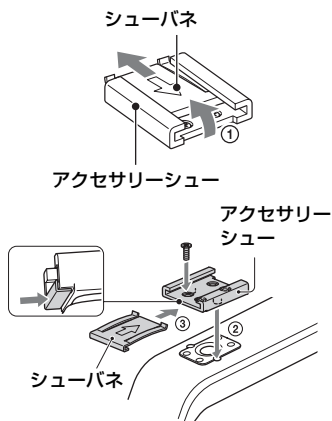
コンセントにつないで使うには

ACアダプターを使用すると、コンセントから電源を取れます。ACアダプター使用時は、バッテリーが取り付けられていても、バッテリー残量は減りません。

「準備2:バッテリーを充電する」(21ページ)の手順2まで行う。

準備 3: アクセサリーシューを取り付ける

アクセサリーシューを取り付けるには
アクセサリーシュー取り付け部に図のよ
うに取り付けてください。



- ① シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- ② アクセサリーシューの凸部とアクセサリーシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- ③ シューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリーシューの端部にはまるように取り付ける。

アクセサリーシューを取り外すには
「アクセサリーシューを取り付けるには」
の手順①と同様にシューバネを外し、ネジ
を緩めてアクセサリーシューを外す。

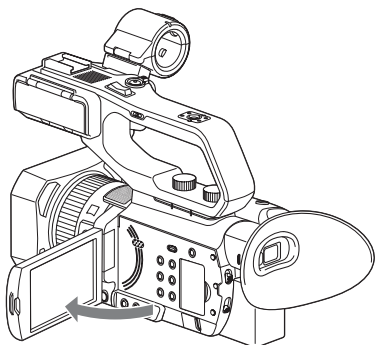
準備 4:電源を入れて日時を合わせる

電源を入れる

液晶モニターを開いて電源を入れる。

ファインダーを引き出したり、 \odot (電源)ボタンを押すことでも電源を入れることができます。

初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります。



電源を切るには

液晶モニターを閉じる。
ファインダーを引き出している場合は、押し戻してください。
 \odot (電源)ボタンを押すことでも電源が切れます。

ご注意

- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。
- 動画の記録中、USB接続中は液晶モニターを閉じ、ファインダーを押し戻しても、電源は切れません。

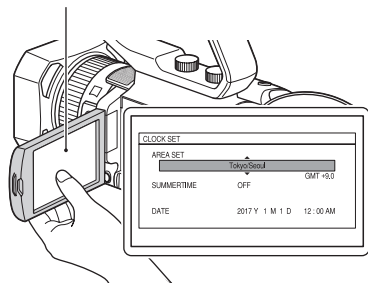
日時を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。

ちょっと一言

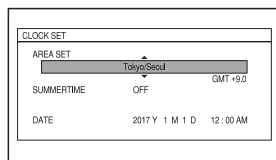
- 3か月近く使わないでくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(173ページ)。

液晶モニター

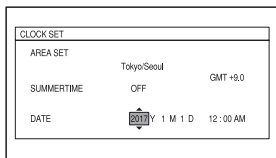


日時合わせをやり直すときは、MENUボタンを押して、 ☰ (OTHERS)メニュー→[CLOCK SET]を選んでください。

1 エリアを決定する。



2 [SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を決定する。



時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME]を[ON]にすると、時計が1時間進みます。
- [Y]は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

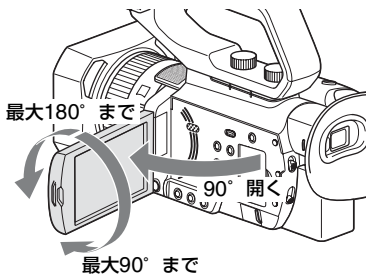
💡ちょっと一言

- 日付時刻は撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます(67ページ)。

準備 5: 液晶モニターとファインダーを調節する

液晶モニターを使う

液晶モニターは下図の範囲で回転させられるので、撮影者以外が映像を確認することもできます。

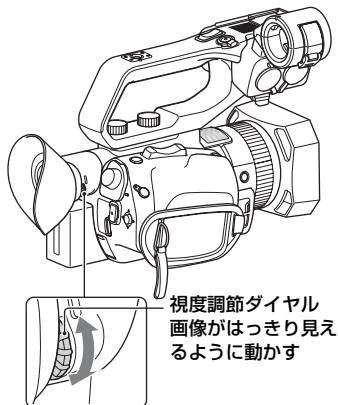


ファインダーを見やすく調節する

ファインダーで見るときは、ファインダーを引き出してファインダーに目を近づけてください。

ファインダーを引き出し、液晶モニターを開いた状態でファインダーに目を近づけると、液晶モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

ファインダーの画面表示がぼやけているときは、ファインダー横の視度調節ダイヤルで調節してください。

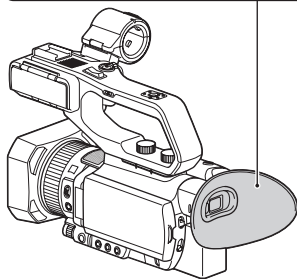
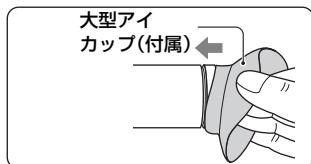


⚠️ ご注意

液晶モニターとファインダーを同時に使用することはできません。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。



⚠️ ご注意

- 別売のバッテリーNP-FV100Aを装着したままファインダーを収納すると、大型アイカップとバッテリーがやや干渉しますが、機能に問題はありません。

準備 6: メモリーカードを入れる

本機で使えるメモリーカード

以下の一覧を参考にし、使用するメモリーカードを選んでください。

本書では、使用できるメモリーカードについてSDカード、メモリスティックと表現しています。

SDカード

記録方式		対応メモリーカード
AVCHD		SD/SDHC/SDXCメモリーカード (Class4以上またはU1以上)
	S&Q MOTION SUPER SLOW MOTION	SDHC/SDXCメモリーカード (Class10またはU1以上)
XAVC QFHD	60Mbps以下	SDXCメモリーカード (Class10またはU1以上)
	100Mbps以上 S&Q MOTION	SDXCメモリーカード(U3)
	SUPER SLOW MOTION	—
MPEG HD 422		SDXCメモリーカード (Class10またはU1以上)
MPEG HD 420		—
XAVC HD	S&Q MOTION	SDXCメモリーカード(U3)
	SUPER SLOW MOTION	SDXCメモリーカード (Class10またはU1以上)

メモリスティック

記録方式		対応メモリーカード
AVCHD		メモリスティック PRO デュオ (Mark2)/メモリスティック PRO-HGデュオ
	S&Q MOTION SUPER SLOW MOTION	—
MPEG HD 422		—
MPEG HD 420		—
XAVC HD	S&Q MOTION	—
XAVC QFHD	SUPER SLOW MOTION	—

ⓘ ご注意

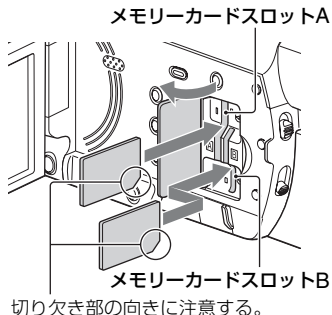
- MPEG HDで記録するには、「CBKZ-SLMP」(別売)が必要です(42ページ)。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- メモリーカードの記録時間は160ページをご覧ください。
- 標準の「メモリスティック」の半分の大きさの「メモリスティック PRO デュオ」と「メモリスティック XC-HG デュオ」、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。

準備6:メモリーカードを入れる(つづき)

- “メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT(“メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステム)に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。

メモリーカードを入れる

カバーを開けて、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」と音がするまで押し込む。



- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- メモリーカードスロットAは、「メモリスティック PROデュオ」とSDカードの両方に対応しています。メモリーカードスロットBはSDカードのみ対応しています。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

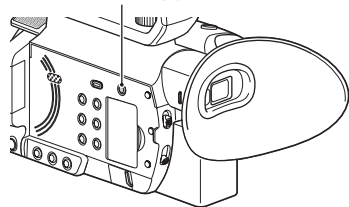
ⓘご注意

- [The image database file is corrupted. The media must be restored to use again.] と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(105ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

記録するメモリーカードスロットを選択するには

SLOT SELECTボタンを押して記録するスロットを切り換えます。選択したスロットは画面上で確認できます。

SLOT SELECTボタン



ⓘご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- メモリーカードへの記録中に、SLOT SELECTボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

💡ちょっと一言

- メモリーカードが1枚だけ挿入されているときは、メモリーカードが挿入されているスロットが自動的に選択されます。
- 録画中にメモリーカードの容量がいっぱいになった場合、もう一方のスロットにメモリーカードが挿入されていれば、自動で切り換わります(リレー記録、32ページ)。

メモリーカードの修復を促す画面が出たときは

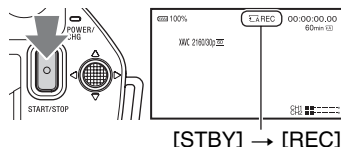
前回記録時に、メモリーカードへの記録に異常があった可能性があります。画面の[OK]を選ぶと、可能な範囲で修復が行われます。[CANCEL]を選ぶと、修復は行われません。

撮影する

撮影する

本機は動画をメモリーカードに記録します。お買い上げ時は、XAVC QFHDで記録されます。

メモリーカードが正しく挿入されていることを確認して、START/STOPボタン(ハンドル録画ボタン)を押すと記録が開始されます。



撮影中は録画ランプが点灯します。

撮影を止めるには、START/STOPボタン(ハンドル録画ボタン)をもう一度押します。

ⓘ ご注意

- [MIC SELECT] を [AUTO] に設定しているときに、本体にXLR/ハンドルユニットを取り付けて、INPUT1端子とINPUT2端子にマイクが付いていない場合、内蔵マイクが選択されず、音声は記録されません。この場合、[INT MIC] に設定してください。(51ページ)
- MPEG HDで記録するには、「CBKZ-SLMP」(別売)が必要です(42ページ)。
- 記録方式がXAVC QFHDのときに[QFHD REC OUTPUT]を[EXTERNAL OUTPUT]に切り換えると、[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]になります。「外部出力用の端子を選ぶ」(70ページ)に追加情報があります。あわせてご覧ください。
- [QFHD REC OUTPUT]が[EXTERNAL OUTPUT]のときにXAVC QFHD記録を開始すると、[LCD BRIGHT]が[NORMAL]になります。
- 記録方式がAVCHD、MPEG HD、XAVC HDのときに[SIMUL/RELAY REC]を[SIMULTANEOUS REC]に切り換えると、[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]になります。
- 記録方式がAVCHD、MPEG HD、XAVC HDのときに[OUTPUT SELECT]を[SDI]に切り換えると、[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]になります。
- 記録方式がXAVC QFHDのときにストリーミング配信を開始すると、ストリーミング中は[QFHD REC OUTPUT]が[VF/LCD PANEL]、[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]、[LCD BRIGHT]が[NORMAL]になります。
- 記録方式がAVCHD、MPEG HD、XAVC HDのときにストリーミング配信を開始すると、ストリーミング中は[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]、[LCD BRIGHT]が[NORMAL]になります。
- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- AVCHD記録の場合は、撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- 1回の撮影での連続記録可能時間は、MPEG HD、XAVC (HD/QFHD)で約6時間、AVCHDで約13時間です。リレー記録の場合は、MPEG HD、XAVC (HD/QFHD)も13時間記録可能です。記録可能時間を超えると記録は停止します。

- メニューの設定や、ピクチャープロフィールの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定は液晶モニターを閉じて電源を切ると保存されます。保存処理中はPOWER(電源)/CHG(充電)ランプが点滅します。液晶モニターを閉じずに電源が入ったままバッテリーやACアダプターを取り外して電源を切ると、これらの設定は保存されません。

💡ちよつと言

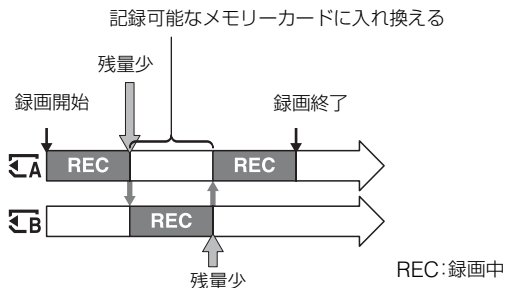
- 画像のアスペクト比は16:9に固定されます。
- 撮影中の画面表示の切り換えについては67ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については17ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます ([REC LAMP]、135ページ)。
- 動画の記録時間については160ページをご覧ください。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する(リレー記録)

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A(またはメモリーカード B)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り換わります。

撮影前に以下の設定をしてください。

⇒ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [RELAY REC]にする。



ⓘ ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[**☑A** → **☑B**]または[**☑B** → **☑A**]が表示されます。メモリーカードスロットが切り換わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア(19ページ)を使用してください。
- リレー記録での連続記録可能時間は、MPEG HD、XAVC (HD/QFHD)、AVCHDともに約13時間で、記録可能時間を超えると記録は停止します。

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する(同時記録)

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

⇄ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [SIMULTANEOUS REC]にする。

ⓘ ご注意

- 記録方式がAVCHD、MPEG HD、XAVC HDのときに[SIMUL/RELAY REC]を[SIMULTANEOUS REC]に切り換えると、[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]になります。

START/STOPボタン/ハンドル録画ボタンの設定を変える








START/STOPボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

お買い上げ時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

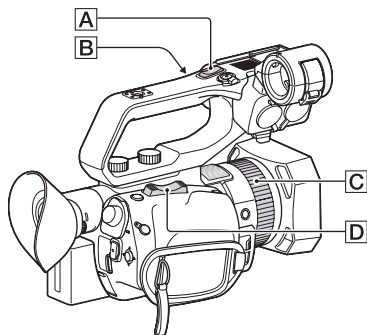
- REC BUTTON:  
- HANDLE REC BUTTON:  

設定を変えるには

⇄ (REC/OUT SET) → [REC SET] → [REC BUTTON SETTING]を選択する。

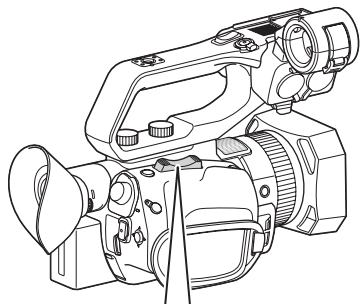
REC BUTTON SETTINGの設定	ボタンとメモリーカード
REC BUTTON:   HANDLE REC BUTTON:  	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
REC BUTTON:  HANDLE REC BUTTON: 	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
REC BUTTON:  HANDLE REC BUTTON: 	START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

ズームする



ズームレバーでズームする

ズームレバー**D**を軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームします。



広角:
Wide(ワイド)



望遠:
Telephoto
(テレフォト)

👁ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1 cm以上、望遠は約1 m以上です。

- 被写体との距離が1 m以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバー**D**から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー**D**の操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー**D**操作時のズームタイプを選ぶことができます([ZOOM TYPE]、111ページ)。
- ズームレバー**D**のズーム駆動速度を速くすることもできます([SPEED ZOOM]、111ページ)。

ハンドルズームでズームする

- ① ハンドルズームスピード切り換えスイッチ**B**を「VAR」または「FIX」にする。

👁ちょっと一言

- 「VAR」にすると、押し具合によってズームスピードが変化します。
 - 「FIX」にすると、押し具合に関わらず固定スピードで動きます(スピードはメニューで設定します。[HANDLE ZOOM]、111ページ)。
- ② ハンドルズームレバー**A**を押してズームする。

👁ご注意

- ハンドルズームスピード切り換えスイッチ**B**が「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。
- ハンドルズームスピード切り換えスイッチ**B**で本体のズームレバー**D**の速さを変えることはできません。

👁ちょっと一言


- ハンドルズームレバー**A**操作時のズームタイプを選ぶことができます([ZOOM TYPE]、111ページ)。
- ハンドルズームレバー**A**のズーム駆動速度を速くすることもできます([SPEED ZOOM]、111ページ)。

マニュアルレンズリングでズームする

ZOOM/FOCUSスイッチをZOOM側に切り換えて、マニュアルレンズリング**C**

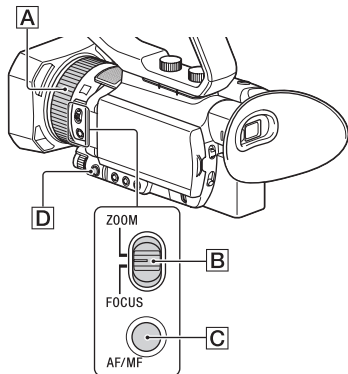
を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

 ご注意

- マニュアルレンズリング  は適度な速さで回してください。速すぎると、マニュアルレンズリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

フォーカスを調節する

撮影状況に応じて、手動または自動でピント合わせができます。



手動でピントを合わせる

1 撮影またはスタンバイ中に、AF/MFボタン[C]を押して、フォーカスを手動にする。

☞が表示されます。

2 ZOOM/FOCUSスイッチ[B]を切り換え、マニュアルレンズリング[A]を回す。

- FOCUS側：マニュアルレンズリングを回すと、手動でフォーカスを調整することができます。
- ZOOM側：マニュアルレンズリングを回すと、ズームを調節することができます。

☞は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近くに合わせられないとき■に変わります。

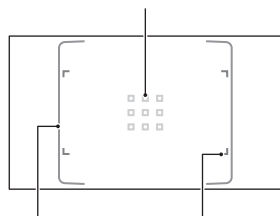
自動でピントを合わせる

AF/MFボタン [C]を押して、フォーカスを自動にすると、☞が消えオートフォーカスになります。

本機は、高速性に優れた位相差AF方式と、高い精度でフォーカスを合わせることに優れたコントラストAF方式を採用しています。

これらの2つのAF方式を掛け合わせて利用することで、高速性・高精度を両立したオートフォーカスを実現しています。位相差AFが有効な場合、[PHASE AF FRAMES]を[ON]にすると、位相差AF枠が画面に表示されます。また、[PHASE DETECT. AF AREA]が[ON]のときは、位相差AFエリアが画面に表示されます。ピントを合わせようとしている場所は、位相差AF枠が白枠で表示され、ピントが合うと緑色の枠になります。

位相差AF枠



位相差AFエリア フォーカスエリア枠

☞ご注意

- 位相差AF枠は[FOCUS AREA]が[WIDE]または[ZONE]のときに表示されます。[CENTER]および[FLEXIBLE SPOT]のときは、位相差AFが有効な場合に、フォーカスエリア枠が緑色になることでピントが合ったことがわかります。
- スーパースローモーション撮影時はオートフォーカス機能が使えません。

👁️ちよつと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を約3秒間表示します。
 - AF/MFボタン \square を押して、フォーカスを手動にして \odot を表示させたとき
 - \odot 表示中にマニュアルレンズリング \mathbf{A} を回したとき
- フォーカス距離情報はメートル表示とフィート表示で切り換えられます ([FOCUS DISPLAY]、128ページ)。

フォーカスエリアを選ぶ

オートフォーカスのときは、ピント合わせの位置を変更することができます。あらかじめ構図や被写体の動く範囲が決まっている場合や意図した被写体にピントが合いにくいときなどに使います。

- ① MENUボタン \square を押し、 \blacksquare (CAMERA SET)メニュー → [FOCUS AREA]を選ぶ。
- ② [WIDE]、[ZONE]、[CENTER]、[FLEXIBLE SPOT]のいずれかを選ぶ。[ZONE]と[FLEXIBLE SPOT]を選んだ場合は、表示される次の画面で、ピントを合わせる位置をタッチします。

📌ご注意

- 以下の場合、[FOCUS AREA]は[WIDE]に固定されます。
 - 全画素超解像ズーム中
 - デジタルズーム中
 - [SCENE SELECTION]設定でオートモード撮影時
 - [INTELLIGENT AUTO]設定でオートモード撮影時
 - ロックオンAF時
 - 顔検出(FACE DETECTION)の優先顔選択時
- スーパースローモーション撮影時は、フォーカスエリアの設定は無効になります。
- 光学ズーム以外のズーム使用時は、フォーカスエリアの設定は無効になり、フォーカスエリア枠は点線で表示されます。

[WIDE]時に任意の位置にピントを合わせるには

[FOCUS AREA]の設定が[WIDE]のときに、意図しない位置にピントがあってしまう場合、液晶モニターのピントを合わせたい位置をタッチすると、その位置に自動でピントを合わせます。タッチできる範囲は、位相差AFエリア内に限定されます。

位相差AFについて

使用するフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFをかけ合わせたオートフォーカスになります。

📌ご注意

- 以下の場合、位相差AFは使えません。コントラストAFのみになります。
 - [S&Q MOTION]で[HIGH FRAME RATE]を選択している場合
 - [NIGHTSHOT]使用時
 - 絞り値がF8.0より大きいとき

AF駆動速度を選ぶ

オートフォーカスのピント合わせの速度を選ぶことができます。

- ① MENUボタン \square を押し、 \blacksquare (CAMERA SET)メニュー → [AF DRIVE SPEED]を選ぶ。
- ② [1[SLOW]] ~ [7[FAST]]の範囲で駆動速度を選ぶ。

1~4: 被写体の移り変わり時にゆっくりとピント送りし、印象的な映像表現を可能にします。

5~7: 高速にするほどピントの追従が素早くなります。動きの速い被写体にピントを合わせ続けられるので、スポーツの撮影などに効果的です。

📌ご注意



- 以下の場合、AF駆動速度設定は使えません

フォーカスを調節する(つづき)

- [S&Q MOTION]で[HIGH FRAME RATE]を選択している場合
 - [NIGHTSHOT]使用時
 - [INTELLIGENT AUTO]設定時
- コントラストが弱い被写体や暗所にある被写体に対しては、速度設定によらず最適な速度で動作する場合があります。

AF被写体追従設定

オートフォーカスの追従感度を選ぶことができます。

- ① MENUボタン  を押し、 (CAMERA SET)メニュー → [AF SUBJ. TRACK SET]を選ぶ。
- ② [AF TRACKING DEPTH]と[AF SUBJ. SWITCH. SENS.]を設定する。

AF TRACKING DEPTH:

奥行き方向への被写体を追従する範囲を[1[NARROW]]～[5[WIDE]]で設定します。

広くするほど、動きの大きな被写体に素早く反応し、距離の異なる被写体に次々とピントを合わせることができます。

狭くするほど、動きの少ない被写体にピントを合わせ続けることができます。撮影したい被写体の前を別の被写体が横切るといった条件下で、狙った被写体を撮り続けるときなどに効果的です。

AF SUBJ. SWITCH. SENS.:

被写体を変えたときに、新しい被写体にピント合わせるまでの時間を[1[LOCKED ON]]～[5[RESPONSIVE]]で設定します。

短くするほど、被写体の変化により素早く反応し、被写体が変わる度に次々とピントを合わせることができます。

長くするほど、ピントを維持します。被写体がフォーカスエリアを外れても敏感に反応しないため、すぐに被写体をフォーカ

スエリアに戻すことでピントを合わせ続けることができます。

[AF TRACKING DEPTH]/[AF SUBJ. SWITCH. SENS.]の設定例

鉄道/レース

手前には何も存在せず、動きが規則的でスピードがある被写体を追従したいとき。

[AF TRACKING DEPTH]:4
[AF SUBJ. SWITCH. SENS.]:5

スポーツ/野生動物

速くて不規則な動きの特定の被写体を粘り強く追い続けたいとき。

[AF TRACKING DEPTH]:4
[AF SUBJ. SWITCH. SENS.]:2

風景/マクロ撮影

被写体の動きは少ないがシーンチェンジが多く、次々テンポよく合わせたいとき。

[AF TRACKING DEPTH]:1
[AF SUBJ. SWITCH. SENS.]:5

パーティー/祭り

手前に主要被写体でない人物が映っている場合や、動きの速くない特定の被写体を粘り強く追い続けたいとき。

[AF TRACKING DEPTH]:1
[AF SUBJ. SWITCH. SENS.]:1

📌注意

- 以下の場合、AF被写体追従設定は使えません。
 - [S&Q MOTION]で[HIGH FRAME RATE]を選択している場合
 - [NIGHTSHOT]使用時
 - [INTELLIGENT AUTO]設定時

選んだ被写体を追尾してフォーカスを調節する(ロックオンAF)

画面をタッチして選んだ被写体を追尾して、ピントを合わせ続けます(お買い上げ時の設定は[OFF])。

1 MENUボタン \square を押す。

2 \square (CAMERA SET)メニュー →[LOCK-ON AF]→[ON]を 選ぶ。

3 液晶モニターで、追尾させたい被写体をタッチする。

ロックオンAFを解除するには

$\square \times$ を選ぶ。

ⓘ ご注意

- 以下の被写体や撮影条件では、ロックオンAFがうまく働かないことがあります。
 - 動きが速すぎる被写体
 - 小さすぎる、または大きすぎる被写体
 - 被写体と背景が同系色の場合
 - 暗いシーン
 - 明るさが変わるシーン
- 以下の場合、ロックオンAFは使えません。
 - デジタルズーム中
 - 拡大フォーカス(FOCUS MAGNIFIER)使用時
 - HFR(ハイフレームレート)撮影時
 - スーパースローモーション撮影時
 - 記録方式がXAVC QFHDで[PROXY REC MODE]が[ON]の場合
 - 記録方式がXAVC QFHDでHDMI出力中
 - ストリーミング(STREAMING)中
 - RTMP/RTMPS中
 - USTREAM中

- ネットワーククライアントモード(NETWORK CLIENT MODE)中
- ワイヤレス TC LINK(WIRELESS TC LINK)中
- デジタルエクステンダー(D. EXTENDER)使用時
- カラーバー表示中
- 追尾している被写体を見失って一定時間経過後は、追尾を再開できないことがあります。
 - ロックオンAFの使用中、[FOCUS AREA]は[WIDE]になります。

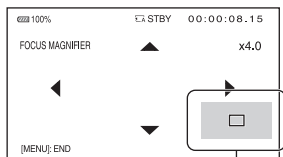
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)

選択された領域の画面を拡大して表示します。ピントが合っているかを確認するときに便利です。

ASSIGN4/FOCUS MAGNIFIERボタンに[FOCUS MAGNIFIER]が割り当てられています(64ページ)。

ASSIGN4/FOCUS MAGNIFIER ボタンを押す。

画面中央が拡大されます。
押すたびに設定が切り換わります。



拡大表示位置

本機の \blacktriangle / \blacktriangledown / \blacktriangleleft / \blacktriangleright ボタンで拡大表示の位置を変更できます。SETボタンを押すと、拡大表示位置が中央に戻ります。

ⓘ ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

フォーカスを調節する(つづき)

👁️ ちょっと一言

- [FOCUS MAG RATIO]で拡大する倍率を切り換えられます(127ページ)。

画面をタッチしてピントを合わせる(スポットフォーカス)

画面をタッチしたポイントにフォーカスを合わせます。

1 MENUボタン \square を押す。

2 \square (CAMERA SET)メニュー → [SPOT FOCUS]を選ぶ。

3 液晶モニターで、ピントを合わせたいポイントをタッチする。

📌 ご注意

- [SPOT FOCUS]は、フォーカスが手動のときのみ行えます。

スポットフォーカスを止めるには
MENUボタン \square を押す。

検出した顔にピントを合わせる(顔検出)

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます(お買い上げ時の設定は[ON])。フォーカスが自動のときに使用できます。

1 MENUボタン \square を押す。

2 \square (CAMERA SET)メニュー → [FACE DETECTION] → [ON]を選ぶ。

顔を検出すると灰色の顔検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になります。位相差AFが有効な場合は、ピントが合うと枠が緑色になります。

優先顔を設定するには

選択カーソル(オレンジ色の下線)を移動して、優先する顔を選び、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

優先顔枠(二重)



選択カーソル(オレンジ)

優先されている顔枠が二重枠に変わります。

優先顔を解除するには

優先顔枠に選択カーソルを移動して▲/▼/◀/▶/SETボタンを押すと、優先が解除されます。

📌 ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は[FACE DETECTION]を[OFF]にしてください。
- 以下の場合、顔検出が無効になります。
 - 全画素超解像ズーム中
 - デジタルズーム中
 - ナイトショット中
- 顔検出の制約については、「記録時の機能制限について」(163ページ)および「スロー&クイックモーションおよびスーパー・スローモーション撮影時の制約」(164ページ)をご覧ください。

- [LOCK-ON AF]が[ON]の場合、選択カーソルは表示されず、優先する顔は選べません。

💡ちょっと一言

- 設定されているフォーカスエリアの中の顔のみ、ピントが合います。
- [FOCUS AREA]が[WIDE]のときに[FACE DETECTION]を[ON]にすると、フォーカスエリア枠は非表示になります。
- 顔検出をしやすいするためには以下のような状況で撮影してください。
 - 適度に明るい場所で撮影する。
 - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする。
 - 顔をカメラ正面に向ける。

記録方式と録画フォーマットを選ぶ

メニューで記録方式と録画フォーマットを設定する

⇒ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [FILE FORMAT]で記録方式、
⇒ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [REC FORMAT]で録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選ぶことができます(119ページ)。

MPEG HDで記録するには

MPEG HD記録機能を使うには、「CBKZ-SLMP」(別売)が必要です。

オプションの購入後、コンピューターと本機をUSBで接続し、自動認識機能により、PCの指示にしたがってインストールします。

4Kモード記録中の出力先を設定する

XAVC QFHDで記録中の映像信号の出力先を選択することができます。

1 MENUボタンを押す。

2 ⇒ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [OUTPUT SELECT] → [QFHD REC OUTPUT]を選ぶ。

3 出力先を選ぶ。

VF/LCD PANEL

ファインダー/液晶モニターに出力します。

EXTERNAL OUTPUT

[OUTPUT SELECT]で選択した外部出力先に出力します。

ⓘ ご注意

- [QFHD REC OUTPUT]の設定は、記録方式がXAVC QFHDのときのみ有効です。
- [QFHD REC OUTPUT]を[EXTERNAL OUTPUT]に設定すると、ファインダー/液晶モニターには記録中映像が表示されなくなります。また、[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]になります。
- ストリーミング配信の記録中は、[EXTERNAL OUTPUT]に設定していてもファインダー/液晶モニターに出力されず。
- [QFHD REC OUTPUT]が[EXTERNAL OUTPUT]のときにXAVC QFHD記録を開始すると、[LCD BRIGHT]が[NORMAL]になります。
- XAVC QFHDで記録中は、以下のうちいずれか1つの機能を使うことができます。
 - QFHD記録中出力(QFHD REC OUTPUT)
 - 顔検出(FACE DETECTION)
 - プロキシ記録(ただし、以下をすべて満たすときは使うことができません)。
 - ⇒ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [REC FORMAT]が100Mbpsのとき
 - ⇒ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/RELAY REC]が[OFF]以外のとき
- SDI出力設定時は消費電力が増えるため、バッテリー使用時の撮影時間が短くなります。また、本体が温くなる場合がありますが、故障ではありません。

プロキシ記録をする

本機は高ビットレートのオリジナルファイルの動画を記録しながら、低ビットレートのプロキシファイルを同時に記録できます。

プロキシ記録時のご注意

プロキシ記録時の機能制限

プロキシ記録をする場合、本機には制限される機能があります。詳しくは、「記録時の機能制限について」(163ページ)をご覧ください。

プロキシ記録対応フォーマット

プロキシ記録ができるのは記録方式がAVCHD以外に設定されている場合です。記録されるオリジナルファイルの動画とプロキシファイルの映像のサイズには制約があります。

詳しくは、「プロキシ記録対応フォーマット」(166ページ)をご覧ください。

プロキシ記録に使用できるメディア

「本機で使えるメモリーカード」(27ページ)をご覧ください。

プロキシ記録する

1 MENUボタンを押す。

2 **⇄** (REC/OUT SET)メニュー
→ [REC SET] → [PROXY
REC MODE] → [ON/OFF] →
[ON]を選ぶ。

撮影画面に **Px** が表示されます。

3 **⇄** (REC/OUT SET)メニュー
→ [REC SET] → [PROXY

REC MODE] → [SIZE] → 希望の画サイズを選ぶ。

4 START/STOPボタン(ハンドル録画ボタン)を押して記録を開始する。

●ご注意

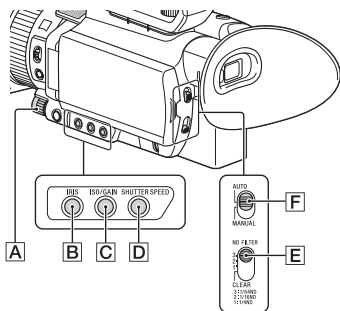
- XAVC動画のファイル数が上限(600)に達した場合、本機では記録できません。
- プロキシ記録時は、以下の機能は使えません。
 - カラーバー(COLOR BAR)
 - 日付記録(DATE REC)
 - スロー&クイックモーション(S&Q MOTION)
 - スーパースローモーション(SUPER SLOW MOTION)

プロキシ記録ファイルについて

- プロキシ記録したファイルの保存場所については、「メモリーカードのファイル/フォルダ構成」(168ページ)をご確認ください。
- プロキシファイルは本機で再生できません。オリジナルファイルのサムネイルに **Px** が表示されます。
- オリジナルファイルを削除/プロテクトすると、プロキシファイルも削除/プロテクトされます。

明るさを調節する

アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルタースイッチ[E]を使って光量を調節したりすることで、明るさを調節できます。



ⓘ ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[F]を「AUTO」にすると、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

アイリスを調節する

1 AUTO/MANUALスイッチ[F]を「MANUAL」にする。

2 IRISボタン[B]を押す。

アイリス値の横から[A]もしくは[B]が消え、アイリス値が反転します。



アイリス値

3 マニュアルダイヤル[A]を回して調節する。

絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

一時的に自動調整するには

ASSIGN5/IRIS PUSH AUTOボタンを押し続ける。

押している間だけ、自動で調整されます。

自動調整するには

アイリス値が反転表示している状態からIRISボタン[B]を押す。

アイリス値が消えるか、もしくはアイリス値の横に[A]が表示されます。AEを固定している場合は[B]が表示されません。

ISO感度/ゲインを調節する

ISO感度とゲインのどちらかを調節するかは、[ISO/GAIN SEL] (110ページ) で設定します。

1 AUTO/MANUALスイッチ[F]を「MANUAL」にする。

2 ISO/GAINボタン[C]を押す。

ISO値またはゲイン値の横から[A]もしくは[B]が消え、値が反転します。



ISO値またはゲイン値

3 マニュアルダイヤル[A]を回して調整する。

自動調整するには

ISO値またはゲイン値が反転表示している状態からISO/GAINボタン[C]を押す。ISO値またはゲイン値が消えるか、ISO値またはゲイン値の横に[A]が表示されます。AEを固定している場合は[B]が表示されます。

シャッタースピードを調節する

1 AUTO/MANUALスイッチ[F]を「MANUAL」にする。

2 SHUTTER SPEEDボタン[D]を押す。

シャッタースピードの値の横から[A]もしくは[B]が消え、シャッタースピード値が反転します。



シャッタースピード値

3 マニュアルダイヤル[A]を回して、シャッタースピードを調節する。

[60iのとき]

1/8~1/10000(ただし、24p撮影時は1/6~1/10000)から選べます。

[50iのとき]

1/6~1/10000から選べます。

シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

👁️ちょっと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりするこ

明るさを調節する(つづき)

とがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

- シャッタースピード表示は秒表示と角度表示で切り換えられます([SHUTTER DISPLAY]、128ページ)。

自動調整にするには

シャッタースピード値が反転表示している状態からSHUTTER SPEEDボタン[D]を押す。シャッタースピード値が消えるか、もしくはシャッタースピード値の横に[A]が表示されます。AEを固定している場合は[B]が表示されます。

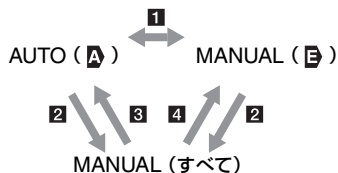
[60i/50i SEL]を切り換えた際の設定値について

設定変更後のシャッタースピードは、設定前のレベルが継承されます。各レベルのシャッタースピードは以下をご覧ください。

レベル	60i/60p/30p	24p	50i/50p/25p
0	-	6	-
1	8	12	6
2	15	24	12
3	30	25	25
4	50	40	30
5	60	48	50
6	90	50	60
7	100	60	100
8	125	96	120
9	180	100	150
10	250	120	215
11	350	144	300
12	500	192	425
13	725	200	600
14	1000	288	1000
15	1500	400	1250

レベル	60i/60p/30p	24p	50i/50p/25p
16	2000	576	1750
17	3000	1200	2500
18	4000	2400	3500
19	6000	4800	6000
20	10000	10000	10000

露出の調節について



1 [SPOT METER]、[SPOT METER/ FOCUS]でAUTO/MANUALを切り換えたとき

2 アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードがすべて「MANUAL」のとき

3 最後に設定した明るさ調整が自動調整で、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードのうち1つでも「AUTO」にしたとき

4 最後に設定した明るさ調整が手動調整で、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードのうち1つでも「AUTO」にしたとき

●ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[F]を「AUTO」にするか、[SPOT METER]、[SPOT METER/ FOCUS]画面上で[EXEC]を選択すると、自動調整に戻ります。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルタースイッチ[E]を使うと適切な明るさに行うことができます。

色合いを調節する

NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に削減するようにそれぞれ設定されています。

アイリスを自動調節しているとき、ND1が点滅したときは、NDフィルター1に、ND2が点滅したときはNDフィルター2に、ND3が点滅したときはNDフィルター3にします。

NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

NDOff が点滅したときは、NDフィルタースイッチ[E]を「OFF」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

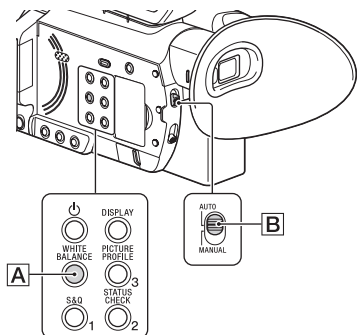
⚠️ ご注意

- 撮影中にNDフィルタースイッチ[E]を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。
- NDフィルターの位置(OFF/1/2/3)を検出できないときは、画面上にNDが点滅します。NDフィルターが正しく設定されているか確認してください。

💡 ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルタースイッチ[E]を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。A(☑️ A)またはB(☑️ B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。「PRESET」を選ぶと、あらかじめ📷(CAMERA SET)メニューの[WB PRESET]で選んだ[OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

1 AUTO/MANUALスイッチ[B]を「MANUAL」にする。

2 WHITE BALANCEボタン[A]を押す。

ホワイトバランス値が反転します。


3 マニュアルダイヤルを回してPRESET/A/Bのいずれかを選択する。

色合いを調節する(つづき)

■ A/Bの設定値






A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときを設定します。

■ PRESETの設定値

 (CAMERA SET)メニュー → [WB PRESET]でお好みの設定を選ぶ。



設定値	撮影状況例
 屋外 ([OUTDOOR])	<ul style="list-style-type: none">● 夜景やネオン、花火などを撮るとき● 日の出、日没などを撮るとき● 昼光色蛍光灯の下
 屋内 ([INDOOR])	<ul style="list-style-type: none">● パーティー会場など照明条件が変化する場所● スタジオなどビデオライトの下● ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	<ul style="list-style-type: none">●  (CAMERA SET)メニュー → [WB TEMP SET]で、2300K ~ 15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の設定は6500K)。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① AUTO/MANUAL スイッチ  を「MANUAL」にする。
- ② WHITE BALANCE ボタン  を押してホワイトバランス値を反転表示させる。
- ③ マニュアルダイヤルを回して A( A) または B( B) を選ぶ。
- ④ MENU ボタンを押す。
- ⑤  (CAMERA SET)メニュー → [WB SET] を選択する。

⑥ 被写体と同じ証明条件のところで、白い紙などを画面いっぱい映す。



⑦  /  /  / SET ボタンを押す。

 A または  B に調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。

ちょっと一言

● ASSIGNボタンに [WB SET] を割り当てている場合、④の代わりに撮影画面でASSIGNボタンを押すと、調整値が記憶されます。


ご注意

● ホワイトバランスの調整ができなかったときは、 A または  B が遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60(1/50)付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。

自動調整に戻すには

WHITE BALANCE ボタン  を押す。

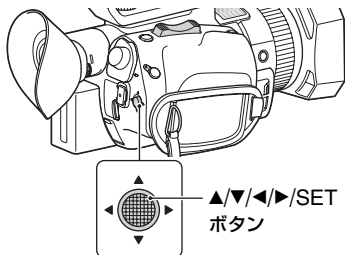
ご注意

● AUTO/MANUAL スイッチ  を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

ダイレクトメニューを使う

▲/▼/◀/▶/SETボタンの操作で、撮影時の設定を直接変更することができます。設定できる項目は以下のとおりです。

- フォーカス値(36ページ)
- AEシフトのレベル値(111ページ)
- アイリス値(44ページ)
- ISO感度/ゲイン値(45ページ)
- シャッタースピード値(45ページ)
- ホワイトバランス値(47ページ)

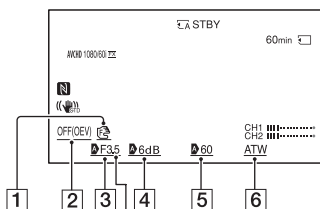


この機能は、ASSIGNボタンに割り当てることで使用できるようになります。ASSIGNボタンへの機能割り当ての操作については「ASSIGNボタンに機能を割り当てる」(64ページ)をご覧ください。

1 ダイレクトメニューを割り当てたASSIGNボタンを押す。

ダイレクトメニューモードに入り、液晶モニター下部の項目にカーソル(下線)が表示されます。

- オレンジ色のカーソルは選択されている項目
 - 白いカーソルは選択できる項目
- 例として、次図では[3]のアイリス値が選択されています。



オレンジ色のカーソル

- 1 フォーカス値
- 2 AEシフトのレベル値
- 3 アイリス値
- 4 ISO感度/ゲイン値
- 5 シャッタースピード値
- 6 ホワイトバランス値

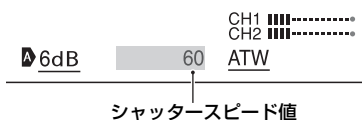
2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを左右に動かしてオレンジ色のカーソルを設定対象の項目に移動する。

3 設定対象の項目にA(自動)が設定されているときは、▲/▼/◀/▶/SETボタンを上下に動かしてAを消す。

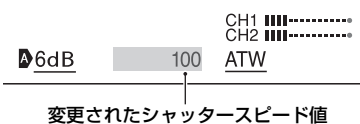
4 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

設定値が白黒の反転表示になり、数値の変更ができる状態になります。

以下の例では、シャッタースピードの値を変更します。



- 5** ▲/▼/◀/▶/SETボタンを上下に動かして、希望の数値を表示させる。



- 6** 続けて他の項目を設定するには、▲/▼/◀/▶/SETボタンでオレンジカーソルを移動させて手順3~5を繰り返す。

- 7** 希望の数値をすべて表示させたら▲/▼/◀/▶/SETボタンを押す。
設定値が変更され、ダイレクトメニューモードを抜けません。

📌ご注意

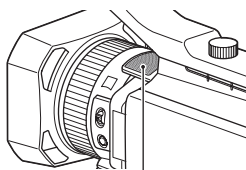
- 以下の機能(操作ボタン/ASSIGNボタンによる操作を含む)を使用中、ダイレクトメニューは使用できません。
 - メニュー表示中
 - 再生モード中
 - スロー&クイックモーション(S&Q MOTION)
 - スーパースローモーション(SUPER SLOW MOTION)
 - 拡大フォーカス(FOCUS MAGNIFIER)
 - スポット測光フォーカス(SPOT METER/ FOCUS)
 - スポット測光(SPOT METER)
 - スポットフォーカス(SPOT FOCUS)
 - フォーカスエリア設定
 - 音量調節(VOLUME)
 - スマートフォン操作(CTRL W/ SMARTPHONE)
 - ラストシーンレビュー(LAST SCENE REVIEW)

- ストリーミング(STREAMING)
 - RTMP/RTMPS
 - USTREAM
 - ネットワーククライアントモード(NETWORK CLIENT MODE)
 - ワイヤレス TC LINK(WIRELESS TC LINK)
- ダイレクトメニューの表示中に設定項目(アイリス値やフォーカス値など)がボタンやスイッチで変更された場合、ダイレクトメニューが終了することがあります。

音の設定をする

内蔵マイクで収録する

本体内蔵マイクを用いて、ステレオ音声を収録できます。



内蔵マイク

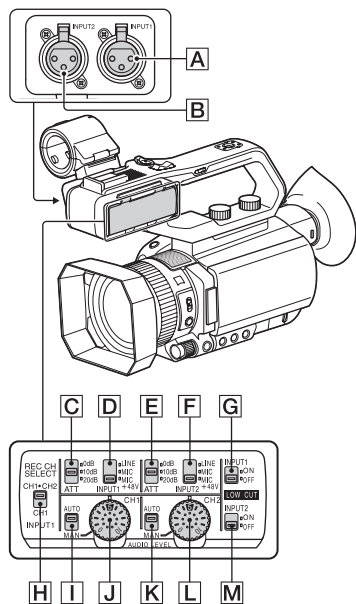
[MIC SELECT]メニューで、[INT MIC]に設定する。

💡ちよつと一言

- 風切り音を低減するには、[INT MIC WIND]を[ON]にしてください。

外部音声機器などで収録する

下図の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。マイクの接続については10ページをご覧ください。



外部音声の入力

- A** : INPUT1端子
- B** : INPUT2端子

音源の選択

- D** : INPUT1(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ
- F** : INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ

音源レベルの選択

- C** : ATT(INPUT1)スイッチ
- E** : ATT(INPUT2)スイッチ

録音するチャンネルの選択

- H** : REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ

音の設定をする(つづき)

録音レベルの選択

- I** : AUTO/MAN(CH1)スイッチ
- J** : AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル
- K** : AUTO/MAN(CH2)スイッチ
- L** : AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル

風音低減の入切

- G** : LOW CUT(INPUT1)スイッチ
- M** : LOW CUT(INPUT2)スイッチ

XLRタイプコネクタ付きマイクや外部音声機器(ミキサーなど)を使うには、XLRハンドルユニットを取り付け、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

- INPUT1端子**A**/INPUT2端子**B**に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(**D**または**F**)を設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

⚠ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になりますので、接続する前にご確認ください。
- 接続しない端子のノイズが気になるときは、INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(**D**または**F**)を「LINE」にしてください。

2 マイクの入力レベルを設定する。

INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(**D**または**F**)が

「MIC」か「MIC+48V」のときは、ATT(INPUT1/INPUT2)スイッチ(**C**)または**E**で入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。

ATT 0dB: -60dBu

ATT 10dB: -50dBu

ATT 20dB: -40dBu

⚠ご注意

- INPUT1/INPUT2(LINE/MIC/MIC+48V)スイッチ(**D**または**F**)が「LINE」のときは、入力レベルは+4dBuに固定されます。ATTスイッチを切り換えても入力レベルは変わりません。

3 録音するチャンネルを設定する

REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ**H**で、録音するチャンネルを選びます。

REC CH SELECT (INPUT1) スイッチの位置	CH1、CH2に録音される音声
CH1・CH2	INPUT1 → CH1 └─→ CH2
CH1	INPUT1 → CH1
CH2	INPUT2 → CH2

🗨ちよっと一言

- XLR(3PIN)プラグが2個ついているステレオマイクを使うにはINPUT1端子**A**にLch、INPUT2端子**B**にRchを接続し、REC CH SELECT(INPUT1)スイッチ**H**をCH1に設定します。

マルチインターフェースシュー 対応マイク(別売)で収録する

マルチインターフェースシュー対応マイクで音声を収録できます。

1 マルチインターフェースシュー対応マイク(別売)をマルチインターフェースシュー端子につなぐ。

2 [MIC SELECT]メニューで、[MISHOE MIC]に設定する。

外部マイク(別売)で収録する

外部マイク(別売)で、ステレオ音声を収録できます。

1 外部マイク(別売)をMIC端子(PLUG IN POWER)に接続する。

2 [MIC SELECT]メニューで、[STEREO MINI MIC]に設定する。

INPUT1端子/INPUT2端子から 入力した音声の録音レベルを 調節する

INPUT1端子/INPUT2端子から入力した音声の録音レベルを調節できます。

1 調節するチャンネル(CH1またはCH2)のAUTO/MANスイッチを「MAN」にする。

2 AUDIO LEVELダイヤルを回して、録音レベルを調節する。

適正なレベルになっているか、ヘッドホンやオーディオレベルメーターで確認してください。

自動調整に戻すには

- INPUT1端子/INPUT2端子から入力される音声については、AUTO/MANスイッチを「AUTO」にする。

内蔵マイクや別売の外部マイク に入力した音声の録音レベルを 調節する

内蔵マイクや外部マイク(別売)に対して、CH1/CH2のチャンネルを連動して、設定できます。

1 [AUDIO REC LEVEL]の[REC LEVEL MODE]メニューで、[MANUAL]に設定する。

2 撮影中またはスタンバイ中に、[AUDIO REC LEVEL]の[MANUAL REC LEVEL]メニューで、マイク音量を調節する。

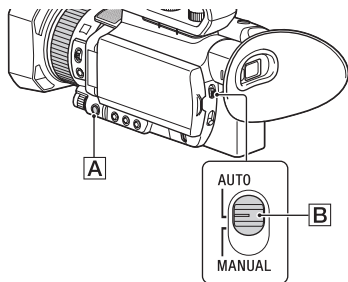
自動調整に戻すには

- [AUDIO REC LEVEL]の[REC LEVEL MODE]メニューで、[NORMAL]または[HIGH]に設定する。

便利な機能を使う

状況に合わせて撮る(オートモード設定)

撮影するシーンに合わせて最適な設定で撮影できます。



1 AUTO/MANUALスイッチ[B]を「AUTO」にする。

2 MENUボタン[A]を押す。

3 (CAMERA SET)メニュー → [AUTO MODE SET]を選ぶ。

4 [AUTO]、[INTELLIGENT AUTO]、[SCENE SELECTION] のいずれかを選び、押して決定する。

📢注意

- 記録方式がXAVC QFHDの場合は、[AUTO]に固定されます。
- [INTELLIGENT AUTO]を選択しているときは、 STEADYSHOTが[ACTIVE]に設定されるため、画角が1.08倍テレシフトします。

[INTELLIGENT AUTO]で認識されるシーン

顔: (人物)、 (赤ちゃん)

シーン: (逆光)、 (風景)、 (夜景)、 (スポットライト)、 (低照度)、 (マクロ)

手ブレ: (歩き)、 (三脚)

[SCENE SELECTION]を設定するには

- (CAMERA SET)メニュー → [SCENE SELECTION SET]を選ぶ。
- 希望の設定を選ぶ。

設定値	撮影状況
夜景 ([NIGHT SCENE])	三脚(別売)を使用して、夜景に最適な露出で撮影できる。
日の出&夕焼け ([SUNRISE& SUNSET])	朝焼けや夕焼けの風景を色鮮やかに撮影する。
打ち上げ花火 ([FIREWORK S])	打ち上げ花火に最適な露出で撮影する。
風景 ([LANDSCAPE])	遠景ではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。
ポートレート ([PORTRAIT])	背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。
スポットライト ([SPOTLIGHT])	スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。
ビーチ ([BEACH])	海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

📢注意

- [SCENE SELECTION SET]を設定すると、以下の設定は解除されます。
 - ホワイトバランス
 - アイリス

- シャッタースピード
- ISO感度/ゲイン

- [SCENE SELECTION SET]を設定すると、フォーカスエリアは「WIDE」に固定されます。

薄暗い場所で撮る (LOW LUX)

街灯の少ない屋外、薄暗い屋内などの低照度の場所でも、ゲインとシャッタースピードを自動的に最適化することにより、鮮やかな映像を撮影することができます。


④ご注意

AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」および[AUTO MODE SET]が「AUTO」のときのみ使用可能です。

1 AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にする。

2 MENUボタンを押す。

3 (CAMERA SET)メニュー → [LOW LUX] → [ON]を選ぶ。


- が表示されます。
- 解除するには、[LOW LUX]を[OFF]にします。

暗い場所で撮る (NIGHTSHOT)

赤外線ライトを点灯することで、真っ暗な場所でも撮影することができます。[NIGHTSHOT LIGHT]が「OFF」のときは、赤外線ライトは点灯しません。

1 MENUボタンを押す。

2 (CAMERA SET)メニュー → [NIGHTSHOT] → [ON]を選ぶ。

- が表示されます。
- 解除するには、[NIGHTSHOT]を[OFF]にします。
- ④ご注意
- AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」のときのみ使用可能です。
- NIGHTSHOTは赤外線を利用するため、ナイトショットライトを指などで覆わないでください。
- レンズフードは取り外してください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)

[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できません。

ASSIGN3/PICTURE PROFILEボタンを押すと、ピクチャープロファイルの選択画面が表示されます。

使用するピクチャープロファイルの番号を選ぶと、選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できるようになります(137ページ)。

ピクチャープロファイルの設定値は任意に変更できます。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP10]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

お買い上げ時の設定は[PP4]になっています。

便利な機能を使う(つづき)

ピクチャープロファイル番号	設定例
PP1	[STANDARD]ガンマを用いた設定例
PP2	[STILL]ガンマを用いた設定例
PP3	[ITU709]ガンマを用いた自然な色合いの設定例
PP4	[ITU709]規格に忠実な色合いの設定例
PP5	一般的な映画用カラーネガフィルムによる撮影画のような設定例
PP6	一般的な映画用カラープリントフィルムで上映したような設定例
PP7	[S-LOG2]ガンマと[S-GAMUT]カラーモードで撮影するときの設定例
PP8	[S-LOG3]ガンマと[S-GAMUT3.CINE]カラーモードで撮影するときの設定例
PP9	[S-LOG3]ガンマと[S-GAMUT3]カラーモードで撮影するときの設定例
PP10	[HLG2]ガンマと[BT.2020]カラーモードで撮影するときの設定例

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP10]の設定内容を変更できます。

- ① ASSIGN3/PICTURE PROFILE ボタンを押す。
- ② 設定を変更するピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- ③ [SETTING]を選ぶ。
- ④ 調節したい項目を選ぶ。
- ⑤ 画質を調節する。

- ⑥ 手順 ④、⑤ を繰り返して他の項目を調節する。
- ⑦ [↩ RETURN]→[OK]を選ぶ。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーする

ピクチャープロファイルをコピーしてから設定を変更することができます。同じような設定を登録するときに便利です。

- ① ASSIGN3/PICTURE PROFILE ボタンを押す。
- ② コピー元のピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- ③ [SETTING]→[COPY]を選ぶ。
- ④ コピー先のピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- ⑤ [YES]→[↩ RETURN]→[OK]を選ぶ。

ピクチャープロファイルをリセットする

設定を変更したピクチャープロファイルを番号ごとにリセットできます。すべての設定を一度にリセットすることはできません。

- ① ASSIGN3/PICTURE PROFILE ボタンを押す。
- ② お買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- ③ [SETTING]→[RESET]→[YES]→[↩ RETURN]→[OK]を選ぶ。

🗨️ちょっと一言

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

ハイダイナミックレンジ(HDR)で撮る


HDR対応のピクチャープロファイルを適用することにより、従来より広いレンジの明るさが再現可能です。本機ではHybrid

Log-Gamma(HLG)方式に対応しており、4種類のガンマ設定が選択できます。[HLG]はITU-R BT.2100相当の設定です。[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]は、従来のカメラの映像表現と違和感がなく、より広いダイナミックレンジを活かした表現を可能にします。

HDR対応のピクチャープロフィールで撮影する

HDR撮影用の設定例として、[PP10]にHDRの設定値があらかじめ登録されています。

[PP1]～[PP9]でも、[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]を設定することができます。

- MENU ボタンを押し、 (CAMERA SET)メニュー→[PICTURE PROFILE]→[PP10]を選ぶ。

ピクチャープロフィール番号	設定例
PP10	HDR撮影用の設定例

- 必要に応じて、ピクチャープロフィールの項目を調整する。
- START/STOP ボタン(またはハンドル録画ボタン)を押す。
HDR で撮影された動画がメモリーカードに記録されます。

ご注意

- XAVC記録の場合
本機でHDR映像をXAVCフォーマットで記録すると、HDRの再生や表示に必要な色域、ガンマなどのメタデータ(付加情報)が映像ファイルに記録されます。
再生や表示に使用する機器がこれらのメタデータに対応している場合は、自動的に適切な設定で表示されますが、対応していない場合は手動での設定などが必要になります。
- AVCHD記録/MPEG HD記録の場合
本機のAVCHD記録、MPEG HD記録はHDRメタデータに対応していません。HDRを適切

に再生、表示するためには、手動で設定する必要があります。

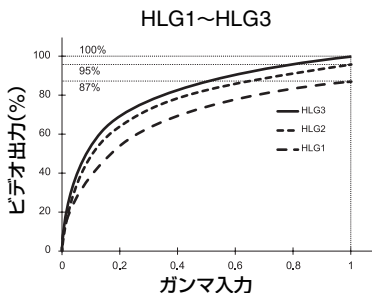
ピクチャープロフィールのHDR関連項目

[GAMMA]の設定項目

(太字は初期設定)

設定項目	調整する内容
[HLG]	ITU-R BT.2100相当の設定
[HLG1]	[HLG2]よりもノイズを抑えたい場合の設定。ただし、撮影できるダイナミックレンジは狭くなる。
[HLG2]	ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。
[HLG3]	[HLG2]よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がる。

[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]は同じ特性のガンマカーブで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したものです。



ご注意

- [HLG1]、[HLG2]、[HLG3]のガンマを選択時にはビデオ出力の最大値が異なり、[HLG1]:87%、[HLG2]:95%、[HLG3]:100%程度になります。本番撮影での失敗を防ぐため、事前にテスト撮影を行うことをおすすめします。

便利な機能を使う(つづき)

- [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]のいずれかに設定すると、下記のような制約があります。
 - [KNEE]の[MODE]をAUTOにしていると、[KNEE]の設定は無効になります。
 - [COLOR MODE]で選べるのは[BT.2020]または[709]のみになります。
 - [BLACK GAMMA]の設定は無効になりません。
 - [AUTO BACK LIGHT]は使用できません。

[COLOR MODE]の設定項目

(太字は初期設定)


設定項目	調整する内容
[BT.2020]	[GAMMA]で[HLG][HLG1][HLG2][HLG3]を選択したときの標準的な色合い
[709]	[GAMMA]で[HLG][HLG1][HLG2][HLG3]を選択して、HDTV形式(BT.709)の色で記録する場合の色合い

📌 ご注意

[BT.2020]選択時、カラーバーは正しく出力されません。

ガンマ表示アシスト機能を使う

本機のファインダーと液晶モニターはHDR対応ではないため、HDRとしての適切な表示にはなりません。これに対し、ガンマ表示アシスト機能を使用すると、撮影しやすさを考慮した表示にすることができます。ガンマ表示アシスト機能が適用されるのは、ファインダーや液晶モニターに表示されるモニタリング画像または再生画像のみで、記録画像や出力画像には適用されません。

- ① MENU ボタンを押し、 (DISPLAY SET)メニュー→[GAMMA DISP ASSIST]→[ON/OFF]→[ON]を選ぶ。

- ② [GAMMA DISP ASSIST]→[TYPE]を選ぶ。
- ③ 以下のいずれかを選ぶ。

(太字は初期設定)




設定項目	調整する内容
[AUTO]	撮影画面:ピクチャープロファイルでの設定に応じて補正を自動で切り換える。 再生画面:AVCHD/MPEG HDおよびXAVCのHLG以外のファイルでは、そのときのピクチャープロファイルでの設定に応じて補正を自動で切り換える。XAVCのHLGファイルでは、再生画像のガンマやカラーモードに応じて補正を自動で切り換える。 サムネイル画面:直前の設定(撮影/再生)を維持する。
S-LOG2→	S-LOG2をITU-709(800%)相当に変換して表示する。
S-LOG3→	S-LOG3をITU-709(800%)相当に変換して表示する。
[HLG (BT.2020)]	[GAMMA]がHLGかつ[COLOR MODE]が[BT.2020]の場合に適した補正を行う。
[HLG (709)]	[GAMMA]がHLGかつ[COLOR MODE]が[709]の場合に適した補正を行う。

🗨️ ちよつと一言

- 本機をバッテリー駆動で使用時、LCDの明るさを変えることで、HDRの画像がより確認しやすくなります。DISPLAY SETメニューで[LCD BRIGHT]→[BRIGHT]を選びます。

アイコンについて

ガンマ表示アシスト機能をONにすると、撮影画面と再生画面に下図のようなアイコンが表示されます。

アイコン	意味
	[S-LOG2→709(800%)] 適用時
	[S-LOG3→709(800%)] 適用時
	[HLG (BT.2020)] 適用時
	[HLG (709)] 適用時

撮影したHDR映像を本機で再生する

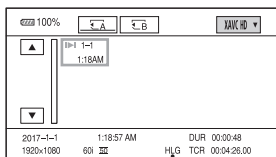
HDRで撮影した映像を本機で再生することができます。

XAVC QFHDまたはXAVC HDで記録されたファイルは、サムネイル画面と再生画面に「HLG」のアイコンが表示されます。(下図参照)

●ご注意

- AVCHDまたはMPEG HDでHDR記録したファイルの再生時は、「HLG」のアイコンは表示されません。
- HDMIまたはSDIでテレビ(またはHDR(HLG)対応モニター)と接続する場合は、適切に表示するためにテレビの画質設定を手動で変更する必要があります。
テレビの画質設定を、ガンマはHLGに対応する設定にし、カラーモードはBT.2020、709に対応する設定にしてください。

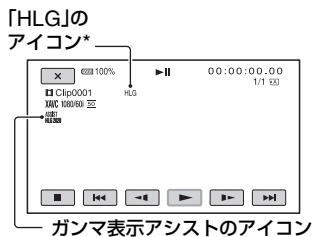
サムネイル画面



「HLG」のアイコン*

* XAVCで記録されたファイルのみ

再生画面



* XAVCで記録されたファイルのみ

XAVC以外のフォーマットでHDR記録されたファイルの制約

XAVC QFHDまたはXAVC HD以外で記録されたファイルの場合、以下のような制約があります。

- HLGで記録したことがメタデータに残らない。
- サムネイル画面や再生画面でHLGアイコンが表示されない。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコードを設定する

- ① MENU ボタンを押し、**00:00** (TC/UB SET)メニュー → [TC PRESET]を選ぶ。
- ② [PRESET]を選ぶ。
- ③ 最初の2桁の数値を選ぶ。タイムコードは以下の範囲で設定します。
[60i のとき]
00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
 - 24p設定時は、末尾2桁を0~23のうち0.4の倍数のフレームで設定できます。

便利な機能を使う(つづき)

[50iのとき]

00:00:00:00~23:59:59:24

- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ [OK]を選ぶ。

タイムコードをリセットするには

「タイムコードを設定する」の手順②で [RESET] を選び、タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットするには

リモコンのTC RESETボタンを押しても、タイムコードをリセット(00:00:00:00)できます。

ユーザービットを設定する

- ① MENU ボタンを押し、**00:00** (TC/UB SET)メニュー → [UB PRESET]を選ぶ。
- ② [PRESET]を選ぶ。
- ③ 最初の2桁の数値を選ぶ。
- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ [OK]を選ぶ。

ユーザービットをリセットするには

「ユーザービットを設定する」の手順②で [RESET] を選び、ユーザービットをリセット(00 00 00 00)します。

スロー&クイックモーションで撮影する

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常の数値で撮影した映像を低速再生、高速再生する場合よりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます。

撮影前の設定

録画フォーマットとフレームレートを設定します。組み合わせによって、再生速度が決まります。

- ① MENU ボタンを押し、**CAMERA** (CAMERA SET)メニュー → [SLOW & QUICK] → [S&Q MOTION] → [REC FORMAT]を選ぶ。
- ② 録画フォーマットを設定する。
- ③ [FRAME RATE]を選ぶ。
- ④ フレームレートを設定する。

スロー&クイックモーション撮影の操作

- ① ASSIGN1/S&Q ボタンをくり返し押しして画面に[S&Q MOTION]を表示させる。
- ② START/STOP ボタンを押す。スロー&クイックモーションでの記録が始まります。
- ③ 停止するには、再度START/STOP ボタンを押す。

👉ちょっと一言

- MENUボタンを押し、**CAMERA** (CAMERA SET)メニュー → [SLOW & QUICK] → [S&Q MOTION] → [EXECUTE]を選んでスロー&クイックモーション撮影モードにすることもできます。

フレームレートの設定を変更するには

ASSIGN1/S&Qボタンを約1秒間長押しして、設定値を変更する。

▲/▼/◀/▶/SETボタンを押すか、ASSIGN1/S&Qボタンをもう一度約1秒間長押しすると、元に戻ります。

解除するには

スタンバイ中に、ASSIGN1/S&QボタンまたはMENUボタンを押す。

ⓘ ご注意


- 使用可能なメモリーカードは、記録方式によって異なります(27ページ)。
- クイックモーション撮影の場合、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります(最大30秒程度)。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に変わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止したあとも撮影時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- スロー&クイックモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- タイムコードは[REC RUN]で記録されます(131ページ)。
- 本機の電源を切った場合、スロー&クイックモーションモードは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- スロー&クイックモーション撮影中は、音声の記録はできません。
- メモリーカードAとメモリーカードBへの同時記録はできません。
- スロー&クイックモーションの連続撮影可能時間には、通常撮影と同様に上限があります。また、連続撮影可能時間は、フレームレートの設定により異なります。
- スロー&クイックモーションの制約については「スロー&クイックモーションおよびスーパースローモーション撮影時の制約」(164ページ)をご覧ください。

HFR(ハイフレームレート)でスローモーション撮影する

記録方式がXAVC HDのとき、ハイフレームレートでの撮影が可能です。

撮影前の設定

再生速度は録画フォーマットによって決まります。

- ① MENU ボタンを押し、 (CAMERA SET)メニュー → [SLOW & QUICK] → [S&Q MOTION] → [HIGH FRAME RATE] → [ON]を選ぶ。
- ② [REC FORMAT]を選ぶ。
- ③ 録画フォーマットを設定する。
この状態でスロー&クイックモーション撮影を開始すると、ハイフレームレートで記録されます。

フレームレートは下記に固定されます。

[60i]選択時: 120

[50i]選択時: 100

撮影のしかたについては、「スロー&クイックモーション撮影の操作」(60ページ)をご覧ください。

ⓘ ご注意

- START/STOPを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- タイムコードは[REC RUN]で記録されます。

🗣️ ちょっと一言

- [HIGH FRAME RATE]のON/OFFは、ASSIGN1/S&Qボタンで切り換えることはできません。


スーパースローモーションで撮影する

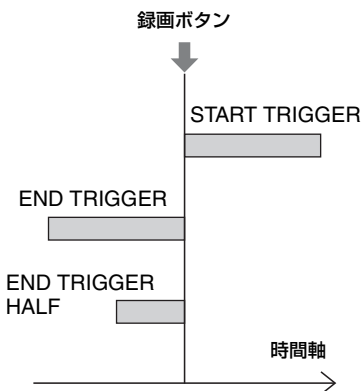
再生フレームレートよりはるかに高いフレームレートで撮影することによって、通常の速度で撮影した映像を低速再生するよりも、滑らかなスーパースローモーション映像が得られます。

撮影前の設定

録画フォーマットとフレームレートを設定します。組み合わせによって、再生速度が決まります。また、録画するタイミングを設定します。

便利な機能を使う(つづき)


- ① MENU ボタンを押し、 (CAMERA SET)メニュー → [SLOW & QUICK] → [SUPER SLOW MOTION]を選ぶ。
- ② [REC FORMAT]を選び、録画フォーマットを選ぶ。
- ③ [FRAME RATE]を選び、フレームレートを選ぶ。
- ④ [REC TIMING]を選び、録画するタイミングを選ぶ。



スーパースローモーション撮影の操作

- ① ASSIGN1/S&Qボタンをくり返し押しして画面に[SUPER SLOW MOTION]を表示させる。
- ② START/STOP ボタンを押す。
スーパースローモーションでの記録が始まります。









👁️ちょっと一言

- MENUボタンを押し、 (CAMERA SET)メニュー → [SLOW & QUICK] → [SUPER SLOW MOTION] → [EXECUTE]を選んでスーパースローモーション撮影モードにすることもできます。

録画時間を手動で決めたいときは

[REC TIMING]を[START TRIGGER]にしているときは、撮影中に再度START/

STOPボタンを押すと、撮影が停止します。

フレームレートの設定を変更するにはASSIGN1/S&Qボタンを約1秒間長押しして、/SETボタンで設定値を変更し、/SETボタンを押して決定します。

撮影に失敗したときは

記録中の画面で[Cancel]を選んで記録を中止する。

録画は中止され、撮影内容は保存されません。撮影をすぐにやり直したいときに便利です。

解除するには

スタンバイ中に、ASSIGN1/S&QボタンまたはMENUボタンを押す。

[REC TIMING]と[FRAME RATE]の設定による記録時間の目安

録画タイミングとフレームレートの設定によって、記録できる時間が異なります。設定ごとの記録時間の目安は以下の通りです。

[60i]選択時

FRAME RATE	REC TIMING		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
960	約3秒	約3秒	約1秒
480	約4秒	約4秒	約2秒
240	約5秒	約5秒	約2秒

[50i] 選択時

FRAME RATE	REC TIMING		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
1000	約3秒	約3秒	約1秒
500	約4秒	約4秒	約2秒
250	約5秒	約5秒	約2秒

ⓘ ご注意

- 使用可能なメモリーカードは、記録方式によって異なります(27ページ)。
- スーパースローモーション撮影の場合、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります(最大3分程度)。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り換わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止したあとも撮影時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。
- [SHUTTER DISPLAY]を[DEGREE]に設定すると、スーパースローモーション撮影時に正しく表示されないことがあります(128ページ)。
- AUTO/MANUALスイッチが[MANUAL]のときのみ行えます。また、アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードが手動に固定されます。
- [FRAME RATE]で[960]([1000])を選んだ場合、表示、記録される映像が約1.35倍テレシフトします。
- [FRAME RATE]で[480]、[960]([500]、[1000])を選んだ場合、通常撮影時より画質は劣化します。
- ISO感度/ゲインやシャッタースピードの操作をしたり、ホワイトバランスを変更したりすると、液晶モニター上の映像は変化しますが、記録した映像には撮影終了時点のカメラ設定が反映されます。カメラデータの表示については、67ページをご覧ください。
- フレームレートの設定を変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- タイムコードは[REC RUN]で記録されます(131ページ)。

- 本機の電源を切った場合、スーパースローモーションは自動的に解除されます。ただし[FRAME RATE]の設定値は保持されます。
- フリッカー補正は効きません。
- 音声は記録できません。
- オートフォーカス機能は使えません。
- シャッタースピードはフレームレートより低速の値は選べません。
- 記録方式がXAVC QFHDのとき、スーパースローモーション撮影できません。
- スーパースローモーションの制約については「スロー&クイックモーションおよびスーパースローモーション撮影時の制約」(164ページ)をご覧ください。

最後に撮影した映像を再生する
(ラストシーンレビュー)

直前に記録したシーンを画面で確認できます。

この機能は、ASSIGNボタンに割り当てることで使用できるようになります。ASSIGNボタンへの機能割り当ての操作については「ASSIGNボタンに機能を割り当てる」(64ページ)をご覧ください。

録画を停止したら、[LAST SCENE REVIEW]を割り当てたASSIGNボタンを押す。

最後のシーンの先頭から再生が始まります。終わりまで再生すると終了し、スタンバイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中に[LAST SCENE REVIEW]を割り当てたASSIGNボタンを押すと中断し、スタンバイに戻ります。


ⓘ ご注意

- 録画後に編集やメディアの抜き差しなどの操作を行った場合、ラストシーンレビューが正しく実行できない場合があります。

ASSIGN ボタンに機能を割り当てる

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。

ASSIGN1~6ボタンに1つずつ割り当てられます。

機能の割り当ては、 (OTHERS)メニューの[ASSIGN BUTTON]で行います。

各機能については、「メニュー一覧」(108ページ)をご覧ください。

お買い上げ時に割り当てられている機能

- ASSIGN1: S&Q MOTION(60ページ)
- ASSIGN2: STATUS CHECK(68ページ)
- ASSIGN3: PICTURE PROFILE(55ページ)
- ASSIGN4: FOCUS MAGNIFIER(39ページ)
- ASSIGN5: IRIS PUSH AUTO(44ページ)
- ASSIGN6: —(機能なし)
- AUTO MODE SET(54ページ)
- SCENE SELECTION SET(54ページ)
- NIGHTSHOT(55ページ)
- IRIS PUSH AUTO(44ページ)
- SPOT METER/FOCUS(117ページ)
- SPOT METER(117ページ)
- SPOT FOCUS(117ページ)
- COLOR BAR(118ページ)
- DIRECT(49ページ)
- MENU(107ページ)
- PICTURE PROFILE(55ページ)
- VOLUME(124ページ)
- HISTOGRAM(126ページ)
- ZEBRA(126ページ)
- PEAKING(126ページ)
- PHASE AF FRAMES(127ページ)
- MARKER(127ページ)
- CAMERA DATA DISPLAY(128ページ)
- AUDIO LEVEL DISPLAY(128ページ)
- DATA CODE(67ページ)
- GAMMA DISP ASSIST(58ページ)
- TC/UB DISPLAY(130ページ)
- SMARTPHONE CONNECT(75ページ)
- STREAMING(84ページ)
- RTMP/RTMPS(87ページ)
- USTREAM(90ページ)
- STREAM OPERATION(85ページ)
- NETWORK CLIENT MODE(93ページ)
- WIRELESS TC LINK(96ページ)
- FTP TRANSFER(98ページ)
- STATUS CHECK(68ページ)
- REC LAMP(135ページ)
- THUMBNAIL(65ページ)

割り当てられる機能

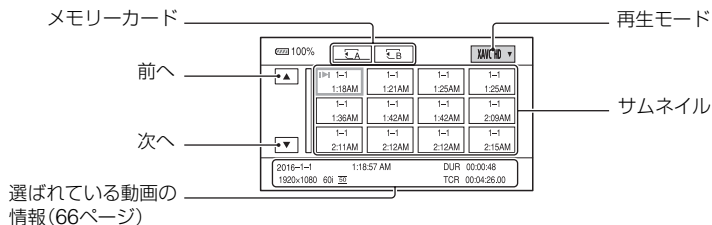
- (機能なし)
- LOW LUX(55ページ)
- FOCUS MAGNIFIER(39ページ)
- LAST SCENE REVIEW(63ページ)
- WHITE BALANCE(47ページ)
- WB PRESET(48ページ)
- WB SET(48ページ)
- AE SHIFT(111ページ)
- D. EXTENDER(111ページ)
- STEADYSHOT(111ページ)
- FOCUS AREA(112ページ)
- FOCUS POSITION(37ページ)
- AF DRIVE SPEED(37ページ)
- AF TRACKING DEPTH(38ページ)
- AF SUBJ. SWITCH. SENS.(38ページ)
- FACE DETECTION(40ページ)
- S&Q MOTION(60ページ)

本機で再生する

再生する

1 動画が記録されているメモリーカードを挿入し、THUMBNAILボタン(15ページ)を押す。

数秒後にTHUMBNAIL画面が表示されます。

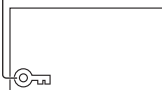


- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。
- サムネイルにアイコンが表示されている場合もあります。

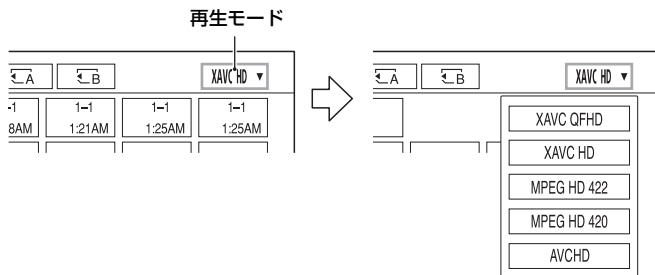
プロキシ記録 (43ページ)のアイコン



プロテクト (103ページ)のアイコン

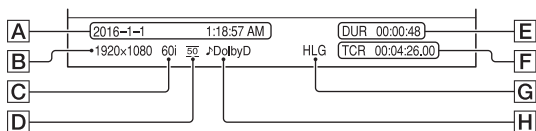


2 対象のメモリーカードと再生モードを選択後、再生する動画のサムネイルを2度タッチする。



- [MPEG HD 422]、[MPEG HD 420]は、「CBKZ-SLMP」(別売)をインストールした場合は表示されます(42ページ)。

本機で再生する(つづき)



A 撮影開始日時

B 動画の解像度

C フレームレート

D 録画モード

E 記録時間

F 記録開始タイムコード

タイムコードが記録されていないメモリーカードや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたメモリーカードを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

G HLG 記録

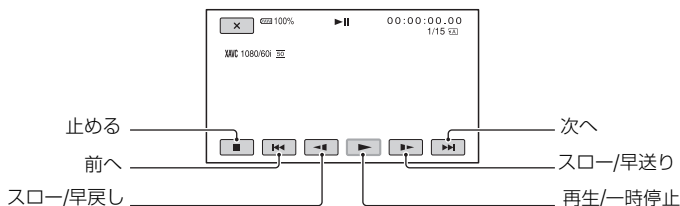
動画が HLG ガンマを使用して記録されている場合に表示されます。

H DOLBY DIGITAL 記録

音声ドルビーデジタル方式で記録されている場合に表示されます。

- 最後に再生・撮影した動画に▶が表示されます。選択すると前回の続きから再生されます。

再生が始まります。



🗨️ ちょつと言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、THUMBNAIL画面に戻ります。
- 一時停止中に◀️/▶️を選択すると、スロー再生が始まります。
- 再生中、⏮️/⏭️を選択する回数によって、より高倍速に再生されます。

音量を調節するには

MENUボタンを押して、🎵 (AUDIO SET) → [VOLUME]で調節する。

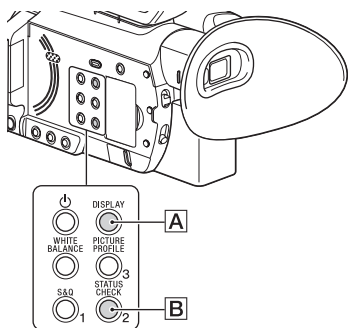
撮影モードに戻すには

THUMBNAILボタンを押す。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン[A]を押す。

押すたびに、非表示 ↔ 表示と切り換わります。撮影モードのときは、詳細表示 → 簡易表示 → 非表示の順に切り換わります。

💡ちょっと一言

- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(130ページ)。

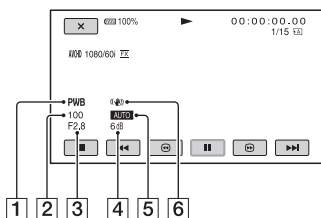
再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

1 再生中にMENUボタンを押す。

2 (DISPLAY SET)メニュー → [DATA CODE]を選ぶ。

3 表示したい情報を選ぶ。



- 1 ホワイトバランス
[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。
- 2 シャッタースピード
- 3 アイリス
- 4 ISO 感度 / ゲイン
- 5 明るさ調節
アイリス、ISO 感度 / ゲイン、シャッタースピードを自動調整で撮影すると **AUTO**、手動調節で撮影すると **MANUAL** と表示されます。
- 6 手ブレ補正

📌ご注意

- XAVC QFHD、XAVC HD、MPEG HD 422、MPEG HD 420はデータコードを表示できません。

本機の設定を変更/確認する(つづき)

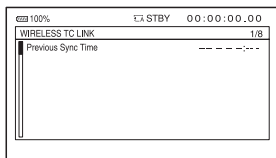
- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

本機の設定を確認する(ステータスチェック)

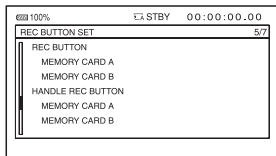
ASSIGN2/STATUS CHECKボタン[B]を押すと、以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- ワイヤレス TC LINK情報(96ページ)
- 音声に関する設定(124ページ)
- 出力に関する設定(121ページ)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(64ページ)
- カメラに関する設定(110ページ)
- 録画ボタン設定(33ページ)
- メモリーカード情報
- バッテリーインフォ

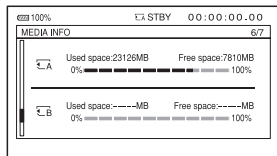
- ワイヤレス TC LINK
前回同期時刻を確認できます。



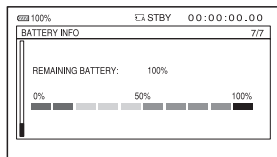
- 録画ボタン設定
録画ボタンの設定を確認できます。



- メモリーカード情報
使用領域と空き領域の目安を確認できます。

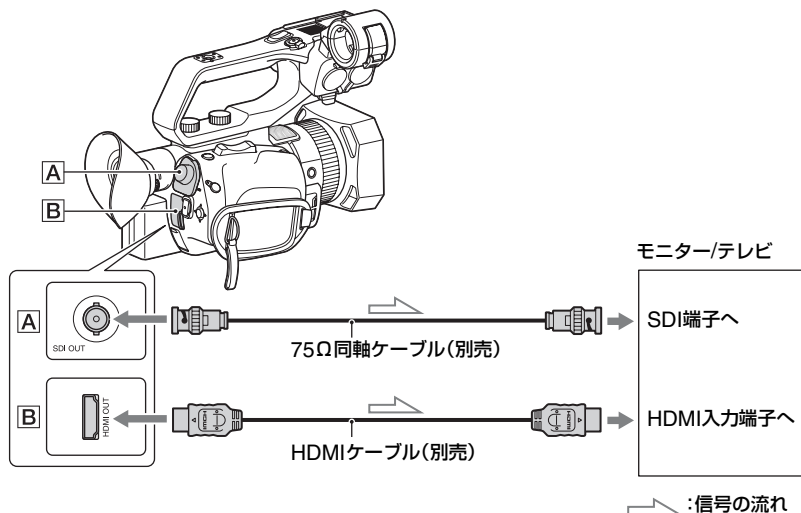


- バッテリーインフォ
装着しているバッテリー残量を確認できます。

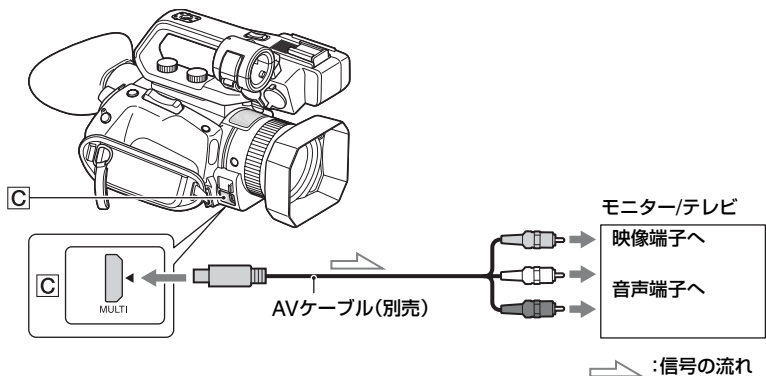


モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や、再生される画質が異なります。



再生する



ⓘ ご注意

- ビデオ信号は、上記の各端子から同時に出力できません。
- VIDEO OUTの出力解像度は60iのとき480i、50iのとき576iになります。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像をHDMI OUT端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

- [REC FORMAT]のフレームレートが24pまたは30p([60i]選択時)もしくは25p([50i]選択時)のときには、プルダウン方式でインターレース信号もしくはプログレッシブ信号のどちらかに変換して出力されます。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因になります。
- テレビやモニターに出力中、編集画面を表示するとメニューの一部が正しく表示できない場合があります。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。
- 本機と外部機器間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。(75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。)やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

外部出力用の端子を選ぶ

⇄ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [OUTPUT SELECT]
→ [OUTPUT SELECT] → 希望の出力先を選択する。

📌 ご注意

- 記録方式がAVCHD、MPEG HD、XAVC HDのときに[OUTPUT SELECT]を[SDI]に切り換えると、[NIGHTSHOT LIGHT]が[OFF]になります。「撮影する」(30ページ)に追加情報があります。あわせてご覧ください。

出力信号のフォーマットについて

SDI OUT、HDMI OUT、マルチ/マイクロUSBの各端子から出力される信号のフォーマットは、下表のとおりです。

SDI OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット（[60i]のとき）

XAVC QFHD

—：設定値に依存しない

メニューの設定項目				
録画フォーマット	SDI/HDMI	24p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p		
2160/24p	2160p/1080p/480i	24p	記録時：1080/ 24p* ² 再生時：1080/ 60p	2160/24p* ¹
		60p	1080/60p	
	2160p/720p/480i	—	720/60p	
	2160p/1080i/480i		1080/60i	
	1080p/480i	24p	記録時：1080/ 24p* ² 再生時：1080/ 60p	記録時：1080/ 24p* ² 再生時：1080/ 60p
		60p	1080/60p	1080/60p
	720p/480i	—	720/60p	720/60p
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i
	480p		出力なし	480/60p
	480i		480/60i	480/60i
2160/30p	2160p/1080p/480i	—	1080/60p	2160/30p
	2160p/720p/480i		720/60p	
	2160p/1080i/480i		1080/60i	
	1080p/480i		1080/60p	1080/60p
	720p/480i		720/60p	720/60p
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i
	480p		出力なし	480/60p
	480i		480/60i	480/60i

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

XAVC HD/MPEG HD 422/MPEG HD 420/AVCHD

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目				
録画フォーマット	SDI/HDMI	24p	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI	REC/OUT SET> VIDEO OUT> 24p		
1080/24p	2160p/1080p/480i	24p	記録時:1080/ 24p* ² 再生時:1080/ 60p	記録時:1080/ 24p* ² 再生時:1080/ 60p
		60p	1080/60p	1080/60p
	2160p/720p/480i	—	720/60p	720/60p
	2160p/1080i/480i		1080/60i	1080/60i
	1080p/480i	24p	記録時:1080/ 24p* ² 再生時:1080/ 60p	記録時:1080/ 24p* ² 再生時:1080/ 60p
		60p	1080/60p	1080/60p
	720p/480i	—	720/60p	720/60p
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i
	480p		出力なし	480/60p
	480i		480/60i	480/60i
1080/30p	2160p/1080p/480i	—	1080/60p	1080/60p
1080/60p	2160p/720p/480i		720/60p	720/60p
720/60p	2160p/1080i/480i		1080/60i	1080/60i
1080/60i	1080p/480i		1080/60p	1080/60p
1080/60i (1440)	720p/480i		720/60p	720/60p
	1080i/480i		1080/60i	1080/60i
	480p		出力なし	480/60p
	480i		480/60i	480/60i

*1 スロー&クイックモーション時は2160/30pで出力されます。

*2 スロー&クイックモーション時は1080p/60pで出力されます。

マルチ/マイクロUSB端子の出力フォーマット([60i]のとき)

常に480/60iで出力されます。

SDI OUT端子/HDMI OUT端子の出力フォーマット（[50i]のとき）

XAVC QFHD

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目			
録画フォーマット	SDI/HDMI	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI		
2160/25p	2160p/1080p/576i	1080/50p	2160/25p
	2160p/720p/576i	720/50p	
	2160p/1080i/576i	1080/50i	
	1080p/576i	1080/50p	1080/50p
	720p/576i	720/50p	720/50p
	1080i/576i	1080/50i	1080/50i
	576p	出力なし	576/50p
	576i	576/50i	576/50i

XAVC HD/MPEG HD 422/MPEG HD 420/AVCHD

—:設定値に依存しない

メニューの設定項目			
録画フォーマット	SDI/HDMI	SDI OUTから出力される信号のフォーマット	HDMI OUTから出力される信号のフォーマット
REC/OUT SET> REC SET> REC FORMAT	REC/OUT SET> VIDEO OUT> SDI/HDMI		
1080/25p	2160p/1080p/576i	1080/50p	1080/50p
1080/50p	2160p/720p/576i	720/50p	720/50p
720/50p	2160p/1080i/576i	1080/50i	1080/50i
1080/50i	1080p/576i	1080/50p	1080/50p
1080/50i(1440)	720p/576i	720/50p	720/50p
	1080i/576i	1080/50i	1080/50i
	576p	出力なし	576/50p
	576i	576/50i	576/50i

マルチ/マイクロUSB端子の出力フォーマット（[50i]のとき）

常に576/50iで出力されます。

スロー&クイックモーション時の出力について

[60i]のときは、脚注*1～2以外は71、72ページと同じフォーマットで出力されます。

[50i]のときは、73ページと同じフォーマットで出力されます。

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

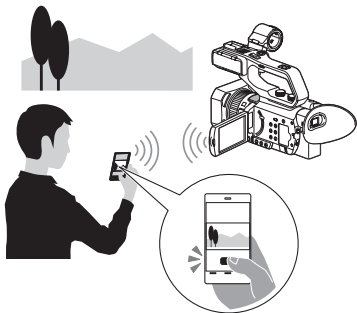
スーパースローモーション時の出力について

72、73ページのXAVC HD/MPEG HD 422/MPEG HD 420/AVCHDと同じフォーマットで出力されます。XAVC QFHDは、スーパースローモーションではサポートしていません。

ネットワーク機能を使う

スマートフォンと組み合わせて使う

本機のWi-Fi機能を使って、スマートフォンから本機を遠隔操作できます。



④ご注意

ワイヤレスLANモジュールが使用する周波数帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。使用環境によっては、他の機器の影響によって、通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

「Content Browser Mobile」をダウンロードする

スマートフォンを本機のリモコンとして使うには、「Content Browser Mobile」をお使いのスマートフォンにインストールしてください。インストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

Android OSの場合

Google playから、Content Browser Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチをご使用の場合は、Android 4.4以上が必要です。
- Google playは、国や地域によって対応していないことがあります。その場合、「Content

Browser Mobile」で検索してインストールしてください。

iOSの場合

App Storeから、Content Browser Mobileを検索してインストールしてください。



iOS 10以上が必要です。

- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。

④ご注意

- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

スマートフォンを本機のリモコンとして使う

本機の撮影機能の一部をスマートフォンで遠隔操作して、撮影ができます。

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [CTRL W/SMARTPHONE] を選ぶ。

3 接続可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンから本機に接続する。

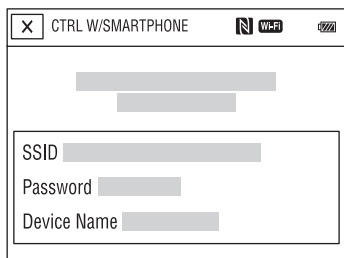
接続するための設定方法はスマートフォンによって異なります。

スマートフォンと組み合わせて使う(つづき)

NFC機能搭載Androidの場合: 76ページ

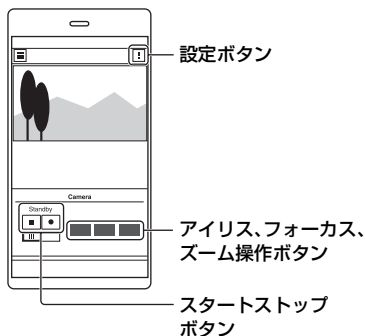
Androidの場合: 77ページ

iPhoneまたはiPadの場合: 77ページ



4 スマートフォンにインストールした「Content Browser Mobile」で本機を操作する。

「Content Browser Mobile」起動後の操作については、「Content Browser Mobile」のHelpをご覧ください。



ⓘ ご注意

- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- 撮影した動画はスマートフォンには保存できません。

- 使用上の制約については、「記録時の機能制限について」(163ページ)をご覧ください。

【CTRL W/SMARTPHONE】でできる機能

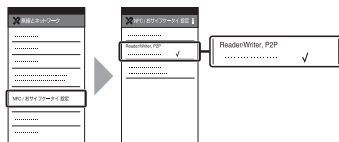
- 録画スタート/ストップ
- タッチフォーカス
 - フォーカスが手動のときに可能です。
- ズーム
- アイリスの調整

ⓘ ご注意

- タッチフォーカスを行っているときは、他の操作はできません。

NFC機能搭載のAndroidスマートフォンでワンタッチ接続する

1 スマートフォンの「設定」を起動して[その他の設定]を選び、[NFC/おサイフケータイ設定]の[NFC R/W P2P]または[Reader/Writer, P2P]にチェックを入れる。



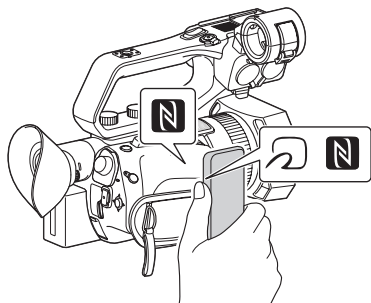
2 本機を撮影画面にする。

画面に **N** が表示されているときのみ NFC機能を使用できます。

3 本機とスマートフォンをタッチする。

スマートフォンが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。

本機は[CTRL W/SMARTPHONE]が起動します。



🗨️ちよつと一言

- 一部の🔄が付いているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- スマートフォンで「Content Browser Mobile」が起動するまで(1~2秒)動かさずにタッチし続けてください。
- [CTRL W/SMARTPHONE]を起動している間は、本機のSTART/STOPボタンまたはハンドル録画ボタン以外のボタン操作は無効です。
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは接続できません。[AIRPLANE MODE]を[OFF]にしてください(131ページ)。

NFCを使わずに接続する (Android)

- 1 スマートフォンの[設定]を起動し、[Wi-Fi]を選んで、本機に表示されているSSIDを選ぶ。
- 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。
- 3 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。

🗨️ちよつと一言

- 2回目以降は、接続メニューのデバイス一覧から接続機器を選んで、[接続]で接続できます。

- 4 ホームに戻り、「Content Browser Mobile」を起動する。

NFCを使わずに接続する (iPhoneまたはiPad)

- 1 iPhoneまたはiPadの[設定]を起動し、[Wi-Fi]を選んで、本機に表示されているSSIDを選ぶ。
- 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。

3 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。

4 ホームに戻り、「Content Browser Mobile」を起動する。

無線LANで本機をネットワークに接続します。


📌ご注意

- ワイヤレスLANモジュールが使用する周波数帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。使用環境によっては、他の機器の影響によって、通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。このような場合は、アクセスポイントのチャンネルや周波数帯の変更をお試しください。

アクセスポイントを選んで登録する

本機とアクセスポイントを無線LANで接続します。

1 MENUボタンを押す。


2  (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 登録したいアクセスポイントを選ぶ。

登録したいアクセスポイントが表示されない場合は、[Manual setting]を選んで手動で設定します(81ページ)。

4 パスワードを入力し、[Next]を選ぶ。

 が付いていないアクセスポイントは、パスワードの入力は不要です。

📌ご注意

- セキュリティーの観点から、前回入力したパスワードは表示されません。また、パスワード入

力中はアスタリスク(*)が表示されます。キーボードでの入力中にパスワードの表示・非表示を切り換えるには、DISPLAYボタンを押してください。

5 アクセスポイントの詳細を設定する。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。
[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

Priority Connection

優先的に接続するアクセスポイントを設定するかどうかを選びます。

WIRELESS TC LINK

ワイヤレス TC LINK機能(96ページ)で使用するアクセスポイントかどうかを選びます。

👉ちよつと言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

6 [Register]を選ぶ。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDと周波数帯も一緒に表示されます。

7 [OK]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

登録したアクセスポイントの右側に、以下のような登録済アイコンが表示されます。アイコンは手順5の設定によって異なります。

Priority Connection	WIRELESS TC LINK	登録済アイコン
On	On	
	Off	
Off	On	
	Off	

👉ちよつと言

- [Priority Connection]や[WIRELESS TC LINK]の設定は、1台だけしか登録できません。例えば、[WIRELESS TC LINK]が[On]で登録していたアクセスポイントがある場合に、新たに[WIRELESS TC LINK]を[On]にしたアクセスポイントを登録すると、先に設定していたアクセスポイントの[WIRELESS TC LINK]は[Off]となります。

8 [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

WPS機能を使ってアクセスポイントを登録する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で登録することができます。

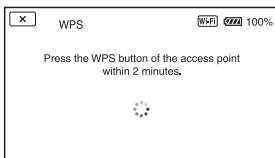
1 アクセスポイントの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [WPS]を選ぶ。

しばらくすると以下の画面が表示されます。



5 アクセスポイントのWPSボタンを2分以内に押す。

- WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDと周波数帯も一緒に表示されます。
- アクセスポイントに接続できない場合は、画面にメッセージが表示されます。[OK]を選んで、手順4の[WPS]を選択する操作からやり直してください。

6 を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

ご注意

- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。か、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。

- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかったり通信可能な距離が短くなったりすることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイントの距離を近づけてください。

WPS PIN方式を使ってアクセスポイントを登録する

アクセスポイントのPINコードを入力してアクセスポイントを登録します。

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 [Manual setting] → [WPS PIN]を選ぶ。

ちよっと一言

- 本機に登録済みのアクセスポイント数が10個ある場合、アクセスポイントを登録できないメッセージが表示されます。[Delete]を選んでから、表示される画面で不要なアクセスポイントを選んで削除してください。

4 2分以内に、本機の画面に表示されるPINコードを接続するアクセスポイントに入力する。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントの

SSIDと周波数帯も一緒に表示されます。

5 [OK] → [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

📌ご注意

- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。また、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかったり通信可能な距離が短くなったりすることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイントの距離を近づけてください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

3 [Manual setting] → [Manual regist.]を選ぶ。

📌ご注意

- 本機に登録済みのアクセスポイント数が10個ある場合は、アクセスポイントが登録できないメッセージが表示されます。[Delete]を選んでから、表示される画面で不要なアクセスポイントを選んで削除してください。

4 表示される画面でSSIDを入力し、[Next]を選ぶ。

5 セキュリティ方式を選ぶ。

[WEP]か[WPA]を選んだ場合は、表示される画面でパスワードを入力し、[Next]を選びます。

📌ご注意

- セキュリティの観点から、前回入力したパスワードは表示されません。また、パスワード入力中はアスタリスク(*)が表示されます。キーボードでの入力中にパスワードの表示・非表示を切り換えるには、DISPLAYボタンを押してください。

6 アクセスポイントの詳細設定をする。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。

[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

Priority Connection

優先的に接続するアクセスポイントを設定するかどうかを選びます。

WIRELESS TC LINK

ワイヤレス TC LINK機能(96ページ)で使用するアクセスポイントかどうかを選びます。

📌ちょっと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

7 [Register]を選ぶ。

- アクセスポイントへの接続を開始します。
- [Registered.]と表示されたら、アクセスポイントの登録は完了です。登録されたアクセスポイントのSSIDと周波数帯も一緒に表示されます。

8 [OK]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

登録したアクセスポイントの右側に、以下のような登録済アイコンが表示されます。アイコンは手順6の設定によって異なります。

Priority Connection	WIRELESS TC LINK	登録済アイコン
On	On	
	Off	
Off	On	
	Off	

💡ちよっと一言

- [Priority Connection]や[WIRELESS TC LINK]の設定は、1台だけしか登録できません。例えば、[WIRELESS TC LINK]が[On]で登録していたアクセスポイントがある場合に、新たに[WIRELESS TC LINK]を[On]にしたアクセスポイントを登録すると、先に設定していたアクセスポイントの[WIRELESS TC LINK]は[Off]となります。

9 [X]を選んでから、MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

機器名称を変更する

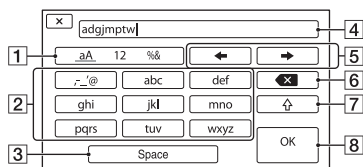
1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [Wi-Fi SET] → [EDIT DEVICE NAME]を選択する。

[Wi-Fi Direct]などの機器名称が表示されます。

変更する場合は、以下の方法でキーボードから入力します。

キーボードの使いかた




各部名称	機能
1 文字種切り換え	アルファベット/数字/記号を切り換える
2 キーボード	選択するたびに表示されている文字が順番に表示される
3 スペース	空白を空ける
4 入力ボックス	入力した文字が表示される
5 カーソル移動	入力ボックス内のカーソルを左右に移動する
6 削除	カーソルの直前の文字を削除する
7	アルファベットの大文字/小文字を切り換える
8 OK	入力内容を確定する

有線LANの設定をする

途中で入力をやめる場合は、**X**を押してください。

周波数帯域を選ぶ

1 MENUボタンを押す。

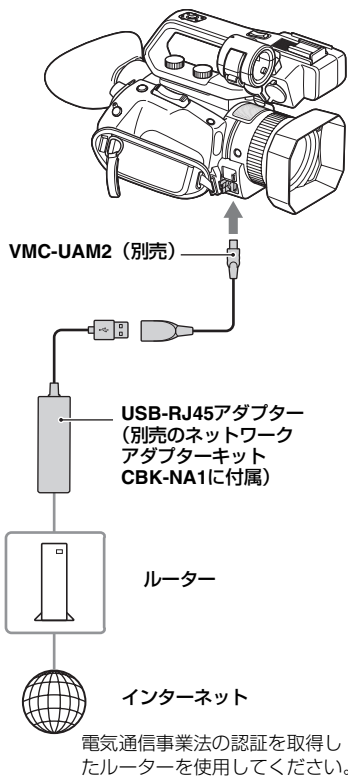
2  (NETWORK SET)メニュー
→ [Wi-Fi SET] →
[FREQUENCY SET]を選ぶ。

3 周波数帯域を選ぶ。

ⓘ ご注意

- [AUTO]を選んだ場合は、以下のように設定されます。
 - スマートフォンを本機のリモコンとして使うなど、本機をアクセスポイントとしてデバイスと無線LAN接続する場合(APモード)、2.4GHzに固定されます。
 - 本機をクライアントとしてアクセスポイントに無線LAN接続する場合(ステーションモード)、アクセスポイントに合わせて自動で設定されます。

有線LANで本機をネットワークに接続します。



ネットワーク機能を使う


ⓘ ご注意

- VMC-UAM2やUSB-RJ45アダプターを取り付けたり取り外したりするときは、本機の電源を切ってください。

1 VMC-UAM2(別売)を本機のマルチ/マイクロUSB端子に取り付ける。

2 USB-RJ45アダプター(別売)をVMC-UAM2に取り付け、LANケーブルと接続する。

3 MENUボタンを押す。

4  (NETWORK SET)メニュー → [WIRED LAN SET] → [IP ADDRESS SET]を選択する。

5 アクセスポイントの詳細を設定する。

IP address

IPアドレスの設定方法を選びます。
[Manual]を選んだ場合は、表示される画面でIP addressの設定項目を入力して[OK]を選びます。

ちよっと一言

- IP ADDRESS SET画面で[DNS server setting]を選ぶと、DNSサーバーを設定する画面に移動します。

ストリーミング (STREAMING)機能 を使う

本機をネットワークに接続し、撮影中のライブ映像を外部機器にストリーミング配信します。

ご注意

- 本機のストリーミング伝送は、MPEG2-TS/UDP方式です。ストリーミング伝送された映像と音声を視聴するには、この方式に対応した機器をご用意ください。詳しくは、その機器の取扱説明書をご覧ください。

ストリーミング対応フォーマット

記録されるオリジナルファイルの動画とストリーミング配信される映像のサイズには制約があります。

詳しくは、「ストリーミング/RTMP/RTMPS/ネットワーククライアントモード/USTREAM対応フォーマット」(165ページ)をご確認ください。

ストリーミングの設定をする(プリセット登録)

ストリーミングの設定をあらかじめPRESETに登録して、おこのみの設定でストリーミング配信します。
設定できる項目は以下のとおりです。

SIZE

ストリーミングの画像サイズを選ぶ。
- 1280×720
- 640×360

ちよっと一言

- より安定したストリーミング配信をするためには、「640×360」のサイズを選択してください。

DESTINATION SET

ストリーミングの配信先を設定する。

- Host Name**: 受信機のIPアドレス、またはホスト名
- Port**: 受信機のストリーミングに使用するポート番号

1 基本的なネットワークの設定をする(78,83ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 (NETWORK SET)メニュー → [STREAMING] → お好みのPRESET番号 → 設定項目を選ぶ。

4 設定値を選ぶ/設定する。

5 MENUボタンを押して撮影画面に戻る。

ストリーミング配信する

接続しているネットワークを使用して、撮影中の動画をストリーミング配信します。

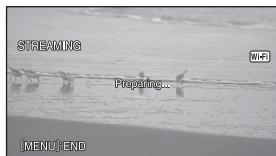
1 ネットワークとの接続設定が完了していることを確認する(78,83ページ)。

2 MENUボタンを押す。





3 (NETWORK SET)メニュー → [STREAMING] →


[EXECUTE] → ネットワーク接続方法を選ぶ。

- ネットワークへの接続を開始します。




- ネットワーク接続の状態は、以下のアイコンで表示されます。

アイコン	意味
	無線LAN接続前、切断時
	無線LAN接続中(アクセスポイントの周波数帯域により表示が異なります)
	
	有線LAN接続

- ストリーミングをキャンセルする場合は、MENUボタンまたは[STREAMING]を割り当てたASSIGNボタンを押すか、を選びます。
- 接続が完了すると、画面にが表示され、配信開始スタンバイ状態になります。

4 THUMBNAILボタンを押し、ストリーミング配信を開始する。

- 画面のアイコンがに切り換わります。

5 もう一度THUMBNAILボタンを押し、ストリーミング配信を停止する。

ストリーミング(STREAMING)機能を使う(つづき)

📌ご注意

- 以下の状態で本機を使用している場合、ストリーミング機能は使えません。
 - 記録方式がXAVC QFHDで、以下のフォーマットのとき
2160/30p 100Mbps、2160/24p 100Mbps、2160/25p 100Mbps
 - 記録方式がAVCHDで、以下のフォーマットのとき
1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p
 - 動画記録中/再生中
 - サムネイル表示中
 - SLOW & QUICK(S&Q MOTION、SUPER SLOW MOTION)
 - 他のネットワーク機能実行中
- ストリーミング実行中は、以下の機能は使えません。

ストリーミング実行中に使えない機能

- メニューの操作
 - 液晶モニターのタッチ操作
 - 同時/リレー記録(SIMUL/RELAY REC)
 - プロキシ記録(PROXY REC MODE)
 - 日付記録(DATE REC)
 - ゼブラ(ZEBRA)
 - ピーキング(PEAKING)
 - マーカー(MARKER)
 - ヒストグラム(HISTOGRAM)
 - ロックオンAF(LOCK-ON AF)
 - 顔検出(FACE DETECTION)
 - カラーバー(COLOR BAR)
 - デジタルエクステンダー(D. EXTENDER)
 - SLOW & QUICK(S&Q MOTION、SUPER SLOW MOTION)
 - NIGHTSHOT
 - 拡大フォーカス(FOCUS MAGNIFIER)
 - オートモード設定(AUTO MODE SET)
 - WB SET(配信時)
 - 他のネットワーク機能
 - STATUS CHECK
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは、有線LANでのみ接続できます。
 - ストリーミング配信中は、液晶モニターを閉じ、ファインダーを押し戻しても、本機の電源は切れません。

- [QFHD REC OUTPUT]は[VF/LCD PANEL]に固定されます。
- [LCD BRIGHT]は[NORMAL]に固定されます。
- ストリーミング配信では、インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。
- 送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。
- アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- ネットワークの状況により、一部のフレームが再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンでは、画質が悪くなります。

🗨ちよっと一言

- ストリーミング配信スタンバイ中、またはストリーミング配信中にエラーが発生した場合は、状況に応じてメッセージが表示されます。[RECONNECT]が表示された場合、選ぶと本機は再接続を試みます。[END]を選ぶと、本機は接続を終了します。手順1からやり直してください。

ストリーミング中にカメラで記録するには

ストリーミング配信中に、XAVCまたはAVCHD、MPEG HD動画をメモリーカードに録画することができます。ストリーミング配信のスタンバイ完了以降START/STOPボタン(ハンドル録画ボタン)を押すと、記録が開始されます。記録を止めるには、START/STOPボタン(ハンドル録画ボタン)をもう一度押しします。

本体記録の状態は画面に以下のように表示されます。

STBY:スタンバイ中

REC:記録中

RTMP/RTMPS方式 で動画を配信する

📌ご注意

- 配信中は、SLOT SELECTボタンやメディアの抜き差しによって対象スロットを切り換えることはできません。

ストリーミング中の本機の操作について

ストリーミングでは、以下の機能が有効です。操作はスイッチやボタンなどのハードキーを使用します。メニュー画面からは操作できません。

- ズーム
- ピント合わせ
- 配信音量のレベルを調整する場合は、XLRハンドルユニットのAUDIO LEVELダイヤルで入力音量の調整をしてください。
- 露出調整(アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード)
- ホワイトバランス

本機をネットワークに接続し、撮影中のライブ映像をRTMP/RTMPS方式で配信できます。

📌ご注意

- RTMP/RTMPS配信された映像と音声を視聴するには、この方式に対応した機器をご用意ください。詳しくは、その機器の取扱説明書をご覧ください。

RTMP/RTMPS配信の設定をする(プリセット登録)

RTMP/RTMPS配信の設定をあらかじめPRESETに登録して、おこのみの設定でRTMP/RTMPS配信します。設定できる項目は以下のとおりです。

DISPLAY NAME

PRESETの名称を設定する。

SIZE

RTMP/RTMPS配信の画像サイズを選ぶ。
- 1280×720
- 640×360

📌ちよつと一言

- より安定したRTMP/RTMPS配信をするためには、「640×360」のサイズを選択してください。

DESTINATION SET

RTMP/RTMPS配信先を設定する。

- **URL**: アップロード先のサーバーのURL


- **Stream Name**: 配信する番組のストリーム名

📌ご注意

- セキュリティーの観点から、前回入力したストリーム名は表示されません。また、ストリーム名はアスタリスク(*)が表示されます。キーボードでの入力中にストリーム名の表示・非表示を切り換えるには、DISPLAYボタンを押ししてください。

1 基本的なネットワークの設定をする(78、83ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3  (NETWORK SET)メニュー
→ [RTMP/RTMPS] → お好みのPRESET番号 → 設定項目を選ぶ。

4 設定値を選ぶ/設定する。


5 MENUボタンを押して撮影画面に戻る。

RTMP/RTMPS配信する

接続しているネットワークを使用して、撮影中の動画をRTMP/RTMPS配信します。

1 ネットワークとの接続設定が完了していることを確認する(78、83ページ)。





2 MENUボタンを押す。



3  (NETWORK SET)メニュー
→ [RTMP/RTMPS] →
[EXECUTE] → ネットワーク接続方法を選ぶ。

- ネットワークへの接続を開始します。



- ネットワーク接続の状態は、以下のアイコンで表示されます。

アイコン	意味
	無線LAN接続前、切断時
	無線LAN接続中(アクセスポイントの周波数帯域により表示が異なります)
	
	有線LAN接続

- RTMP/RTMPS配信をキャンセルする場合は、MENUボタンまたは[RTMP/RTMPS]を割り当てたASSIGNボタンを押すか、を選びます。
- 接続が完了すると、画面にが表示され、配信開始スタンバイ状態になります。

4 THUMBNAILボタン押し、RTMP/RTMPS配信を開始する。

- 画面のアイコンがに切り換わります。

5 もう一度THUMBNAILボタンを押し、RTMP/RTMPS配信を停止する。

④ ご注意

- 以下の状態で本機を使用している場合、RTMP/RTMPS配信機能は使えません。
 - 記録方式がXAVC QFHDのとき

- 記録方式がAVCHDで、以下のフォーマット
のとき
1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p
- 動画記録中/再生中
- サムネイル表示中
- SLOW & QUICK (S&Q MOTION、
SUPER SLOW MOTION)
- 他のネットワーク機能実行中
- RTMP/RTMPS実行中は、以下の機能は使えません。
 - 「ストリーミング (STREAMING) 機能を使う」
ご注意に記載されている「ストリーミング
G実行中に使えない機能」(86ページ)
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは、有線
LANでのみ接続できます。
- RTMP/RTMPS配信中は、液晶モニターを閉
じ、ファインダーを押し戻しても、本機の電源
は切れません。
- [LCD BRIGHT]は[NORMAL]に固定されま
す。
- RTMP方式で配信した場合、インターネット経
由で映像/音声データをそのまま送信します。
そのためデータが漏えいする可能性があります。
- 送信先がRTMP/RTMPS配信データを受信で
きていることを確認してください。
- アドレスの設定ミスなどにより意図しない相
手にデータを送信してしまう可能性があります。
- ネットワークの状況により、一部のフレームが
再生できない場合があります。

👉ちよつと一言

- RTMP/RTMPS配信スタンバイ中、または
RTMP/RTMPS配信中にエラーが発生した場
合は、状況に応じてメッセージが表示されま
す。[RECONNECT]が表示された場合、選ぶ
と本機は再接続を試みます。[END]を選ぶと、
本機は接続を終了します。手順1からやり直し
てください。

RTMP/RTMPS配信中にカメラで記録 するには

START/STOPボタン(ハンドル録画ボタ
ン)を押すと、記録が開始されます。

記録を止めるには、START/STOPボタン
(ハンドル録画ボタン)をもう一度押しま
す。

本体記録の状態は画面に以下のように表
示されます。

STBY:スタンバイ中

REC:記録中

👉ご注意

- 配信中は、SLOT SELECTボタンやメディアの
抜き差しによって対象スロットを切り換える
ことはできません。

RTMP/RTMPS配信中の本機の操作に ついて

RTMP/RTMPS配信では、以下の機能が有
効です。操作はスイッチやボタンなどの
ハードキーを使用します。メニュー画面か
らは操作できません。

- ズーム
- ピント合わせ
- 配信音量のレベルを調整する場合は、
XLRハンドルユニットのAUDIO
LEVELダイヤルで入力音量の調整をし
てください。
- 露出調整(アイリス、ISO感度/ゲイン、
シャッタースピード)
- ホワイトバランス

RTMP/RTMPSを終了する

1 配信を停止する。

2 以下のいずれかを押す。

- MENUボタン
 - RTMP/RTMPSの開始/終了を割り
当てたASSIGNボタン
- RTMP/RTMPSが終了します。

RTMP/RTMPS方式で動画を配信する(つづき)

RTMPS証明書を読み込む

RTMPSで接続する場合は、RTMPS証明書が必要です。RTMPS証明書は本機に内蔵されていて、更新もできます。

RTMPS証明書を更新するには、メモリーカードに証明書を保存してから本機で読み込みます。

1 RTMPS証明書をメモリーカードに書き込む。

証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「RTMPS_certification.pem」のファイル名で書き込んでください。

2 RTMPS証明書が書き込まれたメモリーカードを本機のメモリーカードスロットAに入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 (NETWORK SET)メニュー → [RTMP/RTMPS] → [RTMPS CERTIFICATE] → [OK] を選ぶ。

- RTMPS証明書の読み込みを開始します。
- 「Completed.」と表示されたら、読み込みは完了です。[OK]を選んで画面を消してください。

ご注意

- 読み込み中はメモリーカードを取り出さないでください。
- ネットワーク設定をリセットすると(102ページ)、メモリーカードから読み込んだRTMPS証明書は削除され、本機のRTMPS証明書は初期化されます。

USTREAM で動画を配信する

動画共有サイトUSTREAMを使用して、配信を行うことができます。

あらかじめ、USTREAMへのユーザー登録などが必要です。

なお、USTREAMでの動画配信についてはUSTREAM側での制限事項があります。詳しくはUSTREAMのサイトでご確認ください。

USTREAMの事前認証を行う

1 基本的なネットワークの設定をする(78、83ページ)。

2 (NETWORK SET)メニュー → [USTREAM] → [USER INFO SET] を選ぶ。

3 接続方法(有線/無線)を選ぶ。

4 以下の項目を入力し、OKを選ぶ。

- User: ユーザー名
- Password: パスワード

認証が完了すれば「Completed」が表示されます。

ご注意

- セキュリティーの観点から、前回入力したパスワードは表示されません。また、パスワード入力中はアスタリスク(*)が表示されます。キーボードでの入力中にパスワードの表示・非表示を切り換えるには、DISPLAYボタンを押してください。
- セキュリティーの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

🗨️ちよっと一言

- すでに事前認証済みの場合は確認メッセージが表示されます。
必要であれば、配信を行うアカウントを切り換えることができます。

メニューで設定する

📶 (NETWORK SET)メニュー → [USTREAM]で以下の項目を設定する。

SIZE

USTREAM配信時の画像サイズを選ぶ。
-640×360(初期設定)
-1280×720

🗨️ちよっと一言

- オリジナルファイルの記録設定により、ストリーミングデータのフレームレートが異なります(165ページ)。

SERVER REC SET

配信動画をUSTREAMのサーバー側で記録するかどうかを設定する。
-ON:記録する(初期設定)
-OFF:記録しない





USTREAMを開始する

1 📶 (NETWORK SET)メニュー → [USTREAM] → [EXECUTE]を選ぶ。


事前認証をしていない場合は、[USER INFO SET]で事前認証を行ってください。

2 接続方法(有線/無線)を選ぶ。


ネットワークの接続を開始します。
接続の状態は、以下のアイコンで表示されます。

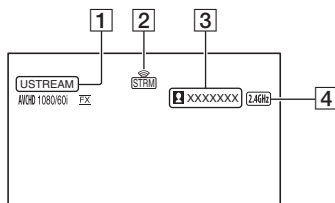
アイコン	意味
	無線LAN接続前、切断時
	無線LAN接続中(アクセスポイントの周波数帯域により表示が異なります)
	
	有線LAN接続

3 チャンネルを選択する。



USTREAM配信が可能になります。
画面に  が表示され、配信開始スタンバイ状態になります。

4 THUMBNAILボタンを押し、配信を開始する。

- 画面のアイコンが  に切り換わります。



- 1 USTREAM
- 2 ストリーミング状態表示

アイコン	意味
	ストリーム配信スタンバイ中
	ストリーム配信中


- ③ 視聴者数表示
100万人より多い場合は、「>1000000」が表示されます。
- ④ Wi-Fi または LAN

5 配信を停止するには、再度 THUMBNAIL ボタンを押す。

📌 ご注意

- 配信開始前に、カメラ側の日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
- チャンネル選択時、本機で対応していない文字は正しく表示されない場合があります。
- 以下の状態で本機を使用している場合、USTREAM機能は使えません。
 - 記録方式がXAVC QFHDのとき
 - 記録方式がAVCHDで、以下のフォーマットのとき
1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p
 - 動画記録中/再生中
 - サムネイル表示中
 - SLOW & QUICK (S&Q MOTION、SUPER SLOW MOTION)
 - 他のネットワーク機能実行中
- USTREAM実行中は、以下の機能は使えません。
 - 「ストリーミング (STREAMING) 機能を使う」📌 ご注意に記載されている「ストリーミング実行中に使えない機能」(86ページ)
- [AIRPLANE MODE] が [ON] のときは、有線LANでのみ接続できます。
- USTREAM配信中は、液晶モニターを閉じ、ファインダーを押し戻しても、本機の電源は切れません。
- [LCD BRIGHT] は [NORMAL] に固定されます。

🗨️ ちょっと一言

- チャンネル名が正常に表示されない場合、 (OTHERS) メニュー → [LANGUAGE] で適切な言語を選択してください。

USTREAM 配信中にカメラで記録するには

START/STOP ボタン (ハンドル録画ボタン) を押すと、記録が開始されます。記録を止めるには、START/STOP ボタン (ハンドル録画ボタン) をもう一度押します。

本体記録の状態は画面に以下のように表示されます。

STBY: スタンバイ中

REC: 記録中

📌 ご注意

- 配信中は、SLOT SELECT ボタンやメディアの抜き差しによって対象スロットを切り換えることはできません。

USTREAM 実行中の本機の操作について

USTREAM 実行中では、以下の機能が有効です。操作はスイッチやボタンなどハードキーを使用します。メニュー画面からは操作できません。

- ズーム
- ピント合わせ
- 配信音量の調整 (XLR/ハンドルユニットの AUDIO LEVEL ダイアルのみ有効)
- 露出調整 (アイリス、ISO 感度/ゲイン、シャッタースピード)
- ホワイトバランス

USTREAM を終了する

1 配信を停止する。

2 以下のいずれかを押す。

- MENU ボタン
 - USTREAM の開始/終了を割り当てた ASSIGN ボタン
- USTREAM が終了します。

ネットワーククライアントモードを使う

ネットワーククライアントモードにより、以下の機能、サービスが使用可能になります。

Connection Control Manager

本機とソニー製ネットワークRXステーションPWS-110RX1(別売)を接続してConnection Control Manager(以降「CCM」)を使用することで、ソニーのQoS技術を用いた高品質なストリーミングを行うことができます。


XDCAM air

ワイヤレス・クラウドサービスXDCAM airを使用することで、カメラからのストリーミングや、収録素材の管理などを、Webベースで行うことができます。

メニューで設定する

1 基本的なネットワークの設定をする(78、83ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3  (NETWORK SET)メニュー → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM SET]で以下の項目を入力し、OKを選ぶ。


- **Host Name**: 接続先CCMまたはXDCAM airのIPアドレスまたはホスト名
- **Port**: 接続先のポート番号
- **User**: ユーザー名
- **Password**: パスワード

⑥ご注意

- セキュリティーの観点から、前回入力したパスワードは表示されません。また、パスワード入力中はアスタリスク(*)が表示されます。キーボードでの入力中にパスワードの表示・非表示を切り換えるには、DISPLAYボタンを押してください。
- セキュリティーの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

ネットワーククライアントモードを開始する

1 MENUボタンを押す。

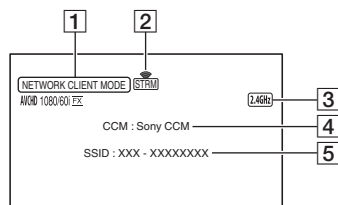
2  (NETWORK SET)メニュー → [NETWORK CLIENT MODE] → [EXECUTE]を選ぶ。

3 接続方法(有線/無線)を選ぶ。

以下は、CCMに接続した場合の例です。

CCMに接続します。




CCMと接続完了後、ストリーム配信可能になります。







① NETWORK CLIENT MODE

ネットワーククライアントモードを使う(つづき)

② ストリーミング状態表示

アイコン	意味
	ストリーム配信スタンバイ中
	ストリーム配信中
	ストリーム配信エラー発生中

③ Wi-Fi または LAN

アイコン	意味
	無線LAN接続前、切断時
 	無線LAN接続中(アクセスポイントの周波数帯域により表示が異なります)
	有線LAN接続

④ CCM の名称(CCM 側での設定による)

⑤ アクセスポイントの SSID(無線選択時)

* ④と⑤は、CCMIに接続した直後のみ表示されます。

📌 ご注意

- 以下の状態で本機を使用している場合、ネットワーククライアントモードは使えません。
 - 記録方式がXAVC QFHDのとき
 - 記録方式がAVCHDで、以下のフォーマットのとき
1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p
 - 動画記録中/再生中
 - サムネイル表示中
 - SLOW & QUICK(S&Q MOTION、SUPER SLOW MOTION)
 - 他のネットワーク機能実行中
- ネットワーククライアントモード実行中は、以下の機能は使えません。
 - 「ストリーミング(STREAMING)機能を使う」📌 ご注意に記載されている「ストリーミング実行中に使えない機能」(86ページ)
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは、有線LANでのみ接続できます。

• ネットワーククライアントモード配信中は、液晶モニターを閉じ、ファインダーを押し戻しても、本機の電源は切れません。

• [LCD BRIGHT]は[NORMAL]に固定されます。

📌 ちょっと一言

• オリジナルファイルの記録設定により、ストリーミングデータのフレームレートが異なります。詳しくは、「ストリーミング/RTMP/RTMPS/ネットワーククライアントモード/USTREAM対応フォーマット」(165ページ)をご覧ください。

ネットワーククライアントモード配信中にカメラで記録するには

START/STOPボタン(ハンドル録画ボタン)を押すと、記録が開始されます。

記録を止めるには、START/STOPボタン(ハンドル録画ボタン)をもう一度押します。

本体記録の状態は画面に以下のように表示されます。

STBY:スタンバイ中

REC:記録中

📌 ご注意

• 配信中は、SLOT SELECTボタンやメディアの抜き差しによって対象スロットを切り換えることはできません。

ネットワーククライアントモード実行中の本機の操作について

ネットワーククライアントモード実行中では、以下の機能が有効です。操作はスイッチやボタンなどハードキーを使用します。メニュー画面からは操作できません。

• ズーム

• ピント合わせ

• 配信音量の調整(XLRハンドルユニットのAUDIO LEVELダイヤルのみ有効)

• 露出調整(アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード)

• ホワイトバランス

ネットワーククライアントモードでの操作

CCMでの配信の開始と停止はCCMの操作で行います。詳しくは、CCMの取扱説明書をご覧ください。

XDCAM airでの操作については、XDCAM airの説明書をご覧ください。

ネットワーククライアントモードを終了する

1 記録している場合は、記録を停止する。

(記録中は終了できません。)

2 以下のいずれかを押す。

- MENUボタン
- ネットワーククライアントモードの開始/終了を割り当てたASSIGNボタン

3 確認画面で[YES]を選ぶ。

ネットワーククライアントモードが終了します。

CCM用ルート証明書を読み込む

CCMおよびXDCAM airに接続する場合は、CCMルート証明書が必要です。CCMルート証明書は本機に内蔵されていて、更新もできます。

CCMルート証明書を更新するには、メモリーカードに証明書を保存してから本機で読み込みます。

1 CCMルート証明書をメモリーカードに書き込む。

証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「CCM_certification.pem」のファイル名で書き込んでください。

2 CCMルート証明書が書き込まれたメモリーカードを本機のメモリーカードスロットAに入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 (NETWORK SET)メニュー → [NETWORK CLIENT MODE] → [CCM CERTIFICATE] → [OK]を選ぶ。

- CCMルート証明書の読み込みを開始します。
- 「Completed.」と表示されたら、読み込みは完了です。[OK]を選んで画面を消してください。

ご注意

- 読み込み中はメモリーカードを取り出さないでください。
- ネットワーク設定をリセットすると(102ページ)、メモリーカードから読み込んだCCMルート証明書は削除され、本機のCCMルート証明書は初期化されます。

スマートフォンを使って複数のカメラのタイムコードを合わせる

複数のカメラで撮影する際、スマートフォンとワイヤレス TC LINK機能を使って、各カメラのタイムコードを同期させることができます。

ワイヤレス TC LINKを使うには

ワイヤレス TC LINK機能を使うには、「CBKZ-WTCL」(別売)が必要です。オプションの購入後、コンピューターと本機をUSBで接続し、自動認識機能により、PCの指示にしたがってインストールします。

ⓘ ご注意

- ワイヤレス TC LINKを行うには、テザリング機能に対応しているスマートフォンが必要です。お使いになるスマートフォンでテザリングが可能かどうかは、契約されている通信業者へご確認ください。

スマートフォン側の準備

タイムコードの同期に使用するスマートフォンで、あらかじめ以下の準備を行う必要があります。

1 スマートフォンに「Content Browser Mobile」をインストールする。

インストール方法については、75ページをご覧ください。

2 スマートフォンをテザリングモードにする。

テザリングの設定については、スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

3 スマートフォンの「Content Browser Mobile」を起動する。




「Content Browser Mobile」起動後の操作については、「Content Browser Mobile」のHelpをご覧ください。

スマートフォンを使って他機のタイムコードに同期させる

タイムコードを同期させるカメラごとに、以下の操作を行います。

1 MENUボタンを押す。

2 以下の設定を、タイムコードを同期させる他のカメラに揃える

-  (OTHERS)メニュー→[60i/50i SEL] (135ページ)
-  (REC/OUT SET)メニュー→[REC SET]→[REC FORMAT] (119ページ)
-  (TC/UB SET)メニュー→[TC FORMAT] (130ページ)

3 無線LANの設定をする。

無線LANの設定方法については、78ページをご覧ください。

4 (NETWORK SET)メニュー→[Wi-Fi SET]→[ACCESS POINT SET]を選ぶ。

しばらくすると接続可能なアクセスポイント一覧が表示されます。

5 デザリングモードにしたスマートフォンのSSIDを選ぶ。

スマートフォンのSSIDが表示されない場合は、[Manual setting]を選んで手動で設定します(81ページ)。




6 [WIRELESS TC LINK]→[ON]→[OK]を選ぶ。

7 [Register]を選ぶ。

- スマートフォンへの接続を開始します。
- 接続が完了すると、スマートフォンの「Content Browser Mobile」でカメラが検索できるようになります。

8 (NETWORK SET)メニュー→[WIRELESS TC LINK]を選ぶ。

ネットワークへの接続を開始します。ネットワーク接続の状態は、以下のアイコンで表示されます。

アイコン	意味
	無線LAN接続前、切断時
	無線LAN接続中(アクセスまたはポイントの周波数帯域により表示が異なります)
	

9 スマートフォンから、タイムコードの同期を開始する。

同期に成功すると、画面に「TC has been synced.」と表示されます。

ⓘ ご注意

- タイムコードの同期は、数フレームの誤差がある場合があります。

- タイムコードの同期を行った瞬間はタイムコードの歩進が不連続になります。このとき、SDI OUT、HDMI OUTに出力されるタイムコードも不連続になります。
- カメラが記録中はタイムコードの連続性を保つため、タイムコードの同期は行われません。
- 長時間連続記録した場合、タイムコードの定期的な同期が行われなため、1時間につき数フレームずつずれることがあります。
- カメラの電源を切ると、ワイヤレス TC LINKも終了します。再びカメラの電源を入れてもワイヤレスTC LINKは自動的に実行されません。

10 ワイヤレス TC LINKを終了するには、MENUボタンを押す。

ⓘ ご注意

- ワイヤレスTC LINKを終了しても、タイムコードは連続して歩進し続けます。最初に1度だけタイムコードを同期したい場合はタイムコードを同期後、ワイヤレスTC LINKを終了してご使用ください。
- ワイヤレスTC LINKを終了しても、再度上記の手順9を行うだけで再びワイヤレスTC LINKを実行できます。

ⓘ ご注意

- 以下の状態で本機を使用している場合、ワイヤレス TC LINKは使えません。
 - 動画記録中/再生中
 - サムネイル表示中
 - SLOW & QUICK (S&Q MOTION, SUPER SLOW MOTION)
 - 他のネットワーク機能実行中
 - 飛行機モード(AIRPLANE MODE)
- ワイヤレス TC LINK実行中は、以下の機能は使えません。
 - メニューの操作
 - 液晶モニターのタッチ操作
 - 日付記録(DATE REC)
 - ロックオンAF(LOCK-ON AF)

スマートフォンを使って複数のカメラのタイムコードを合わせる(つづき)

- 顔検出(FACE DETECTION)
 - カラーバー(COLOR BAR)
 - デジタルエクステンダー(D. EXTENDER)
 - SLOW & QUICK(S&Q MOTION, SUPER SLOW MOTION)
 - NIGHTSHOT
 - 拡大フォーカス(FOCUS MAGNIFIER)
 - オートモード設定(AUTO MODE SET)
 - 他のネットワーク機能
- ワイヤレス TC LINK実行中は、「TC RUN」は「FREE RUN」になります。機能終了後も「FREE RUN」のままとなります。
 - ワイヤレス TC LINK実行中は、「TC MAKE」は「PRESET」になります。機能終了後も「PRESET」のままとなります。

👁️ちょっと一言

- ステータスチェックで前回同期時刻を確認できます(68ページ)。
- ワイヤレス TC LINK実行中に、スマートフォンからタイムコードを変更した場合も、「TC has been synced.」と表示されます。
- 「TC has been synced.」というメッセージが表示された後は、各カメラ側でタイムコードを歩進させます。

FTP転送機能を使う

本機をネットワークに接続し、記録した動画ファイルを直接FTPサーバーに転送します。

FTPサーバーを登録する

FTP転送に使用するFTPサーバーを登録します。サーバーは3つまで登録できます。ここではFTP SERVER1に登録する方法を説明します。

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [FTP TRANSFER] → [FTP SERVER1]を選ぶ。

FTP SERVER1の設定画面が表示されます。

3 各設定項目名を選んで、FTP SERVER1の設定内容を入力する。

キーボードで入力して[OK]を選びます。

👁️ちょっと一言

- キーボードの入力方法については、82ページをご覧ください。

DISPLAY NAME

登録するFTPサーバーの表示名を入力する。

DESTINATION SET

- **Host Name**: サーバーのホスト名またはIPアドレス
- **Secure Protocol**: 安全なFTP転送をするかどうかの設定
- **Port**: FTPサーバーのポート番号
- **Directory**: 転送先のディレクトリ

USER INFO SET

ユーザー名とパスワード

ご注意

- Secure Protocolは[ON]に設定することを推奨します。[OFF]の場合は、FTPサーバーとの通信内容が傍受されたり、意図しないFTPサーバーに接続したりすることで、ユーザー名、パスワード、動画ファイルのデータが漏洩したりする可能性があります。
- セキュリティの観点から、前回入力したパスワードは表示されません。また、パスワード入力中はアスタリスク(*)が表示されます。キーボードでの入力中にパスワードの表示・非表示を切り換えるには、DISPLAYボタンを押してください。
- セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。

FTPサーバーを選択する

登録したFTPサーバーの中からFTP転送に使用するサーバーを選択します。

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [FTP TRANSFER] → [FTP SERVER SELECT]を選ぶ。

3 お好みのサーバーを選ぶ。

FTP転送する

接続しているネットワークを使用して、ファイルをFTP転送します。

1 ネットワーク設定が完了していることを確認する(78、83ページ)。





2 THUMBNAILボタンを押す。

3 サムネイル画面で、転送したいファイルが保存されているメディアとファイルフォーマットを選ぶ。

4 MENUボタンを押す。

5 (NETWORK SET)メニュー → [FTP TRANSFER] → [EXECUTE] → ネットワーク接続方法を選ぶ。

- ネットワークへの接続を開始します。ネットワーク接続の状態は、以下のアイコンで表示されます。

アイコン	意味
	無線LAN接続前、切断時
	無線LAN接続中(アクセスまたはポイントの周波数帯域により表示が異なります)
	
	有線LAN接続

- FTPサーバーへの接続に成功すると、サムネイル画面が表示されます。
- 手順3でファイルフォーマットを[XAVC]にしたときは、転送するファイルをMainとPROXYから選択してください。

6 FTP転送したいファイルのサムネイルを選択し、を選ぶ。

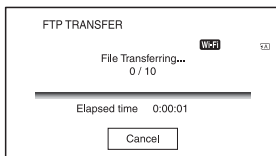
FTP転送機能を使う(つづき)



- ファイルは最大100個まで選べます。
- サムネイルを押すとプレビューできます。
- プロキシファイルがあるファイルのサムネイルには **Px** が表示されます。

7 FTP転送が終了したときに自動で本機の電源を切るか(Yes)切らないか(No)を選ぶ。

- ファイル転送を開始します。



- 転送をやめるには **[Cancel]** を選びます。
- 転送が終わると、手順7で **[Yes]** を選んだ場合は自動的に本機の電源が切れます。転送終了後に **[OK]** を選ぶと、自動的に電源は切れません。**[No]** を選んだ場合は **[OK]** を選びます。続けてファイル転送することもできます。

📌 ご注意

- FTP転送中は、液晶モニターを閉じ、ファインダーを押し戻しても、電源は切れません。

- FTP転送は、本機で記録されたファイルのみ可能です。
- ファイル転送を開始したあとは、メモリーカードを入れ換えないでください。
- 撮影モードではFTP転送できません。THUMBNAILボタンを押して再生モードにしてから操作してください。
- 静止画のFTP転送はできません。
- **[AIRPLANE MODE]** が **[ON]** のときは、有線LANでのみ接続できます。

FTP転送結果を確認する

ファイルがすべて転送できたかどうか確認できます。転送完了後に本機の電源が自動で切れる設定をした場合には、転送結果を確認することをおすすめします。

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → **[FTP TRANSFER]** → **[FTP RESULT]** を選ぶ。

- 転送結果が表示されます。
- 表示される転送結果は以下の内容です。

Date

転送開始日時

Number of Contents

転送済みコンテンツ数/総転送コンテンツ数

Result

転送結果

ルート証明書を読み込む

Secure Protocolを[ON]にしてFTP転送、またはUSTREAM配信をする場合は、ルート証明書が必要です。ルート証明書は本機に内蔵されていて、更新もできます。ルート証明書を更新するには、メモリーカードに証明書を保存してから本機で読み込みます。

1 ルート証明書をメモリーカードに書き込む。

証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「certification.pem」のファイル名で書き込んでください。

2 ルート証明書が書き込まれたメモリーカードを本機のメモリーカードスロットAに入れる。

3 MENUボタンを押す。

4 (NETWORK SET)メニュー → [ROOT CERTIFICATE] → [OK]を選ぶ。

- ルート証明書の読み込みを開始します。
- 「Completed.」と表示されたら、読み込みは完了です。を選んで画面を消してください。

④ご注意

- 読み込み中はメモリーカードを取り出さないでください。
- ネットワーク設定をリセットすると(102ページ)、メモリーカードから読み込んだルート証明書は削除され、本機のルート証明書は初期化されます。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ネットワーク設定をリセットする

ネットワーク設定に関する、以下の設定をリセットします。

- スマートフォン操作のSSID/パスワード (75ページ)
- ストリーミング設定 (84ページ)
- RTMP/RTMPS設定 (87ページ)
- RTMPS証明書 (90ページ)
- USTREAM設定 (90ページ)
- FTP転送設定 (98ページ)
- FTP転送結果 (100ページ)
- 有線LAN設定 (83ページ)
- アクセスポイント設定 (78～82ページ)
- 機器名称 (82ページ)
- CCM設定 (93ページ)
- CCM用ルート証明書 (95～95ページ)
- ルート証明書 (101～101ページ)

1 MENUボタンを押す。

2 (NETWORK SET)メニュー → [NETWORK RESET] → [OK]を選ぶ。

本機が再起動します。

動画を保護する(プロテクト)

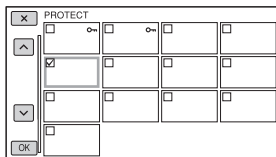
動画を誤って削除してしまうことを防げます。

1 THUMBNAIL画面でMENUボタンを押す。

2  (EDIT)メニュー → [PROTECT]を選ぶ。

3 プロテクトしたい動画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

4 画面表示に従って [OK] をタッチする。

プロテクトを解除するには

手順**3**で✓マークがついている動画をタッチする。

✓マークが消えます。

動画を分割する

指定した場所で動画を分割できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2  (EDIT)メニュー → [DIVIDE]を選ぶ。

3 分割したい場所でIIをタッチする。

IIで場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 画面表示に従って [OK] をタッチする。

◎ご注意

- 動画の分割はAVCHDのみ可能です。
- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、IIで決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

動画を削除する

不要な動画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻せます。

ⓘ ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(103ページ)。
- 大切な動画は、あらかじめパソコンなどに保存してください。

💡 ちょっと一言

- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(105ページ)。

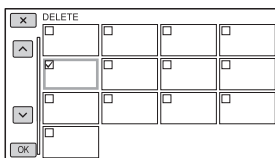
4 画面表示に従って **[OK]** をタッチする。

1 THUMBNAIL画面でMENUボタンを押す。

2 **[EDIT]**メニュー → **[DELETE]**を選ぶ。

3 削除する動画をタッチする。

画像に **✓** マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。**[X]**で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。
- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に **○→** が表示されます。
- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

メモリーカードを初期化する

初期化とはメモリーカード内のデータを削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。

⚠️ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像データはあらかじめパソコンなどに保存してからデータ消去を行ってください。
- プロテクトされた動画も削除されます。

1 MENUボタンを押す。

2 (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

3 初期化するメモリーカードを選ぶ。

4 画面表示に従って **[OK]** をタッチする。

⚠️ご注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードやACアダプターを取り外したりしないでください(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します)。

メモリーカードのデータを完全に消去する

メモリーカードは繰り返し使用すると”ごみ”データが蓄積し、保証された速度で書き込みができなくなることがあります。その結果、撮影中に記録が停止してしまう恐れがあります。

通常の「メディア初期化」ではなく、すべてのデータを削除する「データ消去」を実行することで、撮影時のメディア書き込みエラーを極力削減できます。

⚠️ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データはあらかじめパソコンなどに保存してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 本機をACアダプター(付属)を使ってコンセントにつなぐ(22ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 (OTHERS)メニュー → [MEDIA FORMAT]を選ぶ。

4 消去するメモリーカードを選ぶ。 消去の画面が表示されます。

5 [Empty] → **[OK]** をタッチする。

メモリーカードのデータを完全に消去する(つづき)

📌ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶モニター上でご確認ください。
- [Executing...]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

💡ちょっと一言

- メディアへのデータ書き込みエラーを予防するには、撮影前にカムコーダーでメディアデータ消去を実行してください。通常の「MEDIA FORMAT」ではなく、すべてのデータを削除する「Empty」を実行することで、撮影時のメディア書き込みエラーを極力削減できます。

管理ファイルを修復する

管理情報とメモリーカードの動画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

📌ご注意


- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MENUボタンを押す。

2 (OTHERS)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE]を選ぶ。

3 管理ファイルを確認するメモリーカードを選ぶ。

4 をタッチする。

管理ファイルの確認が始まります。不整合が見つからなかった場合は、 を選んで終了してください。

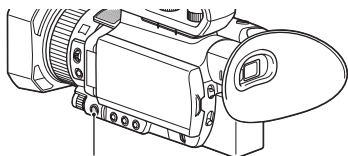
5 画面表示に従って をタッチする。

📌ご注意

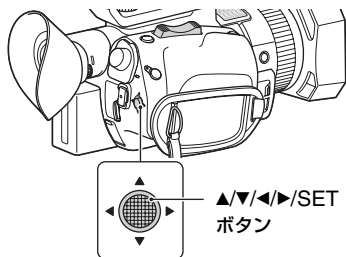
- [Repairing the image database file.]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、管理ファイルを再度修復してください。

メニューの使いかた

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。



MENUボタン



▲/▼/◀/▶/SET
ボタン

ⓘ ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- 他のメニューの設定状況によって選択できない状態にある項目や設定値はグレー表示されます。

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを動かしてメニューを選び、押して決定する。

- ▶ CAMERA SET (110ページ)
- ↔ REC/OUT SET (119ページ)
- ♪ AUDIO SET (124ページ)
- DISPLAY SET (126ページ)
- 00:00 TC/UB SET (130ページ)
- 📶 NETWORK SET (131ページ)
- 🔧 OTHERS (134ページ)
- 🔍 EDIT (137ページ)

[↩ RETURN] を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

メニュー一覧

📷 CAMERA SET

- ISO/GAIN SEL
- AUTO ISO LIMIT
- AGC LIMIT
- WB PRESET
- WB OUTDOOR LEVEL
- WB TEMP SET
- WB SET
- AE SHIFT
- D. EXTENDER
- ZOOM SET
- 📷 STEADYSHOT
- FOCUS AREA
- AF DRIVE SPEED
- AF SUBJ. TRACK SET
- LOCK-ON AF
- FACE DETECTION
- SLOW & QUICK
- AUTO MODE SET
- SCENE SELECTION SET
- SPOT METER/FOCUS
- SPOT METER
- SPOT FOCUS
- LOW LUX
- AUTO BACK LIGHT
- NIGHTSHOT
- NIGHTSHOT LIGHT
- COLOR BAR
- PICTURE PROFILE

🔄 REC/OUT SET

- REC SET
- VIDEO OUT

🎵 AUDIO SET

- VOLUME
- AVCHD AUDIO FORMAT
- AUDIO REC LEVEL
- INT MIC WIND
- MIC SELECT
- AUDIO OUTPUT TIMING

📺 DISPLAY SET

- HISTOGRAM
- ZEBRA
- PEAKING
- PHASE AF FRAMES
- PHASE DETECT. AF AREA
- MARKER
- FOCUS MAG RATIO
- CAMERA DATA DISPLAY
- AUDIO LEVEL DISPLAY
- ZOOM DISPLAY
- FOCUS DISPLAY
- SHUTTER DISPLAY
- DATA CODE
- GAMMA DISP ASSIST
- LCD BRIGHT
- VF COLOR TEMP.
- DISPLAY OUTPUT

🕒 TC/UB SET

- TC/UB DISPLAY
- TC PRESET
- UB PRESET
- TC FORMAT
- TC RUN
- TC MAKE
- UB TIME REC

NETWORK SET

- CTRL W/SMARTPHONE
- RTMP/RTMPS
- STREAMING
- USTREAM
- NETWORK CLIENT MODE
- WIRELESS TC LINK
- FTP TRANSFER
- WIRED LAN SET
- Wi-Fi SET
- AIRPLANE MODE
- ROOT CERTIFICATE
- NETWORK RESET

OTHERS

- STATUS CHECK
- CAMERA PROFILE
- S&Q BUTTON SETTING
- ASSIGN BUTTON
- CLOCK SET
- AREA SET
- SUMMERTIME
- LANGUAGE
- DATE REC
- BEEP
- REC LAMP
- REMOTE CONTROL
- 60i/50i SEL
- MEDIA FORMAT
- REPAIR IMAGE DB FILE
- USB CONNECT
- USB LUN SET
- OPERATION TIME
- OPTION
- VERSION DISPLAY
- CALIBRATION
- INITIALIZE

EDIT

- PROTECT
- DIVIDE
- DELETE

メニュー一覧(つづき)

各メニュー項目の設定の機能および設定値は以下のとおりです。

出荷時の初期設定値は、太字で示しています。


メニュー項目の表示順序は、実際とは異なる場合があります。


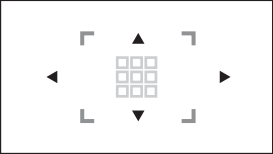

CAMERA SETメニュー

CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
ISO/GAIN SEL (ISO/ゲイン切換)	ISO, GAIN	ISO感度/ゲインの表示を切り換える。 ●ISO感度とゲインは別々の値で個別に保存されます。 ●[ISO/GAIN SEL]は、AUTO/MANUALスイッチが「MANUAL」のときのみ設定できます。
AUTO ISO LIMIT (オート ISOリミット)	OFF, ISO200~ ISO4000	ISO自動調整時の上限値を選ぶ。 ●ピクチャープロファイルの[GAMMA]の設定によって設定できる範囲が異なります。 ●ISO感度を手動調節していると効果はありません。 ●[ISO/GAIN SEL]が[ISO]のときに設定できます。 ●[AGC LIMIT]で設定した値とは独立して設定できます。
AGC LIMIT (AGCリミット)	OFF, 24dB ~ 0dB	オートゲインコントロール(AGC)の上限値を選ぶ。 ●ゲインを手動調節していると効果はありません。 ●[ISO/GAIN SEL]が[GAIN]のときに設定できます。
WB PRESET (WBプリセット)	OUTDOOR, INDOOR, MANU WB TEMP	プリセットホワイトバランスを使うときに選ぶ(47ページ)。
WB OUTDOOR LEVEL (WB屋外レベル)	-7 ~ +7 (0)	プリセットホワイトバランスが[OUTDOOR]のときのオフセット量を設定する。 -にすると青めに、+にすると赤めになります。
WB TEMP SET (WB色温度設定)	2300K ~ 15000K (6500K)	プリセットホワイトバランスが[MANU WB TEMP]のときの色温度の値を設定する。
WB SET	-	撮影環境に応じたホワイトバランスをワンタッチで取り込む(48ページ)。

CAMERA SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
AE SHIFT (AEシフト)	ON/OFF OFF, ON	AEシフト機能のオン/オフを切り換える。
	LEVEL -2.0EV ~ +2.0EV (0EV)	明るさを調節する。 ●アイリス、シャッタースピード、ISO感度/ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。
D. EXTENDER (デジタルエクステンダー)	OFF, ON	2倍に拡大して撮影する。 ●XAVC QFHDではこの機能は使えません。
ZOOM SET (ズーム設定)	ZOOM TYPE OPTICAL ZOOM ONLY, ON [CLEAR IMAGE ZOOM], ON [DIGITAL ZOOM]	ズームレバー操作時に使用するズームタイプを選ぶ。 OPTICAL ZOOM ONLY: 光学ズームのみ使用する。 ON [CLEAR IMAGE ZOOM]: 光学ズームに加え、全画素超解像ズームも使用できる。 ●全画素超解像ズーム (CLEAR IMAGE ZOOM) とは、画質の劣化が少ない画像ズーム機能です。 ON [DIGITAL ZOOM]: 光学ズーム、全画素超解像ズームに加え、デジタルズームも使用できる。pQ が表示されている範囲は画質が劣化します。 ●全画素超解像ズーム中とデジタルズーム中は、顔検出、フォーカスエリア、ロックオンAFが無効になります。
	HANDLE ZOOM 1~8(3)	ハンドルズームスピード切り換えスイッチが「FIX」のときのズームスピードを設定する。
	SPEED ZOOM OFF, ON	ズームレバーやハンドルズームレバーのズーム駆動速度を速くするかを設定する。 ●[ON]に設定すると、ズームの駆動音が動画に記録されることがあります
 STEADYSHOT (手ブレ補正)	STANDARD, ACTIVE, OFF	撮影時の手ブレ軽減を設定する。 STANDARD (👁️): 手ブレ補正機能を使う。 ACTIVE (👁️): 強い手ブレ補正効果が得られる。 ●[ACTIVE] 設定時は、画角が1.08倍テレシフトします。 OFF (👁️): 手ブレ補正機能を使わない。 ●三脚使用時は[OFF]にすることをおすすめします。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
FOCUS AREA (フォーカスエリア)	WIDE	<p>モニター全体を基準に、自動でピントを合わせる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> •位相差AF枠が表示されているときは、タッチでピントを合わせたい被写体を指定することができます。
	ZONE	<p>指定したゾーン内で、自動でピントを合わせる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> •ゾーンは9マス(上下3×左右3)に分割されています。
	CENTER	<p>液晶モニター中央付近の被写体に、自動でピントを合わせる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> •オートフォーカスが動作する範囲がフォーカスエリア枠で表示されます。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
FOCUS AREA (フォーカスエリア)	FLEXIBLE SPOT	タッチした位置に自動でピントを合わせる。 
AF DRIVE SPEED (AF駆動速度)	7[FAST]~1[SLOW] (5[NORMAL])	オートフォーカスのピント合わせの速度を選ぶ。
AF SUBJ. TRACK SET (AF被写体追従設定)	AF TRACKING DEPTH 5[WIDE]~ 1[NARROW] (3[NORMAL]) AF SUBJ. SWITCH. SENS. 5[RESPONSIVE]~ 1[LOCKED ON] (3[NORMAL])	奥行き方向への被写体を追従する範囲を選ぶ。 被写体を変えたときに、新しい被写体にピント合わせるまでの時間を選ぶ。
LOCK-ON AF (ロックオンAF)	OFF、ON	画面をタッチして選んだ被写体を追尾して、ピントを合わせ続ける機能のオン/オフを切り換える(39ページ)。
FACE DETECTION (顔検出)	OFF、ON	人物の顔を検出してその顔にピントを合わせる機能のオン/オフを切り換える(40ページ)。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
SLOW & QUICK (スロー&クイック モーション)	S&Q MOTION	スロー&クイックモーションを設定する。
	HIGH FRAME RATE OFF、ON	ハイフレームレートのスローモーション撮影をする(61ページ)。
	REC FORMAT	スロー&クイックモーションの録画フォーマットを設定する。
	XAVC QFHD	
		[60iのとき] [50iのとき]
		2160/30p 100Mbps 2160/25p 100Mbps
		2160/30p 60Mbps 2160/25p 60Mbps
		2160/24p 100Mbps -
		2160/24p 60Mbps -
	XAVC HD ([HIGH FRAME RATE] : [OFF])	
	[60iのとき] [50iのとき]	
	1080/60p 50Mbps 1080/50p 50Mbps	
	1080/60p 35Mbps 1080/50p 35Mbps	
	1080/30p 50Mbps 1080/25p 50Mbps	
	1080/30p 35Mbps 1080/25p 35Mbps	
	1080/24p 50Mbps -	
	1080/24p 35Mbps -	
XAVC HD ([HIGH FRAME RATE] : [ON])		
	[60iのとき] [50iのとき]	
	1080/60p 50Mbps 1080/50p 50Mbps	
	1080/30p 25Mbps 1080/25p 25Mbps	
	1080/24p 25Mbps -	
MPEG HD 422		
	[60iのとき] [50iのとき]	
	1080/30p 50Mbps 1080/25p 50Mbps	
	1080/24p 50Mbps -	
MPEG HD 420		
	[60iのとき] [50iのとき]	
	1080/30p HQ 1080/25p HQ	
	1080/24p HQ -	

CAMERA SET			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
SLOW & QUICK (スロー&クイック モーション)	REC FORMAT	AVCHD	
		[60iのとき] [50iのとき]	
		1080/60p PS 1080/50p PS	
		1080/30p FX 1080/25p FX	
			1080/24p FX -
	FRAME RATE	スロー&クイックモーションのフレームレートを設定する。 XAVC QFHD/MPEG HD 422/420	[60iのとき] [50iのとき]
			30fps 25fps
			15fps 12fps
			8fps 6fps
			4fps 3fps
2fps 2fps			
1fps 1fps			
XAVC HD ([HIGH FRAME RATE]: [OFF]) /AVCHD			
[60iのとき] [50iのとき]			
60fps 50fps			
30fps 25fps			
15fps 12fps			
8fps 6fps			
4fps 3fps			
2fps 2fps			
1fps 1fps			
XAVC HD ([HIGH FRAME RATE]: [ON])			
[60iのとき] [50iのとき]			
120fps 100fps			
SUPER SLOW MOTION			スーパースローモーションを設定する。

CAMERA SET			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
SLOW & QUICK (スロー&クイック モーション)	REC FORMAT	スーパースローモーションの録画フォーマットを設定する。	
		XAVC HD	
		[60iのとき]	[50iのとき]
		1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps
		1080/60p 35Mbps	1080/50p 35Mbps
		1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
		1080/30p 35Mbps	1080/25p 35Mbps
		1080/24p 50Mbps	—
		1080/24p 35Mbps	—
		MPEG HD 422	
		[60iのとき]	[50iのとき]
		1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps
		1080/24p 50Mbps	—
		MPEG HD 420	
		[60iのとき]	[50iのとき]
		1080/30p HQ	1080/25p HQ
		1080/24p HQ	—
		AVCHD	
		[60iのとき]	[50iのとき]
		1080/60p PS	1080/50p PS
1080/30p FX	1080/25p FX		
1080/24p FX	—		
	FRAME RATE	スーパースローモーションのフレームレートを設定する。	
	[60iのとき]	[50iのとき]	
	960fps	1000fps	
	480fps	500fps	
	240fps	250fps	
	REC TIMING	録画ボタンを押したときに録画するタイミングを選ぶ。	
	START TRIGGER、 END TRIGGER、 END TRIGGER HALF		

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
AUTO MODE SET (オートモード設定)	AUTO、INTELLIGENT AUTO、SCENE SELECTION	シーンに合わせて最適な設定で撮影するオートモードを設定する(54ページ)。
SCENE SELECTION SET (シーンセレクション設定)	NIGHT SCENE、SUNRISE&SUNSET、FIREWORKS、LANDSCAPE、PORTRAIT、SPOTLIGHT、BEACH	[AUTO MODE SET]が[SCENE SELECTION]のときに使うシーンを設定する(54ページ)。
SPOT METER/ FOCUS (スポット測光フォーカス)		画面でタッチした被写体に明るさとピントを自動調整する。
SPOT METER (スポット測光)		タッチした被写体に明るさを自動調整する。
SPOT FOCUS (スポットフォーカス)		タッチした被写体にピントを自動調整する。
LOW LUX	OFF、ON	ゲインとシャッタースピードを自動的に調整することで、暗いところでも明るくカラーで撮影できる機能のオン/オフを切り換える。 [AUTO MODE SET]が[AUTO]のときのみ使用可能です。
AUTO BACK LIGHT (自動逆光補正)	OFF、ON	自動で逆光補正するかどうかを切り換える。
NIGHTSHOT	ON、OFF	NIGHTSHOT機能のオン/オフを切り換える。
NIGHTSHOT LIGHT (NIGHTSHOTライト)	ON、OFF	NIGHTSHOT(55ページ)撮影時に赤外線を発光するかどうかを切り換える。 赤外線を発光すると、よりはっきりとした画像を記録することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ●ナイトショットライト(8ページ)を指などで覆わないでください。 ●レンズフードは、赤外線発光の妨げとなるため、取り外してください。 ●ライトが届く範囲は、約3メートルです。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
COLOR BAR (カラーバー)	ON/OFF OFF、ON	<p>カラーバーを表示、記録し、音声トーン信号を出力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> •フォーマットを切り換えたり、MENUによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF]に戻ります。 •録画中および拡大フォーカス中、[COLOR BAR]の設定を変更することはできません。
	TONE OFF、ON	<p>カラーバー表示中に、音声トーン信号(1kHz:フルビット -20dB)を出力するかどうか設定する。</p> <p>オフにすると、カラーバー記録中はマイクからの音声記録されません。</p>
PICTURE PROFILE		PICTURE PROFILEメニューを表示する(55ページ)。

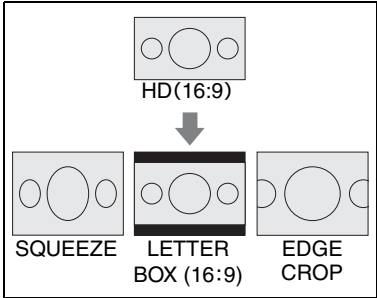
REC/OUT SETメニュー

REC/OUT SET

メニュー項目	細目と設定値	内容																						
REC SET (録画設定)	FILE FORMAT XAVC QFHD、XAVC HD、MPEG HD 422、MPEG HD 420、AVCHD	記録方式を選択する。 ●MPEG HDで記録するには、「CBKZ-SLMP」(別売)が必要です(42ページ)。																						
	REC FORMAT	録画フォーマットを設定する。 設定はFILE FORMATにより異なります。 ●[60iのとき]、実際のフレームレートと画面に表示されるフレームレートは異なります。																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>フレームレート表示</th> <th>実際のフレームレート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>23.98</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>29.97</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>59.94</td> </tr> </tbody> </table>	フレームレート表示	実際のフレームレート	24	23.98	30	29.97	60	59.94														
フレームレート表示	実際のフレームレート																							
24	23.98																							
30	29.97																							
60	59.94																							
	FILE FORMATがXAVC QFHDの場合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[60iのとき]</th> <th>[50iのとき]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2160/30p 100Mbps</td> <td>2160/25p 100Mbps</td> </tr> <tr> <td>2160/30p 60Mbps</td> <td>2160/25p 60Mbps</td> </tr> <tr> <td>2160/24p 100Mbps</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2160/24p 60Mbps</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>●画サイズ:2160(3840×2160)</p>	[60iのとき]	[50iのとき]	2160/30p 100Mbps	2160/25p 100Mbps	2160/30p 60Mbps	2160/25p 60Mbps	2160/24p 100Mbps		2160/24p 60Mbps													
[60iのとき]	[50iのとき]																							
2160/30p 100Mbps	2160/25p 100Mbps																							
2160/30p 60Mbps	2160/25p 60Mbps																							
2160/24p 100Mbps																								
2160/24p 60Mbps																								
	FILE FORMATがXAVC HDの場合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[60iのとき]</th> <th>[50iのとき]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080/60p 50Mbps</td> <td>1080/50p 50Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/60p 35Mbps</td> <td>1080/50p 35Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/60i 50Mbps</td> <td>1080/50i 50Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/60i 35Mbps</td> <td>1080/50i 35Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/60i 25Mbps</td> <td>1080/50i 25Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/30p 50Mbps</td> <td>1080/25p 50Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/30p 35Mbps</td> <td>1080/25p 35Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/24p 50Mbps</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1080/24p 35Mbps</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>720/60p 50Mbps</td> <td>720/50p 50Mbps</td> </tr> </tbody> </table> <p>●画サイズ:1080(1920×1080)/720(1280×720)</p>	[60iのとき]	[50iのとき]	1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps	1080/60p 35Mbps	1080/50p 35Mbps	1080/60i 50Mbps	1080/50i 50Mbps	1080/60i 35Mbps	1080/50i 35Mbps	1080/60i 25Mbps	1080/50i 25Mbps	1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps	1080/30p 35Mbps	1080/25p 35Mbps	1080/24p 50Mbps	—	1080/24p 35Mbps	—	720/60p 50Mbps	720/50p 50Mbps
[60iのとき]	[50iのとき]																							
1080/60p 50Mbps	1080/50p 50Mbps																							
1080/60p 35Mbps	1080/50p 35Mbps																							
1080/60i 50Mbps	1080/50i 50Mbps																							
1080/60i 35Mbps	1080/50i 35Mbps																							
1080/60i 25Mbps	1080/50i 25Mbps																							
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps																							
1080/30p 35Mbps	1080/25p 35Mbps																							
1080/24p 50Mbps	—																							
1080/24p 35Mbps	—																							
720/60p 50Mbps	720/50p 50Mbps																							

REC/OUT SET																		
メニュー項目	細目と設定値	内容																
REC SET (録画設定)	FILE FORMATが MPEG HD 422の場合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[60iのとき]</th> <th>[50iのとき]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080/60i 50Mbps</td> <td>1080/50i 50Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/30p 50Mbps</td> <td>1080/25p 50Mbps</td> </tr> <tr> <td>1080/24p 50Mbps</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>720/60p 50Mbps</td> <td>720/50p 50Mbps</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 画サイズ: 1080(1920×1080)/720(1280×720) 	[60iのとき]	[50iのとき]	1080/60i 50Mbps	1080/50i 50Mbps	1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps	1080/24p 50Mbps	—	720/60p 50Mbps	720/50p 50Mbps						
	[60iのとき]	[50iのとき]																
1080/60i 50Mbps	1080/50i 50Mbps																	
1080/30p 50Mbps	1080/25p 50Mbps																	
1080/24p 50Mbps	—																	
720/60p 50Mbps	720/50p 50Mbps																	
FILE FORMATが MPEG HD 420の場合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[60iのとき]</th> <th>[50iのとき]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080/60i HQ</td> <td>1080/50i HQ</td> </tr> <tr> <td>1080/30p HQ</td> <td>1080/25p HQ</td> </tr> <tr> <td>1080/24p HQ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1080/60i(1440) HQ</td> <td>1080/50i(1440) HQ</td> </tr> <tr> <td>720/60p HQ</td> <td>720/50p HQ</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 画サイズ: 1080(1920×1080)(1440×1080)/720(1280×720) ビットレート: HQ:35Mbps 	[60iのとき]	[50iのとき]	1080/60i HQ	1080/50i HQ	1080/30p HQ	1080/25p HQ	1080/24p HQ	—	1080/60i(1440) HQ	1080/50i(1440) HQ	720/60p HQ	720/50p HQ					
[60iのとき]	[50iのとき]																	
1080/60i HQ	1080/50i HQ																	
1080/30p HQ	1080/25p HQ																	
1080/24p HQ	—																	
1080/60i(1440) HQ	1080/50i(1440) HQ																	
720/60p HQ	720/50p HQ																	
	FILE FORMATが AVCHDの場合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[60iのとき]</th> <th>[50iのとき]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080/60p PS</td> <td>1080/50p PS</td> </tr> <tr> <td>1080/60i FX</td> <td>1080/50i FX</td> </tr> <tr> <td>1080/60i FH</td> <td>1080/50i FH</td> </tr> <tr> <td>1080/60i LP</td> <td>1080/50i LP</td> </tr> <tr> <td>1080/30p FX</td> <td>1080/25p FX</td> </tr> <tr> <td>1080/24p FX</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>720/60p HQ</td> <td>720/50p HQ</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 画サイズ: 1080:1920×1080(PS、FX、FH)、1440×1080(LP) 720:1280×720(HQ) ビットレート: PS:最大28Mbps FX:最大24Mbps FH:約17Mbps(平均) HQ:約9Mbps(平均) LP:約5Mbps(平均) 	[60iのとき]	[50iのとき]	1080/60p PS	1080/50p PS	1080/60i FX	1080/50i FX	1080/60i FH	1080/50i FH	1080/60i LP	1080/50i LP	1080/30p FX	1080/25p FX	1080/24p FX	—	720/60p HQ	720/50p HQ
[60iのとき]	[50iのとき]																	
1080/60p PS	1080/50p PS																	
1080/60i FX	1080/50i FX																	
1080/60i FH	1080/50i FH																	
1080/60i LP	1080/50i LP																	
1080/30p FX	1080/25p FX																	
1080/24p FX	—																	
720/60p HQ	720/50p HQ																	



REC/OUT SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
REC SET (録画設定)	SIMUL/RELAY REC OFF 、 SIMULTANEOUS REC. RELAY REC	複数のメモリーカードを使って、リレー記録(32ページ)または同時記録(33ページ)を設定する。
	REC BUTTON SETTING	[SIMULTANEOUS REC]のときのSTART/STOPボタンとハンドル録画ボタンの働きを設定する(33ページ)。
	PROXY REC MODE ON/OFF SIZE 1280x720 、 640x360	プロキシ記録を設定する(43ページ)。
VIDEO OUT (ビデオ出力)	OUTPUT SELECT OUTPUT SELECT SDI, HDMI, VIDEO	映像の出力先を設定する。 OUTPUT SELECT: 外部出力用の端子を選択する。
	QFHD REC OUTPUT VF/LCD PANEL、 EXTERNAL OUTPUT	QFHD REC OUTPUT: 4Kで記録中の映像信号を、ファインダー/液晶モニターに出力するか、[OUTPUT SELECT]で選択した外部出力端子に出力するかを選択する。
	SDI/HDMI [60iのとき] 2160p/1080p/480i、 2160p/720p/480i、 2160p/1080i/480i、 1080p/480i 、 720p/480i、 1080i/480i、480p、 480i [50iのとき] 2160p/1080p/576i、 2160p/720p/576i、 2160p/1080i/576i、 1080p/576i 、 720p/576i、 1080i/576i、576p、 576i	SDI OUT/HDMI OUT端子からの出力信号の解像度を選ぶ。 ●接続するケーブルによる出力信号のフォーマットは71ページをご覧ください。
	24p OUTPUT 24p/60p	フレームレートの値が24でプログレッシブスキャン方式の設定値を選んでいるときの出力フォーマットを設定する。 ●[60iのとき]のみ設定できます。 ●[SDI/HDMI]が[1080p/480i]のときのみ有効です。



REC/OUT SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
VIDEO OUT (ビデオ出力)	DOWN CONVERT TYPE SQUEEZE、LETTER BOX (16:9)、EDGE CROP	映像信号出力形式を設定する。 16:9で撮影された動画を、以下の条件で出力 するときに有効です。 <ul style="list-style-type: none"> •VIDEO OUTから出力する •HDMI OUTから480p/480iで出力する •SDI OUTから480iで出力する
		
	HDMI TC OUTPUT OFF、ON	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイム コードを出力するかどうか設定する。

REC/OUT SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
VIDEO OUT (ビデオ出力)	SDI/HDMI REC CONTROL OFF, ON	本機と外部レコーダーをつないだとき、本機の操作で外部レコーダーへの録画を行うかどうかを設定する。 ON: 本機の操作で録画を行う。 OFF: 本機の操作で録画を行わない。

- [ON]のときに表示されるアイコン

アイコン	意味
	外部レコーダーへ記録指示を出せる状態
	外部レコーダーへ記録指示を出している状態
なし	外部レコーダーへ記録指示を出せない状態

- [SDI/HDMI REC CONTROL]を[ON]にすると、VITCが重畳されません。
- [HDMI TC OUTPUT]が[OFF]のときは、HDMI REC CONTROLは強制的に無効になります。
-   が表示されている場合でも、外部レコーダーが記録できない状態(たとえば、メディアに空き容量がない、バッテリー残量が少ない、外部レコーダーと正しく接続されていない)にあると、外部レコーダーでの記録が正しく行えない場合があります。外部レコーダーで記録を行う際は、外部レコーダーで正しく記録できていることを確認してください。

AUDIO SETメニュー

AUDIO SET





メニュー項目	細目と設定値	内容
VOLUME		音量を調節する。
AVCHD AUDIO FORMAT (AVCHD録音フォー マット)	LINEAR PCM、DOLBY DIGITAL	記録音声フォーマットを切り換える。 LINEAR PCM(♪LPCM):リニアPCM方式 で記録する。 DOLBY DIGITAL(♪DolbyD):ドルビーデジ タル方式で記録する。
AUDIO REC LEVEL (録音レベル)	REC LEVEL MODE NORMAL、HIGH、 MANUAL MANUAL REC LEVEL 1~31 (21)	内蔵マイクや外部マイク(別売)に対して、音 声入力の録音レベルに関する設定をする。 REC LEVEL MODE:録音レベルを選ぶ。 MANUAL REC LEVEL:録音レベルが [MANUAL]のときの録音感度を設定す る。 ●ヘッドホンをつけて、レベルを確認しながら 操作することをおすすめします。 ●連続した大きな音を撮影し続ける場合は、あ らかじめレベルを低めに設定すると臨場感 のある音声記録できます。 ●録音レベルの設定に関わらず、リミッターは 常に有効です。 ●マルチインターフェースシューに装着した 専用マイクを使用しているときは、録音レベ ルは調節できません。
INT MIC WIND (INT MIC風音低減)	OFF、ON	内蔵マイクで入力音声の低域音をカットし て、風音を低減する機能のオン/オフを切り換 える。

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
MIC SELECT (マイク選択)	AUTO、INT MIC、MI SHOE MIC、STEREO MINI MIC	<p>音声収録に使用するマイクを選ぶ。 AUTO:マイクの接続状態によって、収録する音声に使用するマイクを自動で選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の優先順位で選択されます。 <ul style="list-style-type: none"> MIC端子(PLUG IN POWER)に接続される外部マイク>XLRハンドルユニットに取り付けられるマイク、またはマルチインターフェースシュー対応マイク>内蔵マイク <p>INT MIC:本体内蔵マイクで音声を収録する。 MI SHOE MIC:XLRハンドルユニットに取り付けられるマイク、またはマルチインターフェースシュー対応マイクで音声を収録する。 STEREO MINI MIC:ステレオミニ端子につないだマイクで音声を収録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> [AUTO]に設定しているときに、本体にXLRハンドルユニットを取り付けて、INPUT1端子とINPUT2端子にマイクが付いていない場合、内蔵マイクが選択されず、音声が記録されません。この場合、[INT MIC]に設定してください。
AUDIO OUTPUT TIMING (音声出カタイミン グ)	LIVE、LIP SYNC	<p>撮影時の音声出カタイミングを選ぶ。 LIVE:撮影時の音声を遅延なしで出力する。 LIP SYNC:撮影時の映像と音声を同期させて出力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI端子を使用して外部機器に記録する場合は、[LIP SYNC]を選択してください。

DISPLAY SETメニュー

DISPLAY SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
HISTOGRAM (ヒストグラム)	OFF, ON, ON [ZEBRA POINT]	ヒストグラム表示を設定する。 OFF: ヒストグラムを表示しない。 ON: ヒストグラムを表示する。 100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わる。 ON [ZEBRA POINT]: ヒストグラムにゼブラポイントとして表示される。[ZEBRA]で設定されているレベルにラインが表示される。
ZEBRA (ゼブラ)	ZEBRA SELECT OFF, ZEBRA1, ZEBRA2	ゼブラ表示の種類(ZEBRA 1またはZEBRA 2)を選ぶ。 OFF: ゼブラを表示しない。 ZEBRA1: [ZEBRA1 LEVEL]で設定した映像レベルを中心に[ZEBRA1 APERTURE LEVEL]で設定した範囲のエリアに対してゼブラを表示する。 ZEBRA2: [ZEBRA2 LEVEL]で設定したレベル以上の映像レベルに対してゼブラを表示する。
	ZEBRA1 LEVEL 0%~109% (1)(70%)	ZEBRA1を表示するレベルを設定する。
	ZEBRA1 APERTURE LEVEL 2%~20% (2)(10%)	[ZEBRA1 LEVEL]で設定したレベルに対して、ゼブラを表示する範囲を設定する。
	ZEBRA2 LEVEL 0%~109% (1) (100%)	ZEBRA2を表示するレベルを設定する。
PEAKING (ピーキング)	ON/OFF OFF, ON	ピーキング表示を設定する。 ●拡大フォーカス(39ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。 ●記録した画像にピーキングは記録されません。
	COLOR WHITE, RED, YELLOW	ピーキングの色を選ぶ。
	LEVEL HIGH, MIDDLE, LOW	ピーキング感度を選ぶ。

DISPLAY SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
PHASE AF FRAMES (位相差AF枠表示)	OFF, ON	オートフォーカスで撮影時に[FOCUS AREA]で[WIDE]または[ZONE]を選んでいるとき、位相差AF枠を表示するかしないかを選ぶ。
PHASE DETECT. AF AREA (位相差AFエリア表示)	OFF, ON	オートフォーカスで撮影時に、位相差AFエリアを表示するかしないかを選ぶ。
MARKER (マーカー)	ON/OFF OFF, ON	マーカー表示を設定する。 複数の種類のマーカーを同時に表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> ●記録した画像にマーカーは記録されません。 ●マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしても、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。 ●[FOCUS MAGNIFIER]を使用中は、マーカーを表示できません。
	CENTER ON, OFF	 (センターマーカー)
	ASPECT OFF, 4:3, 13:9, 14:9, 15:9, 1.66:1, 1.85:1, 2.35:1	 (アスペクトマーカー)
	SAFETY ZONE OFF, 80%, 90%	 (セーフティーゾーン)
	GUIDEFRA ME OFF, ON	 (ガイドフレーム)
FOCUS MAG RATIO (拡大フォーカス倍率)	×4.0、×8.0、×4.0/×8.0	拡大フォーカスの倍率を設定する。 「×4.0/×8.0」を選択すると、ASSIGN4/ FOCUS MAGNIFIERボタンを押すたびに [×4.0] → [×8.0] → [OFF]の順に切り換 わります。

DISPLAY SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
CAMERA DATA DISPLAY (カメラデータ表示)	OFF, ON	<p>アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードの値を表示するかどうかを設定する。</p>  <p>The screenshot shows a camera's LCD display with the following information: 100% zoom, STBY mode, 00:04:50.04 time, 60min battery, AUDIO 1080/60i, and exposure settings F2.8, 0dB, 1/100. Below the screenshot, labels point to these settings: 'アイリス値' (Aperture value) points to F2.8, 'シャッタースピード値' (Shutter speed value) points to 1/100, and 'ISO値/ゲイン値' (ISO/Gain value) points to 0dB.</p>
AUDIO LEVEL DISPLAY (音声レベル表示)	ON, OFF	オーディオレベルメーターを表示するかどうかを設定する。
ZOOM DISPLAY (ズーム表示)	BAR, NUMBER	ズーム位置をバーと数値のどちらで表示するかを設定する。
FOCUS DISPLAY (フォーカス表示)	METER, FEET	フォーカス距離をメートルとフィートのどちらで表示するかを設定する。
SHUTTER DISPLAY (シャッター表示)	SECOND, DEGREE	<p>シャッター表示を秒と角度のどちらで表示するか設定する。</p> <p>本機がイメージセンサーから画像データを読み込む時間に等しいシャッタースピードを360°と定義します。この定義を元に角度は計算され、表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> DATA CODE機能が割り当てられたASSIGNボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定に関わらず秒表示となります。 360°より長いシャッタースピードの場合、360°の整数倍(360° x2など)で表示します。

DISPLAY SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
DATA CODE (日付/データ表示)	OFF、DATE/TIME、 CAMERA DATA	再生時に表示する情報を選ぶ。 OFF:表示しない。 DATE/TIME:日付時刻を表示する。 CAMERA DATA:カメラデータを表示する。
GAMMA DISP ASSIST (ガンマ表示アシスト)	ON/OFF ON、OFF TYPE AUTO、 S-LOG2 → 709(800%)、 S-LOG3 → 709(800%)、 HLG(BT.2020)、 HLG(709)	ピクチャープロファイルでS-LogやHLGを適用して撮影するときに、ファインダーや液晶モニターに表示される画像を通常の動画に近い画像に変換して表示するかを設定する(58ページ)。 ON/OFF:ガンマ表示アシストのオン/オフを切り換える。 TYPE:変換のしかたを設定する。 ●S-Log2/S-Log3を適用した動画は撮影後の編集を前提としているため、撮影時の画像は低コントラストとなり、モニタリングしにくくなります。また、HLG/HLG1/HLG2/HLG3を適用した動画も、HDRに対応していないファインダーや液晶モニターに表示すると低コントラストとなり、BT.2020のカラーモードで撮影した場合は色も薄く表示されます。 これに対し、[GAMMA DISP ASSIST]を適用すると、通常の動画に近いコントラストと色再現を本機のファインダーと液晶モニターで実現でき、モニタリングしやすくなります。 ●本機能が適用されるのは、ファインダーや液晶モニターに表示されるモニタリング画像または再生画像のみで、記録画像や出力画像には適用されません。
LCD BRIGHT (パネルの明るさ)	NORMAL、BRIGHT	液晶モニターの明るさを調節する。 ●録画される画像に影響はありません。
VF COLOR TEMP. (ファインダー色温度)	-2/-1/0/+1/+2(0)	ファインダーの色温度を設定する。 色温度が低いとファインダーは赤みを帯び、高いと青みを帯びます。

DISPLAY SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
DISPLAY OUTPUT (画面表示出力)	LCD PANEL、ALL OUTPUT	<p>タイムコードなどの画面表示の出力先を設定する。</p> <p>液晶モニターだけに出力するか、VIDEO OUT、SDI OUT、HDMI OUTの各端子と液晶モニターに出力するかを設定できます。ゼブラとピーキング、顔枠表示も出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしている場合、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。

TC/UB SETメニュー

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TC/UB DISPLAY (TC/UB表示)	TC、U-BIT	表示をタイムコードまたはユーザービットに切り換える。
TC PRESET	PRESET、RESET	タイムコードを設定する(59ページ)。
UB PRESET	PRESET、RESET	ユーザービットを設定する(60ページ)。
TC FORMAT	DF、NDF	<p>60iのときにタイムコードの記録方式を切り換える。50iのときは、[NDF]に固定される。</p> <p>DF:タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。</p> <p>NDF:タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 60iのときでも、[REC FORMAT]でフレームレートの値を24に設定すると[NDF]に固定されます。 ● ドロップフレームとは タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TC RUN	REC RUN, FREE RUN	<p>タイムコードの歩進を設定する。 REC RUN: 記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [REC RUN] モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - 録画フォーマットを切り換えたとき - メモリーカードを取り外したとき <p>FREE RUN: 本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。</p>
TC MAKE	PRESET, REGENERATE	<p>タイムコードの続けかたを設定する。 PRESET: 新たに設定したタイムコードをメモリーカードに記録する。 REGENERATE: メモリーカードに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [TC RUN] の設定に関係なく、タイムコードは [REC RUN] モードで歩進します。
UB TIME REC	OFF, ON	<p>時刻をユーザーピットコードとして記録するかどうかを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ON] のときは、下位2桁は00に固定されます。

NETWORK SETメニュー

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CTRL W/ SMARTPHONE (スマートフォン操作)		本機をスマートフォンで操作する(75ページ)。

メニュー一覧(つづき)

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
RTMP/RTMPS	PRESET SELECT PRESET1、 PRESET2、PRESET3 <hr/> PRESET1/PRESET2/ PRESET3 DISPLAY NAME SIZE 640x360、 1280x720 DESTINATION SET <hr/> RTMPS CERTIFICATE	RTMP/RTMPSの設定をする(87ページ)。
STREAMING (ストリーミング)	PRESET SELECT PRESET1、 PRESET2、PRESET3 <hr/> PRESET1/ PRESET2/ PRESET3 SIZE 640x360、 1280x720 DESTINATION SET	ストリーミングの設定をする(84ページ)。
USTREAM	USER INFO SET <hr/> SIZE 640x360、1280x720 <hr/> SERVER REC SET ON、OFF	USTREAMの設定をする(90ページ)。 配信動画をUSTREAMのサーバー側で記録 するかどうかを設定する。
NETWORK CLIENT MODE	CCM SET <hr/> CCM CERTIFICATE	ネットワーククライアントモードの設定をする(93ページ)。
WIRELESS TC LINK		「CBKZ-WTCL」(別売)をインストールした場合、スマートフォンを使ったタイムコード合わせを実行する(96ページ)。

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
FTP TRANSFER (FTP転送)	FTP SERVER SELECT FTP SERVER1、FTP SERVER2、FTP SERVER3	FTPサーバーを選択する(99ページ)。
	FTP SERVER1/FTP SERVER2/FTP SERVER3 DISPLAY NAME DESTINATION SET USER INFO SET	FTPサーバーを登録する(98ページ)。
	FTP RESULT	FTP転送結果を確認する(100ページ)。
	WIRED LAN SET (有線LAN設定)	IP ADDRESS SET
Wi-Fi SET (Wi-Fi設定)	FREQUENCY SET AUTO、2.4GHz、 5GHz	Wi-Fi接続に使用する周波数帯域を設定する (83ページ)。
	ACCESS POINT SET	<ul style="list-style-type: none"> ●アクセスポイントを選んで設定する(78ページ)。 ●WPS PIN方式を使ってアクセスポイントを登録する(80ページ)。 ●アクセスポイントを手動で登録する(81ページ)。
	WPS	WPS機能を使ってアクセスポイントを登録する(79ページ)。
	EDIT DEVICE NAME	機器名称を変更する(82ページ)。
	SSID/PW RESET	接続情報をリセットする。 [OK]を選択すると[CTRL W/ SMARTPHONE]を使用するために登録した 接続情報がリセットされます。 <ul style="list-style-type: none"> ●接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。
	DISP MAC ADDRESS	本機のMACアドレスを表示する。
AIRPLANE MODE (飛行機モード)	OFF、ON	飛行機モードをオン/オフする。 オンにすると、飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi機能を使用する設定を一時的にすべて無効にできます。

メニュー一覧(つづき)

NETWORK SET

メニュー項目	細目と設定値	内容
ROOT CERTIFICATE (ルート証明書)		ルート証明書を読み込む(101ページ)。
NETWORK RESET (ネットワークリセット)		ネットワークの各種設定をリセットする(102ページ)。

OTHERSメニュー

OTHERS

メニュー項目	細目と設定値	内容
STATUS CHECK		本機の設定を確認する(68ページ)。
CAMERA PROFILE (カメラプロフィール)	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B	カメラプロフィールの読み込み、保存、削除を行う。 <ul style="list-style-type: none">●カメラプロフィールは、メニュー、ピックアップファイル、ボタンなどの設定値をまとめて保存したものです。メモリーカードに99個まで保存できます。●60iと50iのカメラプロフィールには互換性はありません。●保存した設定はパソコンで編集できません。●パソコンでファイル名を変えたり、生成途中で電源を切ったりしたときは、ファイルが正しく見えない場合があります。●異なる型名の機種で保存したカメラプロフィールやパソコンなどで編集したカメラプロフィールは読み込めません。メモリーカードを初期化すると、保存したカメラプロフィールも削除されます。
S&Q BUTTON SETTING (S&Qボタン設定)	S&Q/SUPER SLOW, S&Q MOTION, SUPER SLOW MOTION	S&Q MOTIONが割り当てられたボタンの機能を設定する。 S&Q/SUPER SLOW: ボタンを押すたびに、スロー&クイックモーションモード → スーパースローモーションモード → 切、の順に切り換わる。 S&Q MOTION: スロー&クイックモーションモードにする。 SUPER SLOW MOTION: スーパースローモーションモードにする。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ASSIGN BUTTON (ASSIGNボタン登録)	ASSIGN1. ASSIGN2. ASSIGN3. ASSIGN4. ASSIGN5. ASSIGN6	ASSIGNボタンにお好みの機能を割り当てる (64ページ)。
CLOCK SET (日時合わせ)		日時を再設定する(24ページ)。
AREA SET (エリア設定)		海外で使用するとき、時差を設定する。 時計を止めることなく時差補正ができます
SUMMERTIME (サマータイム)	OFF, ON	サマータイムを使うかどうかを設定する。ON にすると、本機の時計が1時間進む。
LANGUAGE		表示言語を設定する。
DATE REC (日付記録)	OFF, ON	撮影時に日付と時刻を画像に直接記録するか どうかを設定する。 ●スキャン方式がインターレースのときのみ 設定できます。 ●ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時 刻の文字も信号の影響を受けますが、録画さ れる文字には影響ありません。
BEEP (操作音)	OFF, ON	撮影スタート/ストップの操作時や、警告表示 時などに操作音を出すかどうかを設定する。
REC LAMP (録画ランプ)	ON, OFF	撮影時に本体の録画ランプを点灯させるかど うかを設定する。
REMOTE CONTROL (リモコン)	ON, OFF	赤外線ワイヤレスリモコン(16ページ)を使 うかどうかを設定する。
60i/50i SEL (60i/50i切換)		本機を使用する地域のテレビ方式に合わせて 設定を選ぶ。 60i: NTSC 50i: PAL 設定を変更すると、本機が自動的に再起動し ます。
MEDIA FORMAT (メディア初期化)	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B	メモリーカードを初期化する(105ページ)。
REPAIR IMAGE DB FILE (管理ファイル修復)	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B	メモリーカードの管理ファイルを修復する (106ページ)。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
USB CONNECT (USB接続)		USBケーブルで他機と接続したときに、[USB CONNECT]画面が表示されない場合に使う。
USB LUN SET (USB LUN設定)	MULTI, SINGLE	USB接続の機能を制限して互換性を高める。 ●通常はMULTIのまま使用してください。どうしても接続できない場合のみ、[SINGLE]に設定してください。
OPERATION TIME (通電時間)		本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示する。
OPTION (オプション)	MPEG HD, WIRELESS TC LINK	別売オプションのインストール状態を確認する。また、オプションの購入後にインストールを開始する。 ●インストールの操作については、別売オプションのインストールガイドをご覧ください。
VERSION DISPLAY (バージョン表示)		カメラのバージョンを表示する。 ●本機のファームアップデートがリリースされたときなどに確認します。 ●アップデートを行う場合は、ACアダプターを使用してください。
CALIBRATION (キャリブレーション)		タッチパネルを調節する(172ページ)。
INITIALIZE (設定リセット)		日時を含めすべての設定を初期化する。 ●ピクチャープロフィールで設定した内容は初期化されません。

EDITメニュー

EDITメニューは、サムネイル画面や再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

EDIT

メニュー項目	細目と設定値	内容
PROTECT	—	ファイルを保護する(103ページ)。
DIVIDE	—	動画を分割する(103ページ)。
DELETE	—	動画を削除する(104ページ)。

PICTURE PROFILEメニュー

PICTURE PROFILEメニューは、ASSIGN3/PICTURE PROFILEボタンを押すと表示されます。

項目	細目	設定値	内容
BLACK LEVEL		-15~+15	黒レベルを設定する。

項目	細目	設定値	内容
GAMMA		STANDARD、 STILL、 CINE1、 CINE2、 CINE3、 CINE4、 ITU709、 ITU709(800%)、 S-LOG2、 S-LOG3、 HLG、HLG1、 HLG2、HLG3	ガンマカーブを選ぶ。 STANDARD: 動画用の標準ガンマカーブ。 STILL: 静止画撮影したようなガンマカーブ。 CINE1: 暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の諧調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする(HG4609G33相当)。 CINE2: [CINE1]とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する(HG4600G30相当)。 CINE3: [CINE1]より明部と暗部のコントラストを強め、かつ黒側の諧調変化をはっきりさせる。 CINE4: [CINE3]よりさらに暗部のコントラストを強める。[STANDARD]より暗部のコントラストは弱く、明部のコントラストは強い。 ITU709: ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン: 4.5。 ITU709(800%): [S-LOG2]、[S-LOG3]撮影前提のシーン確認用ガンマカーブ。 S-LOG2: [S-LOG2]のガンマカーブ。撮影後映像処理を前提とした設定。 S-LOG3: [S-LOG3]のガンマカーブ。撮影後映像処理を前提とした、よりフィルムに似た特性のガンマカーブ。 HLG: HDR撮影用のガンマカーブ。ITU-R BT.2100相当の設定。 HLG1: [HLG1]のHDR撮影用のガンマカーブ。ノイズ低減を優先したモード。ただし、撮影できるダイナミックレンジは[HLG2]、[HLG3]より狭くなる。 HLG2: [HLG2]のHDR撮影用のガンマカーブ。ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。 HLG3: [HLG3]のHDR撮影用のガンマカーブ。[HLG2]よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がる。

項目	細目	設定値	内容	
BLACK GAMMA	低輝度部のガンマ補正をする。 •[GAMMA]が[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]の場合、[BLACK GAMMA]は無効になります。			
	RANGE	HIGH、 MIDDLE、 LOW	補正範囲を選ぶ。	
	LEVEL	-7 (ブラック コンプレス最 大)~+7(ブ ラックス ト レッチ最大)	補正の強さを設定する。	
KNEE	MODE	AUTO、 MANUAL	モードを選ぶ。 AUTO:ニーポイント、ニース ロープを自動で設定する。 MANUAL:ニーポイント、ニ ースロープを手動で設定する。	
	AUTO SET	[AUTO]を選択した場合の設定		
		MAX POINT	90%~100%	MAX POINT:ニーポイントの 最大値を設定する。
		SENSITIVITY	HIGH、 MIDDLE、 LOW	SENSITIVITY:感度を設定す る。
	MANUAL SET	[MANUAL]を選択した場合の設定		
		POINT	75%~105%	POINT:ニーポイントを設定す る。
		SLOPE	-5 (傾きが小 さい)~+5(傾 きが大きい)	SLOPE:ニースロープの傾きを 設定する。 •+5に設定すると、[KNEE]は 無効になります。

項目	細目	設定値	内容
COLOR MODE		STANDARD、STILL、CINEMA、PRO、ITU709 MATRIX、B/W、S-GAMUT/3200K、S-GAMUT/4300K、S-GAMUT/5500K、S-GAMUT3、CINE/3200K、S-GAMUT3、CINE/4300K、S-GAMUT3、CINE/5500K、S-GAMUT3/3200K、S-GAMUT3/4300K、S-GAMUT3/5500K、BT.2020、709	<p>発色のタイプやレベルを設定する。</p> <p>STANDARD: [GAMMA]が [STANDARD]のときに適した色合い。</p> <p>STILL: [GAMMA]が [STILL]のときに適した色合い。</p> <p>CINEMA: [GAMMA]が [CINE1]のときに適した色合い。</p> <p>PRO: [GAMMA]が [ITU709]のときに自然な色合い。</p> <p>ITU709 MATRIX: ITU-709相当。</p> <p>B/W: 白黒。</p> <p>S-GAMUT (/3200K/4300K/5500K): [GAMMA]が [S-LOG2]のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。3種類の色温度との組み合わせを選択できる。</p> <p>S-GAMUT3.CINE (/3200K/4300K/5500K): [GAMMA]が [S-LOG3]のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。デジタルシネマの色域に調整しやすい色域での撮影が可能。3種類の色温度との組み合わせを選択できる。</p> <p>S-GAMUT3 (/3200K/4300K/5500K): [GAMMA]が [S-LOG3]のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。広い色域での撮影が可能。3種類の色温度との組み合わせを選択できる。</p> <p>BT.2020: [GAMMA]で [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3]を選択したときの標準的な色合い。</p> <p>709: [GAMMA]で [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3]を選択して、HDTV形式 (BT.709)の色で記録する場合の色合い。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記 [ITU709]とは異なります。 [GAMMA]が [HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]のいずれかに設定されているとき、[COLOR MODE]は [BT.2020]または [709]のみ選択可能です。

項目	細目	設定値	内容
SATURATION		-32 (薄くなる) ~ +32 (濃くなる)	色の濃さを設定する。
COLOR PHASE		-7 (緑がかかる) ~ +7 (赤みがかかる)	色相を設定する。
COLOR DEPTH	R	-7 (赤が浅くなる) ~ +7 (赤が深くなる)	色の深さを色相別に変更する。濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。
	G	-7 (緑が浅くなる) ~ +7 (緑が深くなる)	
	B	-7 (青が浅くなる) ~ +7 (青が深くなる)	
	C	-7 (シアンが浅くなる) ~ +7 (シアンが深くなる)	
	M	-7 (マゼンタが浅くなる) ~ +7 (マゼンタが深くなる)	
	Y	-7 (黄が浅くなる) ~ +7 (黄が深くなる)	

項目	細目	設定値	内容
COLOR CORRECTION	色補正を設定する。		
	<ul style="list-style-type: none"> 2つのメモリーを同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。 [COLOR CORRECTION]の設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に再度設定し直すことをおすすめします。 ホワイトバランス値、ピクチャープロファイルの[WB SHIFT]、[SATURATION]、[COLOR PHASE]の設定を変更すると、色設定や補正される色合いが変化します。 [COLOR CORRECTION]の設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、[COLOR CORRECTION]の設定を見直してください。 ホワイトバランスをオートに設定していると、被写体にあわせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。 		
	TYPE	OFF、 COLOR REVISION、 COLOR EXTRACT	<p>カラーコレクションタイプを選ぶ。</p> <p>OFF:カラーコレクションを行わない。</p> <p>COLOR REVISION:メモリーに設定されている色を補正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> メモリー以外の色([COLOR EXTRACT]の設定で白黒で表示される部分)は補正されません。 <p>COLOR EXTRACT:メモリー設定されている色のみカラーで表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の部分は白黒になります。エフェクトとして利用したり、メモリーに設定するときの確認をしたりするのに便利です。
	MEMORY SELECTION	1、2、1&2	<p>有効にするメモリーを選ぶ。</p> <p>1:メモリー1の設定のみ有効にする。</p> <p>2:メモリー2の設定のみ有効にする。</p> <p>1&2:メモリー1、2ともに有効にする。</p>

項目	細目	設定値	内容
COLOR CORRECTION	MEMORY1 COLOR	PHASE	0(紫)~8(赤)~16(黄)~24(緑)~31(青) メモリー1の色相を選ぶ。
		PHASE RANGE	0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)~31(広い:色相の近い他の色も選ぶ) メモリー1の色相の範囲を選ぶ。
		SATURATION	0(薄い色から濃い色まで選ぶ)~31(濃い色のみ選ぶ) メモリー1の彩度を選ぶ。
		ONE PUSH SET	— センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて [PHASE] を自動選択する。 [SATURATION] は0にリセットされる。
MEMORY1 REVISION		PHASE	-15~+15 メモリー1で選択した色の色相を補正する。 ●0の場合、補正されません。
		SATURATION	-15~+15 メモリー1で選択した色の彩度を補正する。 ●0の場合、補正されません。
MEMORY2 COLOR		—	メモリー2の色を設定する。設定項目や設定内容については、[MEMORY1 COLOR] を参照。
MEMORY2 REVISION		—	メモリー2の色を補正する。設定項目や設定内容については、[MEMORY1 REVISION] を参照。

メニュー一覧(つづき)

項目	細目	設定値	内容
WB SHIFT	ホワイトバランスシフトを設定する。 ●フィルターのタイプによって、調節できる項目が異なります。		
	FILTER TYPE	LB-CC、R-B	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。 LB-CC:フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) R-B:ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
	LB [COLOR TEMP]	-9 (青みがかかる)~+9 (赤みがかかる)	色温度変換の設定をする。
	CC [MG/GR]	-9 (緑がかかる)~+9 (マゼンタがかかる)	色補正の設定をする。
	R GAIN	-9 (Rのレベルが下がる)~+9 (Rのレベルが上がる)	Rのレベルを設定する。
	B GAIN	-9 (Bのレベルが下がる)~+9 (Bのレベルが上がる)	Bのレベルを設定する。
DETAIL	ディテールを設定する。		
	LEVEL	-7~+7	[DETAIL]の強さを設定する。

項目	細目	設定値	内容	
DETAIL	MANUAL SET	ON/OFF	ON, OFF	[DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 ONにすると、[DETAIL]の手動詳細設定を行う(自動最適化は行われぬ)。
	V/H BALANCE	-2(垂直(V)が強い)~+2(水平(H)が強い)		垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを設定する。
	B/W BALANCE	TYPE1(下側(B)が強い)~TYPE5(上側(W)が強い)		下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを選ぶ。
	LIMIT	0(リミットレベルが低い(リミットされやすい))~7(リミットレベルが高い(リミットされにくい))		DETAILのリミットレベルを設定する。
	CRISPENING	0(クリスプニングレベルが浅い)~7(クリスプニングレベルが深い)		クリスプニングレベルを設定する。
	HI-LIGHT DETAIL	0~4		高輝度部分のDETAILレベルを設定する。
COPY		—		他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。
RESET		—		ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

困ったときは

故障かな?と思ったら


困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 146 ~ 153 ページの項目をチェックし、本機を点検する。



② 電源を取り外し、約 1 分後再び取り付け、本機の電源を入れる。



③  (OTHERS)メニュー → INITIALIZE を選ぶ。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。



④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。


- 電源/画面/リモコンについて…146ページ
- メモリーカードについて…148ページ
- 撮影について…148ページ
- 再生について…151ページ
- テレビ接続について…152ページ
- コピー/編集/外部機器接続について…152ページ
- パソコン接続について…153ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(21ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(21ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
-  (OTHERS)メニュー → INITIALIZEを選ぶ。

本体が温くなる。

- ご使用中に本体が温かくなりますが故障ではありません。

バッテリーの充電中、POWER(電源)/CHG(充電)ランプが点灯しない。

- 電源を切る。
- バッテリーを正しく取り付け直す。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している。

バッテリーの充電中、POWER(電源)/CHG(充電)ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります。
- バッテリーを正しく取り付け直す。
- それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、相談窓口にお問い合わせください。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(21、170ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶モニターを開閉したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不十分なため、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(21、170ページ)。

パネルに格子状の点が見える。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整ダイヤルを画像がはっきり見えるように動かす(26ページ)。

タッチパネルを開いているのに液晶モニターに表示されない。

- アイセンサーが検出してファインダー表示になっている場合、液晶モニターには表示されません。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL]を[ON]にする(135ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- レンズフード(付属)を取り外す。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(16ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

メモリーカードについて

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(105ページ)。
- 設定されている記録方式によって、使用できるメモリーカードが異なります(27ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(169ページ)。

メモリーカードのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

メモリーカードの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(103ページ)。

他機で再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません。

撮影について

START/STOPボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する(66ページ)。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- メモリーカードの空き容量がない。新しいメモリーカードに変えるか、初期化する(105ページ)。または不要な画像を削除する(104ページ)。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(161ページ)。不要な画像を削除する(104ページ)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

ハンドルズームが動かない。

- ハンドルズームスピード切り換えスイッチを「FIX」または「VAR」にする(34ページ)。

撮影を止めてもアクセランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなる場合があります(160ページ)。

録画が止まる。

- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります。
- 拡大フォーカスの設定は保持されません。
- 電源が入ったままバッテリーやACアダプターを取り外した。電源を切り、アクセランプが消灯し電源が切れた事を確かめてから、外してください。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- AF/MFボタンを押して、フォーカスを自動調整にする(36ページ)。
- オートフォーカスが動きにくい状況のときは、手でピントを合わせる(36ページ)。

位相差AFの枠表示が消える

- 被写体の状況、お客様の設定によってコントラストAFに切り換えて動作させることがあり、故障ではありません。

手ブレ補正ができない。

- [STEADYSHOT]を[ACTIVE]または[STANDARD]にする。
- [STEADYSHOT]が[ACTIVE]または[STANDARD]になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

画像が正しく記録・再生できない。

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT]する。

故障かな？と思ったら(つづき)

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピードのすべてが手動設定のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]の[ON/OFF]	[FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[COLOR BAR]	動画撮影中 [FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき

メニュー項目の設定が変わっている。

- AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」の場合は、画質に関わる設定が自動で変わります。

アイリス、ISO感度/ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることもある。

- シャッタースピード(45ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーン現象と呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(45ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(45ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL]を「-」側に調節する(145ページ)。

タイムコードがつかない。

- [REC FORMAT]の設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOTを解除する(55ページ)。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOTを解除する(55ページ)。

[LCD BRIGHT]を調節できない。

- 次のとき、[LCD BRIGHT]は調節できません。
 - 液晶モニターを外側に向けて本体に収めている。
 - ACアダプターを使用している。

再生について

「メモリーカードについて」(148ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- THUMBNAIL画面上で再生したい画像が記録されているメモリーカードと画質を選択する(65ページ)。
- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- THUMBNAIL画面で再生したいサムネイルを2度タッチするか、再生したいサムネイルを選択して、▲/▼/▶/SETボタンを押す(65ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(169ページ)。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声が正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを接続または抜いた場合、音声が正しく記録されないことがあります。動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。
- [AUDIO REC LEVEL]を調節して音量を最低に絞ると、音声が記録されません。

音声が小さい。または聞こえない。

- 再生音量を大きくする(66ページ)。

故障かな？と思ったら(つづき)

[---]が表示される。

- [COLOR BAR]を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力できません。
- [OUTPUT SELECT]を[HDMI]に設定しないとHDMI端子から出力しません(70ページ)。

HDMIケーブルでテレビやプロジェクター、AVアンプにつないで再生するとき、映像や音声が出ない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。↔ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE]で映像信号出力形式を選択してください(122ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。故障ではありません。

コピー/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- [DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(130ページ)。

A/V接続ケーブル(別売)を使ってコピーができない。

- A/V接続ケーブル(別売)が正しくつながっていない。A/V接続ケーブル(別売)が他機の入力端子へつながっているか確認する。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってコピーができない。

- HDMIケーブルを使ってのコピーはできません。

分割できない。

- 次の動画は分割できません。
 - 極端に記録時間の短い動画
 - XAVC QFHD、XAVC HD、MPEG HDの動画
- プロテクトを解除してから分割する。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むにはソフトウェアのインストールが必要です(19ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶モニターまたはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(170ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- メモリーカードを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 146ページの②～④の手順をお試しください。

⊠(バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。

▲⊠(バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

⊠ ⊠ ⊠ (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、27ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(27ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(104ページ)、あらかじめ画像をパソコンなどに保存(バックアップ)してから、メモリーカードを初期化する(105ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(106ページ)。

⊠ ⊠ ⊠ (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(105ページ)。

⊠ ⊠ ⊠ (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(27ページ)。

⊠ ⊠ ⊠ ⊠ (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- メモリーカードの誤消去防止スイッチがロック位置にある。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、操作音が鳴ります(135ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

メモリーカード

Inconsistencies found in image database file. Do you want to repair the image database file?

Inconsistencies found in image database file. Cannot record or play HD movies. Do you want to repair the image database file?

- 管理ファイルが破損しているので、動画撮影ができません。[OK]をタッチして修復する。

Inconsistencies found in the image database file. Back up and recover. Recover, then import using the included PC software.

- 動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。[OK]をタッチすると動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。修復したあとソフトウェアをインストールしたパソコンを本機につなぐと、バックアップされた動画をパソコンに取り込むことができます。ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

Buffer overflow. Writing to the media was not completed in time.



- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、[Empty]を行いメモリーカードを完全に消去する(105ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(27ページ)。

Recovering data.



- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

Cannot recover data.

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

  Reinsert the memory card.

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

  Cannot recognize this memory card. Format and use again.

- メモリーカードを本機でフォーマットする(105ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

This memory card may not be able to record or play movies.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(27ページ)。

This memory card may not be able to record or play images correctly.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(27ページ)。
- ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

Do not eject the memory card during writing. Data may be damaged.

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

その他

Maximum number of images already selected.

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
 - 画像の削除
 - 画像のプロテクト、解除


Protected file. Cannot delete.

- プロテクトされた動画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

エラーメッセージ


FTP転送時やストリーミング配信接続時、ワイヤレス TC LINK接続時にトラブルが発生した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示に合わせて対処を試みてください。

No registered access point.

アクセスポイントが登録されていません。 (NETWORK SET)メニューの [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET] からアクセスポイントを登録してください。

Cannot find connectable access point.

Set the access point setting.

アクセスポイントを発見できません。 (NETWORK SET)メニューの [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET] からアクセスポイントの設定を確認してください。

Connection to the access point failed.

Please input your password again.

アクセスポイントに接続できません。アクセスポイントのパスワードを入力し直してください。

Connection with an access point disconnected.

Check the connection condition.


アクセスポイントへの接続が切断されました。接続状況を確認してください。


No response from the access point.

アクセスポイントが反応していません。アクセスポイントとの接続を確認してください。

Failed to acquire an IP address.

Change the IP address setting.

IPアドレスを取得できません。無線LANでネットワークに接続している場合は、 (NETWORK SET)メニューの [Wi-Fi SET] → [ACCESS POINT SET] からIPアドレスを手動で設定してください。

有線LANで接続している場合は、 (NETWORK SET)メニューの [WIRED LAN SET]からIPアドレスを手動で設定してください。

**Failed to acquire an IP address.
Check the DNS server setting.**

IPアドレスを取得できません。DNSサーバーの設定を確認してください。

Network error occurred.

Wi-Fi通信に障害が発生しています。

Check the USB device connection.

USB機器の接続を確認してください。

Cannot use this USB device.

正しいUSB機器を接続してください。

Check the LAN cable connection.

ネットワークに接続できません。LANケーブルの接続を確認してください。

Failed to connect to an FTP server.

Check the FTP server settings.

登録したFTPサーバーの設定を確認してください。

Failed to connect to an FTP server.

FTPサーバーが見つからないなどの理由で、FTPサーバーへの接続に失敗しました。

Cannot authenticate with WEP.

The password is wrong or the automatic acquisition of an IP address has failed.

パスワード(WEPキー)を確認してください。またはアクセスポイントのDHCP設定を確認してください。

**Cannot authenticate with WEP.
The password is wrong or the IP address setting is wrong.**

パスワード(WEPキー)を確認してください。または本機のIP Address設定を確認してください。

Cannot execute functions.

本機を再起動してください。それでも解決しない場合はサービス窓口に連絡してください。


Failed to connect to the Ustream server.

Check the “CLOCK SET”.

本機の時計を正しい日時に合わせてください。

Failed to connect to the CCM.

Check the “CCM SET”.

 (NETWORK SET)メニュー → [NETWORK CLIENT MODE]の [CCM SET]を確認してください。

Failed to acquire an IP address.

Check the DNS server setting or the “CCM SET”.

CCMのホスト名が正しいか確認してください。または本機とアクセスポイントのDNS設定を確認してください。

Failed to connect to the CCM.

Check “CCM SET” or the settings of the connection destination.

本機のCCM設定と接続先のユーザー名、パスワード、ポート番号などの設定を確認してください。またはネットワークの接続状況を確認してください。

Failed to connect to the CCM. Check the "CLOCK SET".

本機の時計を正しい日時に合わせてください。

Failed to connect to the CCM.

本機の設定およびCCMの状況を確認してください。

Ustream error occurred.

再配信をしてみてください。または USTREAMサービスの状況を確認してください。

(<http://www.ustream.tv/>)

User name or the password is invalid.

ユーザー名とパスワードの少なくとも一方が間違っている可能性があります。ユーザー名とパスワードを確認して正しい値を設定してください。


The server rejected the request.

再配信をしてみてください。または USTREAMサービスの状況を確認してください。

(<http://www.ustream.tv/>)

Authentication information is invalid.

Check the user name and password.

 (NETWORK SET)メニュー → [USTREAM]の[USER INFO SET]を確認してください。

An invalid channel has been specified.

チャンネルを指定し直して再配信してください。

Connection to the server terminated.

Check the communication environment.

安定した通信環境で、再度接続してください。

There is a possibility that the movie was not saved correctly on the server.

サーバーに映像が保存されているかどうか確認してください。

Not enough stream time. Could not be saved to the server.

配信時間を長めにとってください。

Could not verify the certificate. Continue connection?

ルート証明書を手入して読み込んでください。

ルート証明書の読み込み方法については101ページをご覧ください。

また、本機の時計設定が正しい日になっているか確認してください。

Connection to the FTP server disconnected.

FTPサーバーへの接続が切断されました。

Not enough memory space in the FTP server.

FTPサーバーの容量不足でファイルを転送できません。


Cannot upload to the FTP server.

FTPサーバーへの接続は成功しましたが、ファイルを転送できませんでした。転送先のディレクトリー設定または、FTPサーバー側の設定を確認してください。

Unable to access the media.

メモリーカードを読み込めません。メモリーカードが破損している可能性があります。

Could not connect to the server.**Check “DESTINATION SET”.**

 (NETWORK SET)メニュー→ [RTMP/RTMPS]の[DESTINATION SET]の設定を確認してください。

Closes the function since an error occurred.

エラーが発生したため、機能が終了されました。

記録時間について

(単位:分)

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

満充電からのおよその時間です。

撮影可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FV70A	140	70

⚠️注意

- 録画フォーマット
XAVC QFHD 2160/30p 60Mbps
- ECM-XM1マイクをINPUT1端子に接続して使用したとき
- XLRマイクを使用し、[LCD BRIGHT]が[NORMAL]のとき
- メモリーカード使用時
- 液晶モニター使用時
- 実撮影時とは、撮影スタート/ストップ、電源ON/OFFなどを繰り返したときの撮影時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。10℃～30℃の環境で使用するをおすすめします。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。

再生可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	
NP-FV70A	265

撮影可能時間の目安

MPEG HDで記録するには、「CBKZ-SLMP」(別売)が必要です(42ページ)。

XAVC QFHD

4K(QFHD)	2160	
	60Mbps	100Mbps
64GB	100 (100)	65 (65)

4K(QFHD)+ PROXY(9M)	2160	
	60Mbps	100Mbps
64GB	85 (85)	55 (55)

4K(QFHD)+ PROXY(3M)	2160	
	60Mbps	100Mbps
64GB	95 (95)	60 (60)

XAVC HD

XAVC	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	120 (120)	170 (170)	220 (220)	120 (120)

XAVC+ PROXY (9M)	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	100 (100)	135 (135)	160 (160)	100 (100)

XAVC+ PROXY (3M)	1080			720
	50Mbps	35Mbps	25Mbps	50Mbps
64GB	110 (110)	155 (155)	195 (195)	110 (110)

MPEG HD 422

MPEG HD 422	1080	720
	50Mbps	50Mbps
64GB	110 (110)	110 (110)

MPEG +PROXY (9M)	1080	720
	50Mbps	50Mbps
64GB	95 (95)	95 (95)

MPEG +PROXY (3M)	1080	720
	50Mbps	50Mbps
64GB	105 (105)	100 (100)

MPEG HD 420

MPEG HD 422	1080	1080 (1440)	720
	35Mbps	35Mbps	35Mbps
64GB	175 (175)	175 (175)	170 (170)

MPEG + PROXY (9M)	1080	1080 (1440)	720
	35Mbps	35Mbps	35Mbps
64GB	140 (140)	140 (140)	135 (135)

MPEG + PROXY (3M)	1080	1080 (1440)	720
	35Mbps	35Mbps	35Mbps
64GB	160 (160)	160 (160)	155 (155)

AVCHD

■ [AVCHD AUDIO FORMAT]の設定が[LINER PCM]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	70 (70)	80 (80)	110 (110)	180 (140)	285 (250)
32GB	140 (140)	165 (165)	220 (220)	370 (290)	585 (505)

	PS	FX	FH	HQ	LP
64GB	290 (290)	335 (335)	450 (450)	750 (585)	1185 (1020)

■ [AVCHD AUDIO FORMAT]の設定が[DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	75 (75)	85 (85)	120 (120)	215 (160)	375 (305)
32GB	150 (150)	175 (175)	245 (245)	435 (330)	765 (620)
64GB	305 (305)	360 (360)	495 (495)	880 (665)	1540 (1255)

- ソニー製メモリーカード使用時。
- ()内は最低録画時間です。

◎ ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や被写体の状態、[REC SET] (119ページ)によっても変わります。

💡 ちょっと一言

- 撮影可能シーン数は、XAVC HD/QFHD、MPEG HDで最大600個、AVCHDで最大3,999個です。
- 連続撮影時間は、XAVC HD/QFHD、MPEG HDで約6時間、AVCHDで約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR (Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。
- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は以下のとおりです。
 - XAVC QFHD
100Mbps 3,840×2,160画素/16:9
60Mbps 3,840×2,160画素/16:9
 - XAVC HD
50Mbps 1,920×1,080画素/16:9

記録時間について(つづき)

- 35Mbps 1,920×1,080画素/16:9
- 25Mbps 1,920×1,080画素/16:9
- 50Mbps 1,280×720画素/16:9
- MPEG HD 422
 - 50Mbps、1,920×1,080画素/16:9
 - 50Mbps、1,280×720画素/16:9
- MPEG HD 420
 - HQ:最大35Mbps 1,920×1,080画素/16:9
 - HQ:最大35Mbps 1,440×1,080画素/16:9
 - HQ:最大35Mbps 1,280×720画素/16:9
- AVCHD
 - PS:最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
 - FX:最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9
 - FH:約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/16:9
 - HQ:約9Mbps(平均) 1,280×720画素/16:9
 - LP:約5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9

記録時の機能制限について

ストリーミングON時の制約については86ページをご覧ください。

記録方式ごとの制約

○:使用できる ×:使用できない

機能	XAVC QFHD	XAVC HD	MPEG HD	AVCHD
リレー記録(RELAY REC)(32ページ)	○	○	○	○
同時記録(SIMULTANEOUS REC)(33ページ)	○	○	○	○
顔検出(FACE DETECTION)(40ページ)	○	○	○	○
プロキシ記録(PROXY REC MODE)(43ページ)	○*	○	○	×
リレー記録+プロキシ記録	○ (60Mbpsのみ)	○	○	×
同時記録+プロキシ記録	○ (60Mbpsのみ)	○	○	×
ハイフレームレートのスローモーション(61ページ)	×	○	×	×
スロー&クイックモーション(S&Q MOTION)(60ページ)	○	○	○	○
スーパースローモーション(SUPER SLOW MOTION)(61ページ)	×	○	○	○
ストリーミング(STREAMING)(84ページ)	○ (60Mbpsのみ)	○	○	○
RTMP/RTMPS配信(87ページ)	×	○	○	○
USTREAM動画配信(USTREAM)(90ページ)	×	○	○	○
ネットワーククライアントモード(93ページ)	×	○	○	○
カラーバー(COLOR BAR)(118ページ)	×	○ (プロキシ記録がOFFのときのみ)	○ (プロキシ記録がOFFのときのみ)	○
日付記録(DATE REC)(135ページ)	×	○ (インタレース記録時)	○ (インタレース記録時)	○ (インタレース記録時)

* [REC FORMAT]が100Mbpsの場合は同時記録がOFFのとき。

記録時の機能制限について(つづき)

スロー&クイックモーションおよびスーパースローモーション撮影時の制約

○:使用できる ×:使用できない

機能	スロー&クイックモーション	ハイフレームレートスローモーション	スーパースローモーション
顔認識 (FACE DETECTION)	×	×	×
ロックオンAF (LOCK-ON AF)	○	×	×
カラーバー (COLOR BAR)	×	×	×
ストリーミング (STREAMING)	×	×	×
RTMP/RTMPS	×	×	×
ネットワーククライアントモード	×	×	×
USTREAM	×	×	×
日付記録 (DATE REC)	×	×	×
同時記録/リレー記録 (SIMULTANEOUS REC/RELAY REC)	×	×	×
プロキシ記録 (PROXY REC MODE)	×	×	×
Wi-Fiリモコン	×	×	×
オートモードでの撮影	×	×	×
ヒストグラム表示 (HISTOGRAM)	○	○	×
ピーキング表示 (PEAKING)	○	○	○
ゼブラ表示 (ZEBRA)	○	○	○
ホワイトバランス調整 (WB SET)	○	○	×
クリアイメージズーム	○	×	×
自動逆光補正	○	×	×
音声記録	×	×	×
シャッタースピードの自動調整	×	×	×
手ブレ補正	○	○	○
デジタルエクステンダー (D. EXTENDER)	○	×	×

ストリーミング/RTMP/RTMPS/ ネットワーククライアントモード/ USTREAM 対応フォーマット

⚠️注意

- オリジナルファイルがQFHDでビットレートが60Mbpsの場合は、ストリーミングのみサポートしません。
- 以下の場合は、プロキシ記録できません。
 - オリジナルファイルがQFHDでビットレートが100Mbpsの場合
 - AVCHDでかつ、オリジナルファイルのフレームレートが60/50の場合

ストリーミング、RTMP/RTMPS、USTREAM

オリジナルファイル		ストリーミングデータ			
画サイズ		1,280×720		640×360	
- フレームレート (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p
	ビットレート (Mbps)	3	3	1	1
24p	-		○		○
24p以外		○		○	

ネットワーククライアントモード

オリジナルファイル		ストリーミングデータ						
画サイズ		1,280×720		640×360		480×270		
- フレームレート (fps)		30(25)p	24p	30(25)p	24p	30(25)p	24p	
	ビットレート (Mbps)	Max	6	6	3	3	1	1
		Min*	4	4	1	1	0.5	0.5
24p	-			○		○		○
24p以外			○		○		○	

* この値はCCMの設定値の範囲です。実際の値は、ネットワーク環境によりこの値よりも下になる場合があります。

プロキシ記録対応フォーマット

📌 ご注意

- 以下の3つを同時に選択した場合は、プロキシ記録できません。
 - 記録モード: XAVC QFHD
 - 録画フォーマット[ビットレート]: 100Mbps
 - 同時記録/リレー記録: ON
- 以下の場合は、プロキシ記録できません。
 - [QFHD REC OUTPUT]を[EXTERNAL OUTPUT]に設定したとき
 - AVCHDの場合

オリジナルファイル		プロキシファイル			
画サイズ		1,280×720		640×360	
－ フレームレート (fps)		オリジナルファイルのフレームレートと同じ	30(25)p	オリジナルファイルのフレームレートと同じ	30(25)p
	ビットレート (Mbps)	9	9	3	3
60i (50i)	－		○		○
60i (50i)以外		○		○	




海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。ACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50Hz/60Hz）で使えます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因になることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

テレビで見るとは

本機で撮影した動画をテレビで見るとは、あらかじめ[60i/50i SEL]をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。[60i]、[50i]それぞれの設定で見られる国と地域は下記の通りです。

[60i/50i SEL]を[60i]に設定すると見られる国と地域

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ベルー、ボリビア、ホ

ンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

[60i/50i SEL]を[50i]に設定すると見られる国と地域

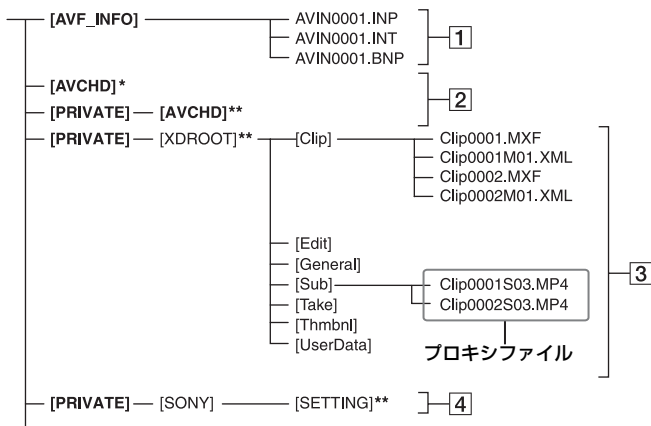
アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

時差補正機能について

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（135ページ）。

メモリーカードのファイル/フォルダ構成

本機のメモリーカード上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* “メモリースティック PRO デュオ”

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 AVCHD 動画管理情報フォルダ

AVCHDの動画用の記録データが保存されます。

3 XAVC/MPEG 動画管理情報フォルダ

XAVC/MPEGの動画用記録データが保存されます。

ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。

4 カメラプロファイル

カメラプロファイルのデータが保存されます。

● パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

● パソコンから本機のメモリーカード上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。

● 画像ファイルを削除するときは、104ページの手順で行ってください。パソコンから本機のメモリーカード内の画像ファイルを削除しないでください。

● パソコンから本機のメモリーカードをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。

● パソコンから本機のメモリーカードにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。

● メモリーカードのデータをパソコンに取り込むには、ソフトウェア「Catalyst Browse」をご使用ください。

● 「Catalyst Browse」を使用しないと、ファイルが正しく取り込まれない場合がありますのでご注意ください。

● NLE(Non-Linear Editing)の使用に関しては各メーカーにお問い合わせください。

使用上のご注意とお手入れ

XAVC規格について

本機での記録・再生について

本機ではXAVC規格に基づき、4K (QFHD)とHD高画質記録ができます。圧縮形式はLong GOP形式です。

映像*: MPEG-4AVC/H.264

[60iのとき]

3840×2160/30p、3840×2160/24p、
1920×1080/60p、1920×1080/60i、
1920×1080/30p、1920×1080/24p、
1280×720/60p

[50iのとき]

3840×2160/25p、1920×1080/50p、
1920×1080/50i、1920×1080/25p、
1280×720/50p

音声: LPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

* 本機は上記以外のXAVC規格で記録されたデータの再生には対応していません。

MPEG規格について

MPEG HD記録機能を使うには、「CBKZ-SLMP」(別売)が必要です(42ページ)。

本機での記録・再生について

圧縮形式はLong GOP形式です。

映像*: MPEG-2 MP@HL

[60iのとき]

1920×1080/60i、1920×1080/30p、
1920×1080/24p、1440×1080/60i、
1280×720/60p

[50iのとき]

1920×1080/50i、1920×1080/25p、
1440×1080/50i、1280×720/50p

映像*: MPEG-2 422P@HL

[60iのとき]

1920×1080/60i、1920×1080/30p、
1920×1080/24p、1280×720/60p

[50iのとき]

1920×1080/50i、1920×1080/25p、
1280×720/50p

音声: LPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

* 本機は上記以外のMPEG規格で記録されたデータの再生には対応していません。

AVCHD規格について

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD(ハイビジョン)記録ができます。

映像*: MPEG-4AVC/H.264

[60iのとき]

1920×1080/60p、1920×1080/60i、
1920×1080/30p、1920×1080/24p、
1440×1080/60i、1280×720/60p

[50iのとき]

1920×1080/50p、1920×1080/50i、
1920×1080/25p、1440×1080/50i、
1280×720/50p

音声: ドルビーデジタル 2ch、LPCM 2ch
記録メディア: メモリーカード

* 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります。故障ではありません。

メモリーカードについて

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

- 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体にラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外はいれしないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

使用できるメモリーカードについて

メモリースティックPROデュオ、または標準の大きさのSDカードが使えます。

- 使用可能なメモリーカードの最新情報につきましてはホームページをご確認ください(<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>)。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、105ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォー

マットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。


- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ”(マジックゲート対応)	—
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○

- 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、メモリースティックPROデュオと同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Vシリーズ)の高容量バッテリーNP-FV70Aがお使いいただけます。“インフォリチウム”バッテリーVシリーズにはInfoLITHIUM  マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

“インフォリチウム”バッテリーは、本機やACアダプターとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

充電について






- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、本機のCHGランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめに電源を切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前のために撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- 液晶モニターの残量表示マークと%表示で確認してください。

残量表示マーク	%表示
	81%～100%
	51%～80%
	21%～50%
	1%～20%
	—

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。また、上記環境下で使用した場合は安全のため、警告が表示され本機がシャットダウンする場合があります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ほこりの多い場所
砂がかかるので故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
液晶モニターやファインダー内部を傷めます。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起りやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起りにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ


液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとうコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

■ タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源はACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

- ① MENU ボタンを押す → ▲/▼/▶/◀ SET ボタンで、 (OTHERS)メニュー → [CALIBRATION] を選択する。
- ② メモリーカードの角のような先の細いものを使って画面に表示される×マークを3回タッチする。



④ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶モニターを傷つける場合があります。
- 液晶モニターを反転させているときや、反転したまま本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

■ 有機ELパネルの表示について

一般に、有機ELパネルは、その特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながらない、またはバッテリーを入れないまま**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機をACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、本機の電源を切って24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[MEDIA FORMAT]や[DELETE]では、メモリーカード内のデータは完全に消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。カードアダプターの使用は動作保証していません。

主な仕様

一般

電源電圧	DC8.4 V(ACアダプター使用時) DC7.4 V(バッテリーパック使用時)
消費電力	ファインダー使用中: 約6.5W 液晶モニター使用時、明るさ標準で録画中: 約6.9W
動作温度	0°C~40°C
保存温度	-20°C~+60°C
本体外形寸法(突起部含む)	約121.0mm×104.0mm×274.5mm(突起物、レンズフード、大型アイカップ、バッテリー(NP-FV70A)を含む。グリップベルトを含まず)(幅×高さ×奥行き) 約130.0mm×181.5mm×287.0mm(突起物、レンズフード、大型アイカップ、バッテリー(NP-FV70A)、XLRハンドルユニットを含む。グリップベルトを含まず)(幅×高さ×奥行き)
撮影時外形寸法(突起部含む)	約130.0mm×181.5mm×287.0mm
本体質量	約1020 g(レンズフード、大型アイカップを含む)
撮影時総質量	約1390 g(レンズフード、大型アイカップ、バッテリー(NP-FV70A)、XLRハンドルユニットを含む)

システム

信号方式	[60i]のとき NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i、1080/60p、720/60p方式
------	-----------------------------------------------------------------

[50i]のとき

PALカラー、CCIR標準方式
HDTV 1080/50i、1080/50p、720/50p方式

ビデオ記録方式

XAVC QFHD: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:0 Long profile
XAVC HD: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:2 Long profile
XAVC Proxy: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:0 Long profile
MPEG HD422: MPEG-2 422P@HL 4:2:2 Long profile
MPEG HD420: MPEG-2 MP@HL 4:2:0 Long profile
MPEG HD Proxy: MPEG-4 AVC/H.264 4:2:0 Long profile
AVCHD : MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD 2.0準拠

音声記録方式

XAVC QFHD: Linear PCM 2ch、24bit、48kHz
XAVC HD : Linear PCM 2ch、24bit、48kHz
XAVC Proxy: AAC-LC 2ch、16bit、48kHz
MPEG HD422: Linear PCM 2ch、24bit、48kHz
MPEG HD420: Linear PCM 2ch、16bit、48kHz
MPEG HD Proxy : AAC-LC 2ch、16bit、48kHz
AVCHD: Linear PCM 2ch、16bit、48kHz / Dolby Digital 2ch、16bit、48kHz

記録メディア(動画)

メモリスティック Proデ
オ™ およびSDカード

カメラ部

撮像素子 1.0型Exmor RS™ CMOSセ
ンサー
総画素数:約2100万画素
動画時有効画素数(16:9モー
ド):約1420万画素

色温度切り換え

Preset (屋内:3200K、
屋外:5600K±7 steps、
色温度:2300-15000K)、
ワンプッシュ A、B、オート切
り換え可能

最低被写体照度

[60i] 選択時:
1.7ルクス(LOW LUXモード
オン時、シャッタースピード
1/30秒、ゲイン33dB)
[50i] 選択時:
1.7ルクス(LOW LUXモード
オン時、シャッタースピード
1/25秒、ゲイン33dB)

レンズ

レンズマウント

固定式

ズーム比 12(optical)、servo

焦点距離 9.3~111.6mm
(35 mm換算(16:9)
29.0~348.0mm)
(35 mm換算(3:2)
32.8~393.6mm)

絞り F2.8~F4.5
(自動/手動切り換え可能)

フォーカス範囲

自動/手動切り換え可能
10 mm~∞(広角端)
1000 mm~∞(望遠端)

手ブレ補正 On/Off可能、シフトレンズ方
式
フィルター径
M62 mm

ワイヤレスLAN

対応規格 IEEE 802.11a/b/g/n/ac
使用周波数帯
2.4GHz帯/5GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/
WPA2-PSK
NFCフォーラム Type 3 Tag
準拠

入/出力端子

VIDEO OUT端子

マルチ/マイクロUSB端子
(x1)
Composite1.0 Vp-p、75 Ω

AUDIO OUT端子

マルチ/マイクロUSB端子
(x1)

HDMI OUT端子

Type A(x1)

SDI端子 BNCジャック(x1)

USB端子 マルチ/マイクロUSB端子
(x1)

🔊(ヘッドホン)端子

ステレオミニジャック
(Φ3.5mm)(x1)

INPUT1/INPUT2端子

XLR-type 3-pin(female)
(x2)
line/mic/mic +48 V切り換
え可能

MIC端子(PLUG IN POWER)

ステレオミニジャック
(Φ3.5mm)(x1)

マルチインターフェースシュー(x1)

主な仕様(つづき)

REMOTE端子

ステレオミニジャック
(Φ2.5mm)(x1)

画面

液晶モニター 8.8 cm(3.5型)

約1.56Mドット

ファインダー 1.0 cm(0.39型)OLED

約2.36Mドット

リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70A

定格電圧 DC 7.3 V

ACアダプター

電源 AC 100 V - 240 V、
50 Hz/60 Hz

消費電力 18 W

定格出力 DC 8.4 V*1

動作温度 0 °C~40 °C

保存温度 -20 °C~+60 °C

外形寸法 約48 mm×29 mm×
81 mm

(最大突起部をのぞく)
幅×高さ×奥行き

質量(本体のみ)

約170 g

*1 その他の仕様は、ACアダプター/チャージャーのラベルをご覧ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、ソリッドステートメモリーカムコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このソリッドステートメモリーカムコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にし、て故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はソリッドステートメモリーカムコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

アイリス.....	44
アイリスリング.....	44
アクセサリースュー.....	23
アクセスポイント.....	78
アフターサービス.....	177
インフォリチウムバッテリー.....	170
液晶モニター.....	26
エラーメッセージ.....	156
大型アイカップ.....	26
オートモード.....	54
屋外.....	47
屋内.....	47
お知らせメッセージ.....	155
主な仕様.....	174
音量.....	66

カ行

海外で使う.....	167
顔検出.....	40
拡大フォーカス.....	39
画面表示.....	17, 67
管理ファイル.....	106
機能制限.....	163
記録時間.....	160
記録方式	
制約.....	163
警告表示.....	154
ゲイン.....	45
結露.....	172
広角.....	34
故障かな?と思ったら.....	146
コンセント.....	22

サ行

再生.....	65
削除.....	104
撮影.....	30
撮影可能時間.....	160
自己診断表示.....	154
シャッタースピード.....	45

充電時間.....	22
出力信号のフォーマット.....	71
準備.....	19
商標.....	181
初期化.....	105
スーパースローモーション.....	164
ズーム.....	34
ズームレバー.....	34
ステータスチェック.....	68
ストリーミング.....	84, 87
対応フォーマット.....	165
スポットフォーカス.....	40
スマートフォン.....	75
スロー&クイックモーション.....	60
制約.....	164
接続	
テレビやモニターに.....	69

タ行

ダイレクトメニュー.....	49
データコード.....	67
テレビ.....	69
電源コード.....	21
同時記録.....	33
ドロップフレーム.....	130

ナ行

内蔵充電式電池.....	173
ネットワーク機能.....	75

ハ行

バッテリー.....	21
ハンドルズーム.....	34
ハンドルズームレバー.....	34
ハンドル録画ボタン.....	33
ピクチャープロファイル.....	55
日付時刻.....	18, 25
日付時刻合わせ.....	24
ファインダー.....	26
視度調整ダイヤル.....	26

フォーカス.....	36
フォーカスリング.....	36
付属品.....	19
プロキシ記録	
対応フォーマット.....	166
プロテクト.....	103
分割.....	103
望遠.....	34
保証書.....	177
ボタン電池.....	16
ホワイトバランス.....	47

マ行

マイク	
内蔵.....	51
マルチインターフェース	
シュー.....	53
マルチインターフェース	
シュー.....	8
マルチ/マイクロ USB端子.....	8
無線LAN.....	78
メニュー.....	107
一覧.....	108
AUDIO SET.....	124
CAMERA SET.....	110
DISPLAY SET.....	126
EDIT.....	137
NETWORK SET.....	131
OTHERS.....	134
REC/OUT SET.....	119
TC/UB SET.....	130
メモリーカード	
入れる/取り出す.....	29
ご注意.....	169
初期化.....	105
ファイル/フォルダ構成.....	168
本機で使える.....	27
“メモリースティック”.....	27, 170
“メモリースティック PRO	
デュオ”.....	170

ヤ行

有線LAN.....83

ラ行

ラストシーンレビュー.....63

リチャージャブルバッテリー
パック.....バッテリーへ

リモコン.....16

リレー記録.....32

ルート証明書.....101

レンズ.....12, 173

録画.....30

録画フォーマット.....42

録画ランプ.....135

A

ACアダプター.....19

AE SHIFT.....150

AGC LIMIT.....110

AIRPLANE MODE.....133

AREA SET.....135

ASPECT.....127

ASSIGN BUTTON.....135

ASSIGNボタン.....64

AUDIO LEVEL DISPLAY
.....128

AUDIO SETメニュー.....124

AUTO BACK LIGHT.....117

AUTO MODE SET.....117

AUTO/MANUAL

スイッチ.....54

AVCHD.....169

AVCHD AUDIO FORMAT
.....124**B**

BEEP.....135

C

CALIBRATION.....172

CAMERA DATA DISPLAY
.....128

CAMERA PROFILE.....134

CAMERA SETメニュー
.....110

CENTER.....127

CHGランプ.....21

CLOCK SET.....24

COLOR BAR.....150

Content Browser Mobile
.....75CTRL W/SMARTPHONE
.....131**D**

DATE REC.....135

DELETE.....104

DISPLAY OUTPUT.....130

DISPLAY SETメニュー
.....126

DISPLAYボタン.....67

DIVIDE.....103

DOWN CONVERT TYPE
.....122**E**

EDITメニュー.....137

F

FACE DETECTION.....40

FOCUS DISPLAY.....128

FOCUS MAG RATIO
.....127FOCUS MAGNIFIER
ボタン.....39

FTP.....98

FTP TRANSFER.....133

G

GUIDEFRAAME.....127

H

HISTOGRAM.....126

I

INDOOR.....47

InfoLITHIUM/バッテリー
.....170

INITIALIZE.....136

IRISボタン.....44

ISO/GAINボタン.....45

L

LANGUAGE.....135

LCD BRIGHT.....129

LOW LUX.....55

M

MANU WB TEMP.....47

MARKER.....150

MEDIA FORMAT.....105

MENUボタン.....107

MIC+48V.....51

N

NDフィルタースイッチ.....46

NETWORK RESET.....134

NETWORK SETメニュー
.....131

NFC.....76

O

OPERATION TIME.....136

OTHERSメニュー.....134

OUTDOOR.....47

P

PEAKING.....150

PICTURE PROFILE.....55

PROTECT.....103

R

REC BUTTON SET.....33

REC LAMP[F].....135

REC SET.....119

REC/OUT SETメニュー
.....119

REMOTE CONTROL...135

索引(つづき)

REPAIR IMAGE DB FILE
.....106
ROOT CERTIFICATE
.....134
RTMP/RTMPS..... 87, 132

S

S&Q MOTION..... 60
SAFETY ZONE 127
SCENE SELECTION SET
.....54
SHUTTER DISPLAY.... 128
SHUTTERボタン 45
SIMUL/RELAY REC 33
SPOT FOCUS..... 40
START/STOPボタン 30
STATUSボタン 68
STEADYSHOT 111
STREAMING..... 84, 132
SUMMERTIME..... 135

T

TC FORMAT 130
TC MAKE..... 131
TC PRESET 59, 150
TC RUN 131
TC/UB SETメニュー.....130

U

UB PRESET 60
UB TIME REC..... 131
USB CONNECT..... 136
USB LUN SET 136
USTREAM 90

V

VERSION DISPLAY 136
VF COLOR TEMP. 129
VIDEO OUT 121

W

WB OUTDOOR LEVEL
.....110

WB PRESET 110
WB TEMP SET..... 110
WHITE BALANCEボタン
..... 47
Wi-Fi SET 133
WIRED LAN SET 133

Z

ZEBRA 150
ZOOM DISPLAY 128
ZOOM SET 111

商標について

- “XDCAM”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “XAVC”および**XAVC**はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリスティック”、、“メモリスティック デュオ”、“メモリスティック PRO デュオ”、“メモリスティック PRO-HG デュオ”、“マジックゲート”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリスティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリスティック デュオ”、“Content Browser Mobile”、“Content Browser Mobile”ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの次、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC Video(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMass Storage接続し、「PMHOME」→「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供してまいります。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマスタージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

© 2017 Sony Corporation

Printed in China



4731565020